

平成 29 年度
がん検診受診環境整備事業報告書
【全体版】

公益財団法人宮崎県健康づくり協会
平成 30 年 11 月

はじめに

我が国のがん対策は、様々な取組みにより進展し、一定の成果を収めておりますが、がんは依然として死因の第一位であり、国民の生命および健康にとって重要な問題となっております。これまで国においては、「がん対策基本法」に基づく、「がん対策推進基本計画」により平成 19 年度から 10 年でがんの年齢調整死亡率を 20%減少させることを目標に、がん対策を進めておりました。また、平成 27 年 12 月には「がん対策加速化プラン」を策定し、取組が遅れている分野について、取組の一層強化を図ってまいりました。こうした中、平成 29 年 10 月には「第 3 期がん対策推進基本計画」を策定し、全体目標に〔科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実〕を加え、一次予防・二次予防に焦点をあてることとなりました。

この様な中、宮崎県では、「宮崎県がん対策推進計画」(平成 20 年 3 月策定)を平成 30 年 3 月に見直し、第 3 期として平成 35 年度までの 5 年間を対象に関係機関との連携を図りながら、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図っているところであります。

この計画の中で、宮崎県はがん検診受診率の目標値を 50%以上に設定していますが、現在の受診率は 35.4~50.9%(平成 28 年国民生活基礎調査)であることから、更なる、受診率向上のための施策として、平成 27 年度からがん検診受診環境整備事業を当協会に委託され取り組まれているところです。

平成 29 年度は県内全ての市町村へ事業参加を募り、申し込みのあった 7 市町で事業を実施しました。

事業内容は画一的なものではなく、各市町と協議を重ね、その状況に応じて実施しました。この報告書は各市町村の事業実施内容を取りまとめたものですが、市町村や関係機関における受診率向上のための資料として活用され、県民の健康づくりに生かされることを願っております。

終わりに、本事業の実施にあたり多大な御協力いただきました関係市町村の皆様に感謝申し上げますとともに、御指導いただきました関係各位に心からお礼を申し上げます。

平成 30 年 11 月

公益財団法人 宮崎県健康づくり協会
理事長 楠元 志都生

目 次

I	目 的	1
II	各市町実施内容	1
	1 宮崎市	2
	2 延岡市	6
	3 日南市	16
	4 日向市	25
	5 串間市	34
	6 えびの市	46
	7 川南町	57
	8 実施内容別集計結果と検定	68
III	考 察	73
IV	結 語	75
	○ 資料	76

I 目的

市町村が実施するがん検診の未受診者に対して個別受診勧奨を実施し、がん検診の受診率向上を図ることを目的とする。

II 各市町村実施内容

統計分析

事業(勧奨)実施年度と事業実施前年度の受診率の比較をするために χ^2 検定を行った。全ての検定は両側検定を行い、 $P < 0.05$ を有意水準とみなした。

なお、統計処理はエクセル統計を用いた。

$P < 0.05$	*
$P < 0.01$	**
$P < 0.001$	***

1 宮崎市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金	3
(2) 対象	3
(3) 受診勧奨内容	3
(4) 受診勧奨結果	4
①実施状況	
②年齢階級別受診者数と事業実施前年度との受診率の比較	
(5) 考察	5

1 宮崎市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金

子宮頸がん検診

自己負担金(細胞診検査費) 集団検診：1,000 円、個別検診：1,500 円

ただし、21 歳(4/1 生まれを除く)の者は無料

(2) 対象

対象は、21・25・28 歳の 5,688 名とした。

(年齢基準日は平成 30 年 3 月 31 日)

(3) 受診勧奨内容

宮崎市と健康づくり協会は、協議を重ね、受診勧奨を 2 回実施した。

① 1 回目の勧奨 (文書)

日 程	平成 29 年 8 月 29 日
内 容	・お知らせ(鑑文書) ・子宮頸がんリーフレット(年齢によって内容が異なる) ・受診機関一覧 (詳細は資料 1 参照)

② 2 回目の勧奨 (文書)

日 程	平成 29 年 11 月 21 日
内 容	・お知らせ(鑑文書) ・子宮頸がんリーフレット(年齢によって内容が異なる) ・受診機関一覧 (詳細は資料 2 参照)

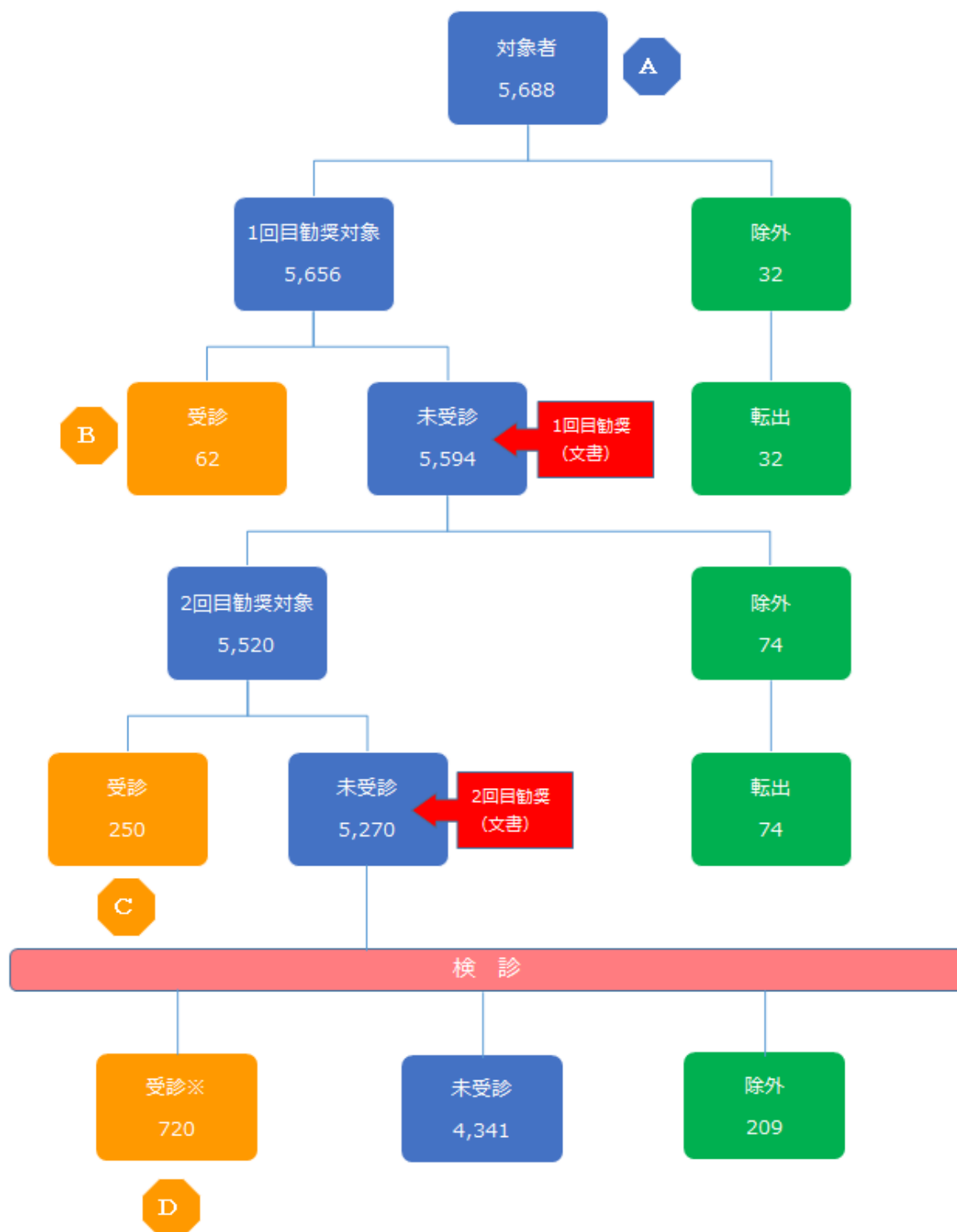
③ その他の勧奨

宮崎市が実施したがん検診受診勧奨は次のとおりであった。

平成 28 年 10 月	市広報による受診勧奨 (随時)
平成 29 年 2 月	OCR 用紙による受診案内実施
平成 29 年 5 月	健康診査受診券の送付
平成 30 年 2 月	OCR 用紙による受診案内実施予定

(4) 受診勧奨結果

① 実施状況



※ 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1 回目勧奨後の受診者数
 D = 2 回目勧奨後の受診者数

1 宮崎市

② 年齢階級別受診者数と事業実施前年度との受診率の比較

事業を実施したがん検診の種類、年齢などの対象者抽出の条件を揃えた対象者数と受診者数を表 1 に記した。

表 1 年齢階級別受診状況（平成 28・29 年度）と受診率の比較と検定

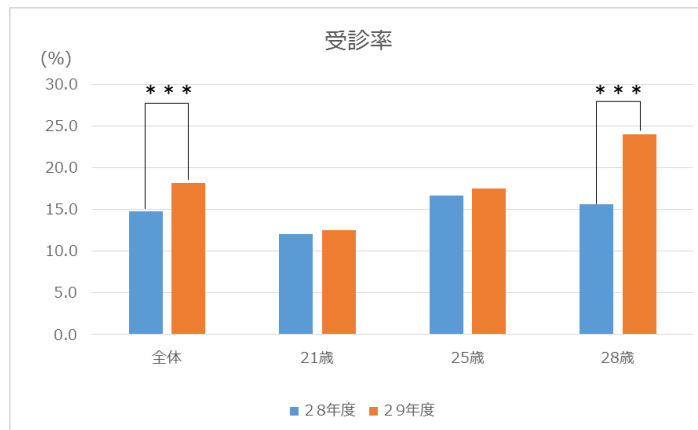
	平成28年度			平成29年度			P値 (χ ² 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
合計	5,755	848	14.7	5,688	1,034	18.2	P<0.001	1.29
21歳	1,881	226	12.0	1,849	232	12.5	0.62	1.05
25歳	1,763	293	16.6	1,847	323	17.5	0.49	1.06
28歳	2,111	329	15.6	1,992	479	24.0	P<0.001	1.71

全体の受診率は 18.2%であり、前年度と比べると 3.5%増加しており、有意であった。

21歳と 25歳の受診率は、前年度と比べると増加していたが、有意ではなかった。

28歳の受診率は 24.0%であり、前年度と比べると 8.4%増加しており、有意であった。

勧奨 1 回後、2 回後ともに、集団検診・個別検診機関で受診することができた。



(5) 考察

① 受診勧奨の効果

宮崎市は、本事業参加 3 年目[※]であり、子宮頸がん検診を同じ方法で勧奨した。勧奨した対象年齢は、毎年異なり右表のとおりまとめた。事業実施前年度との比較で受診率が有意に高かった年齢を◎で示す。

年齢基準日 3/31現在	27年度	28年度	29年度
21歳	—	◎	○
25歳	○	○	○
28歳	◎	—	◎

事業実施年度と事業実施前年度との比較では、事業実施年度の方が全体の受診率は有意に高くなっていた。年齢別にみると 28 歳のみ有意な差が認められた。

これは、21・25 歳は事業実施前年度も同じ方法で勧奨しているため、一定の効果を得られるが、前年度を大幅に上回る効果を得ることはできず、28 歳は事業実施前年度に勧奨をしていないため、勧奨の効果が大きかったと考えられる。

[※] 平成 27 年度がん検診受診環境整備事業報告書、平成 28 年度がん検診受診環境整備事業報告書

2 延岡市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金.....	7
(2) 対象.....	7
(3) 受診勧奨内容.....	7
(4) 受診勧奨結果.....	9
①実施状況	
(ア) 肺がん検診	
(イ) 大腸がん検診	
(ウ) 子宮頸がん検診	
(エ) 乳がん検診	
②年齢階級別受診状況と受診率の比較	
(ア) 肺がん検診	
(イ) 大腸がん検診	
(ウ) 子宮頸がん検診	
(エ) 乳がん検診	
(5) 考察.....	15

2 延岡市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金

がん検診の種類	自己負担金	
	集団検診	個別検診
肺がん検診	無料	なし
大腸がん検診	600 円	1,300 円
子宮頸がん検診	1,200 円	2,200 円
乳がん検診	2,500 円	2,800 円

(2) 対象

各がん検診の対象は、次のとおりであった。(年齢基準日は平成 30 年 3 月 31 日)
40・42・44・46・48 歳の女性のうち要介護認定 4 及び 5 を除く 3,915 名とした。

(3) 受診勧奨内容

延岡市と健康づくり協会は、協議を重ね、受診勧奨を 2 回実施した。

① 1 回目の勧奨(文書)：各がん検診共通内容を送付した。

日 程	平成 29 年 9 月 12 日
内 容	・がん検診の受診のお願い(鑑文書) ・5 がん検診リーフレット (詳細は資料 3 参照) ・健診日程案内

② 2 回目の勧奨(文書)：未受診のがん検診リーフレットを送付した。

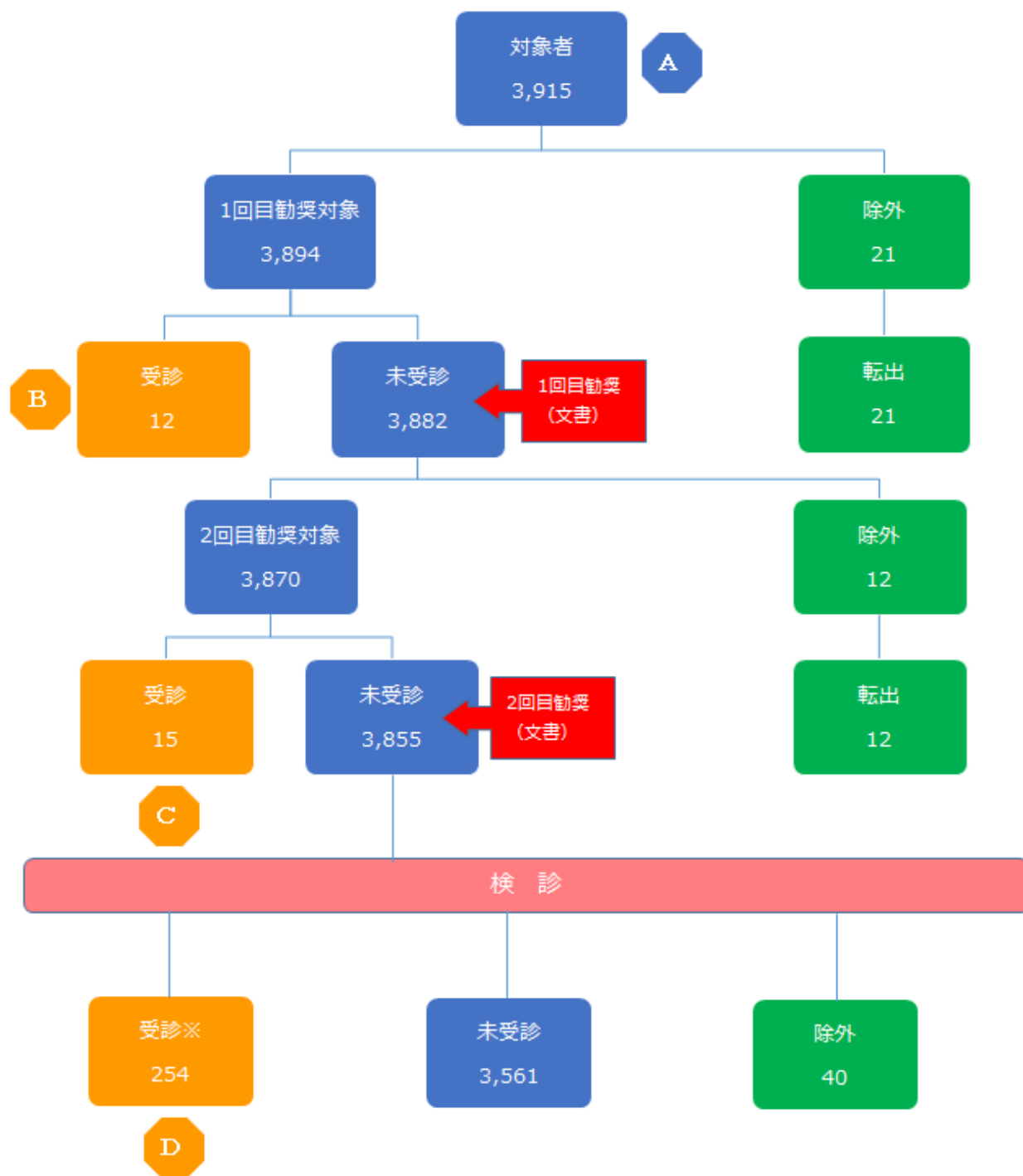
日 程	平成 29 年 11 月 28 日
内 容	・がん検診の受診のお願い(鑑文書) ・がん検診リーフレット (詳細は資料 3 参照) ・健診日程案内

③ その他の勸奨

延岡市が実施したがん検診受診勸奨は次のとおりであった。

平成 29 年 5 月	健診ガイド世帯配布 FMのべおか
平成 29 年 6 月	ハガキでの受診勸奨（一部の年齢層へ） 広報 6 月号お知らせページ（～1 月まで毎月）
平成 29 年 7 月	無料クーポン券送付（乳・子宮） ハガキでの受診勸奨（一部の年齢層へ）
平成 29 年 9 月	イオンでチラシ配布
平成 29 年 10 月	FMのべおか 夕刊デイリー

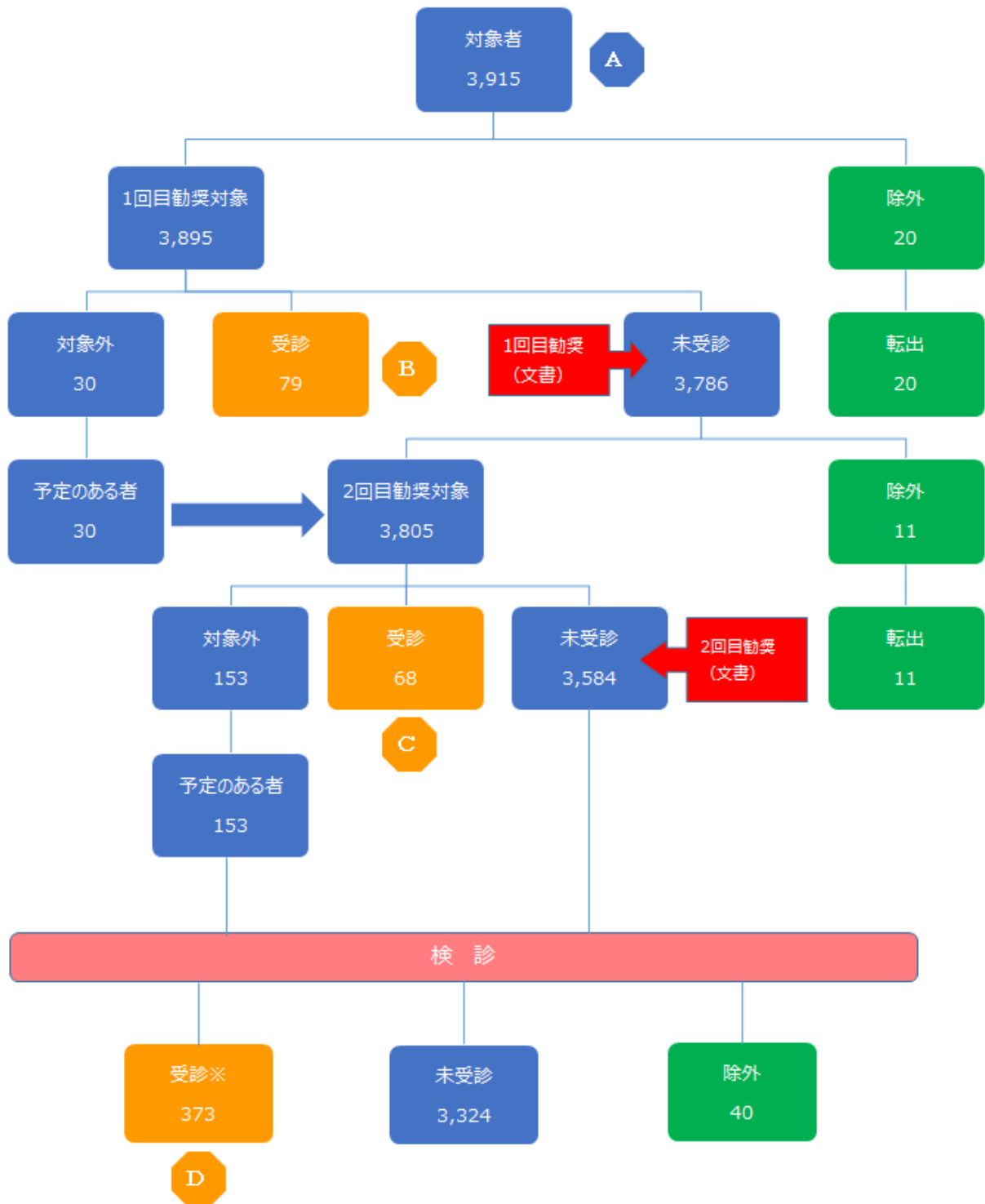
(イ) 大腸がん検診



A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1回目勧奨後の受診者数
 D = 2回目勧奨後の受診者数

2 延岡市

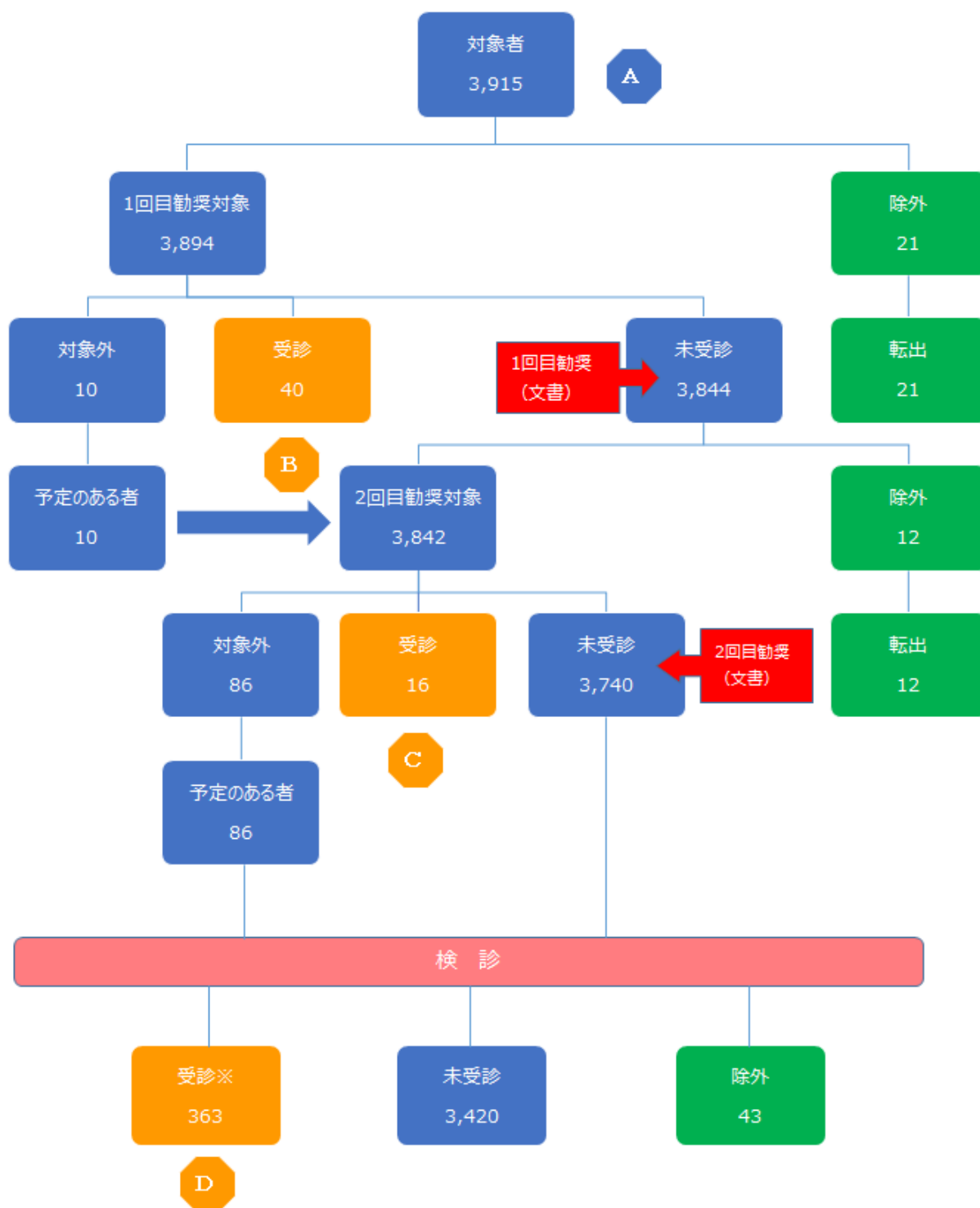
(ウ) 子宮頸がん検診



A=対象者数
 B=事業開始前の受診者数
 C=1回目勧奨後の受診者数
 D=2回目勧奨後の受診者数

※ 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

(エ) 乳がん検診



A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1回目勧奨後の受診者数
 D = 2回目勧奨後の受診者数

※ 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

2 延岡市

② 年齢階級別受診者状況と受診率の比較

事業を実施したがん検診の種類、年齢などの対象者抽出の条件を揃えた対象者数と受診者数を表2～5に記した。

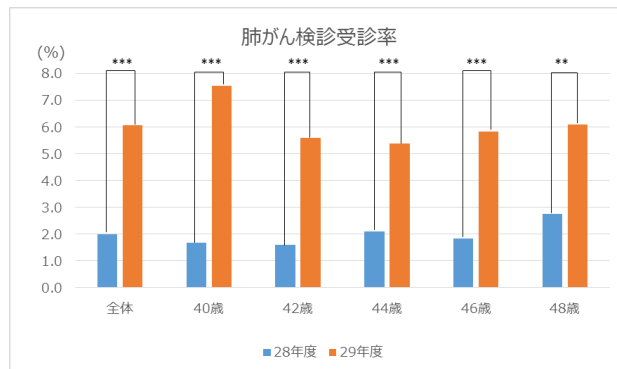
(ア) 肺がん検診

表2 肺がん検診年齢階級別受診状況と受診率の比較と検定

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)		
全体	3,925	78	2.0	3,915	237	6.1	P<0.001	3.18
40歳	776	13	1.7	729	55	7.5	P<0.001	4.79
42歳	817	13	1.6	750	42	5.6	P<0.001	3.67
44歳	810	17	2.1	857	46	5.4	P<0.001	2.65
46歳	758	14	1.8	824	48	5.8	P<0.001	3.29
48歳	764	21	2.7	755	46	6.1	P<0.01	2.30

全体の受診率は6.1%であり、前年度と比べると4.1%増加し、有意であった。

各年齢において受診率は、前年度と比べると3.3%～5.8%増加し、有意であった。



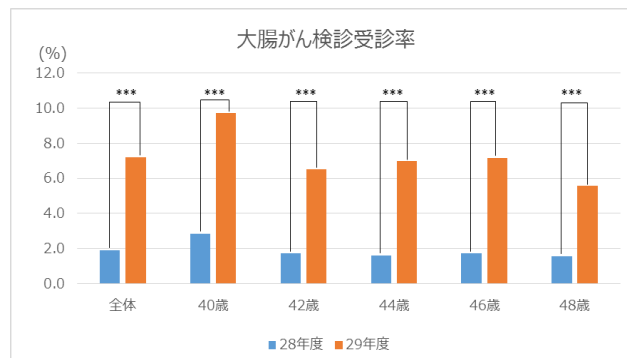
(イ) 大腸がん検診

表3 大腸がん検診年齢階級別受診状況と受診率の比較と検定

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)		
全体	3,925	74	1.9	3,915	281	7.2	P<0.001	4.02
40歳	776	22	2.8	729	71	9.7	P<0.001	3.70
42歳	817	14	1.7	750	49	6.5	P<0.001	4.01
44歳	810	13	1.6	857	60	7.0	P<0.001	4.62
46歳	758	13	1.7	824	59	7.2	P<0.001	4.42
48歳	764	12	1.6	755	42	5.6	P<0.001	3.69

全体の受診率は7.2%であり、前年度と比べると5.3%増加し、有意であった。

各年齢において受診率は、前年度と比べると4.0%～6.9%増加し、有意であった。



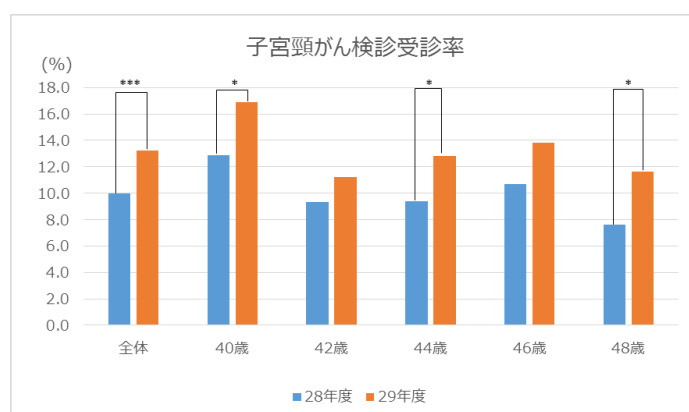
(ウ) 子宮頸がん検診

表 4 子宮頸がん検診年齢階級別受診状況と受診率の比較と検定

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
全体	3,925	391	10.0	3,915	519	13.3	P<0.001	1.38
40歳	776	100	12.9	729	123	16.9	0.03	1.37
42歳	817	76	9.3	750	84	11.2	0.22	1.23
44歳	810	76	9.4	857	110	12.8	0.03	1.42
46歳	758	81	10.7	824	114	13.8	0.06	1.34
48歳	764	58	7.6	755	88	11.7	0.01	1.61

全体の受診率は13.3%であり、前年度と比べると3.3%増加し、有意であった。

各年齢における受診率は、前年度と比べると1.9~4.1%増加し、40・44・48歳において有意であった。



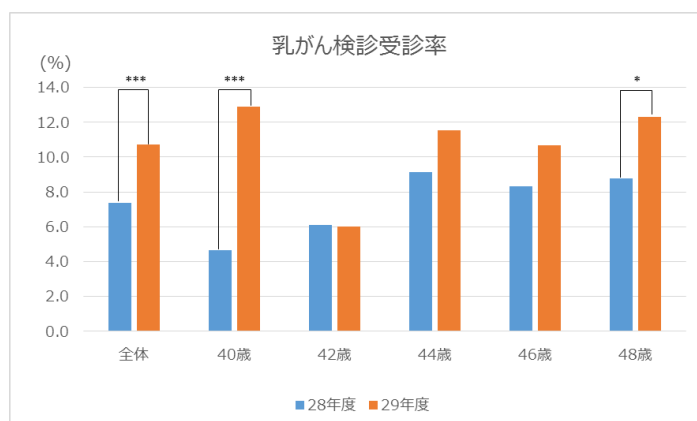
(エ) 乳がん検診

表 5 乳がん検診年齢階級別受診状況と受診率の比較と検定

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
全体	3,925	290	7.4	3,915	419	10.7	P<0.001	1.50
40歳	776	36	4.6	729	94	12.9	P<0.001	3.04
42歳	817	50	6.1	750	45	6.0	0.92	0.98
44歳	810	74	9.1	857	99	11.6	0.11	1.30
46歳	758	63	8.3	824	88	10.7	0.11	1.32
48歳	764	67	8.8	755	93	12.3	0.02	1.46

全体の受診率は10.7%であり、前年度と比べると3.3%増加し、有意であった。

40歳における受診率は、前年度と比べると8.3%増加し、有意であった。



2 延岡市

(5) 考察

延岡市は、本事業の参加は3年目^{※1}であるが、勧奨するがん検診の種類や年齢は一部を除いて異なり、下表にまとめた。

年齢基準日 3/31現在	肺がん	大腸がん		子宮頸がん		乳がん		胃がん
	29年度	28年度	29年度	27年度	29年度	27年度	29年度	28年度
21歳	-	-	-	○	-	-	-	-
23歳	-	-	-	○	-	-	-	-
28歳	-	-	-	○	-	-	-	-
33歳	-	-	-	○	-	-	-	-
40歳	○	-	○	-	○	○ ^{※2}	○	-
41歳	-	-	-	-	-	○	-	-
42歳	○	-	○	-	○	-	○ ^{※2}	-
43歳	-	-	-	-	-	○	-	-
44歳	○	-	○	-	○	-	○	-
46歳	○	-	○	-	○	-	○	-
48歳	○	-	○	-	○	○	○	-
51歳	-	○	-	-	-	-	-	○
53歳	-	-	-	-	-	○	-	-
56歳	-	○	-	-	-	-	-	○
61歳	-	○	-	-	-	-	-	○

(○及び○は、本事業対象者であり、○は、検診無料の者である。)

①肺がん検診・大腸がん検診

全体・年齢階級別において事業実施年度の方が事業実施前年度よりも受診率は有意に高かった。

これは、検診料金の自己負担額が子宮頸がん・乳がん検診に比べて低価格であること、過去2年間に於いて本事業の対象がん検診及び年齢ではなかったため、勧奨の効果が大きかったためと考えられる。

②子宮頸がん検診・乳がん検診

子宮頸がん検診は、事業実施年度と事業実施前年度との比較では、事業実施年度の方が全体の受診率は有意に高くなっていた。年齢別にみると40・44・48歳において有意な差が認められた。

乳がん検診は、事業実施年度と事業実施前年度との比較では、事業実施年度の方が全体の受診率は有意に高くなっていた。年齢別にみると40・48歳において有意な差が認められた。

子宮がん・乳がん検診は2年に1回の検診間隔となっており、42歳は前回の検診対象であった平成27年度時点で本事業の乳がん検診勧奨対象であり、検診料金の自己負担金額は無料であった。(上表※2参照)このため、他の年齢と比べ勧奨の効果を確認できなかった可能性が考えられる。

今後の課題として、経年的な勧奨が及ぼす受診率への影響を検証する必要がある。

※ 平成27年度がん検診受診環境整備事業報告書、平成28年度がん検診受診環境整備事業報告書

3 日南市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金	17
(2) 対象	17
(3) 受診勧奨内容	17
(4) 受診勧奨結果	18
①実施状況	
②年齢階級別受診状況	
③受診率の比較	
(ア) 事業実施年度と前年度との比較	
(イ) 年齢階級別の比較	
(ウ) 勧奨回数別の比較	
④電話勧奨における実施率及び成功率	
⑤受診状況調査	
(5) 考察	24

3 日南市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金

大腸がん検診

自己負担金 500 円

(2) 対象

対象は、45・50・55・60・65 歳のうち要介護認定 4 及び 5 を除く 3,597 名とした。

(年齢基準日は平成 29 年 4 月 1 日)

(3) 受診勧奨内容

日南市と健康づくり協会は、協議を重ね、受診勧奨を 2 回実施した。

① 1 回目の勧奨（文書）

日 程	平成 29 年 12 月 6 日
内 容	・大腸がん検診のお知らせ（鑑文書） ・大腸がん検診リーフレット （詳細は資料 5 参照） ・お知らせ

② 2 回目の勧奨（電話）

2 回目の勧奨は未受診者のうち電話番号を把握できた者に実施した。

日 程	平成 30 年 1 月 5～11 日
内 容	・受診状況の確認 ・未受診理由の確認 ・受診方法の案内

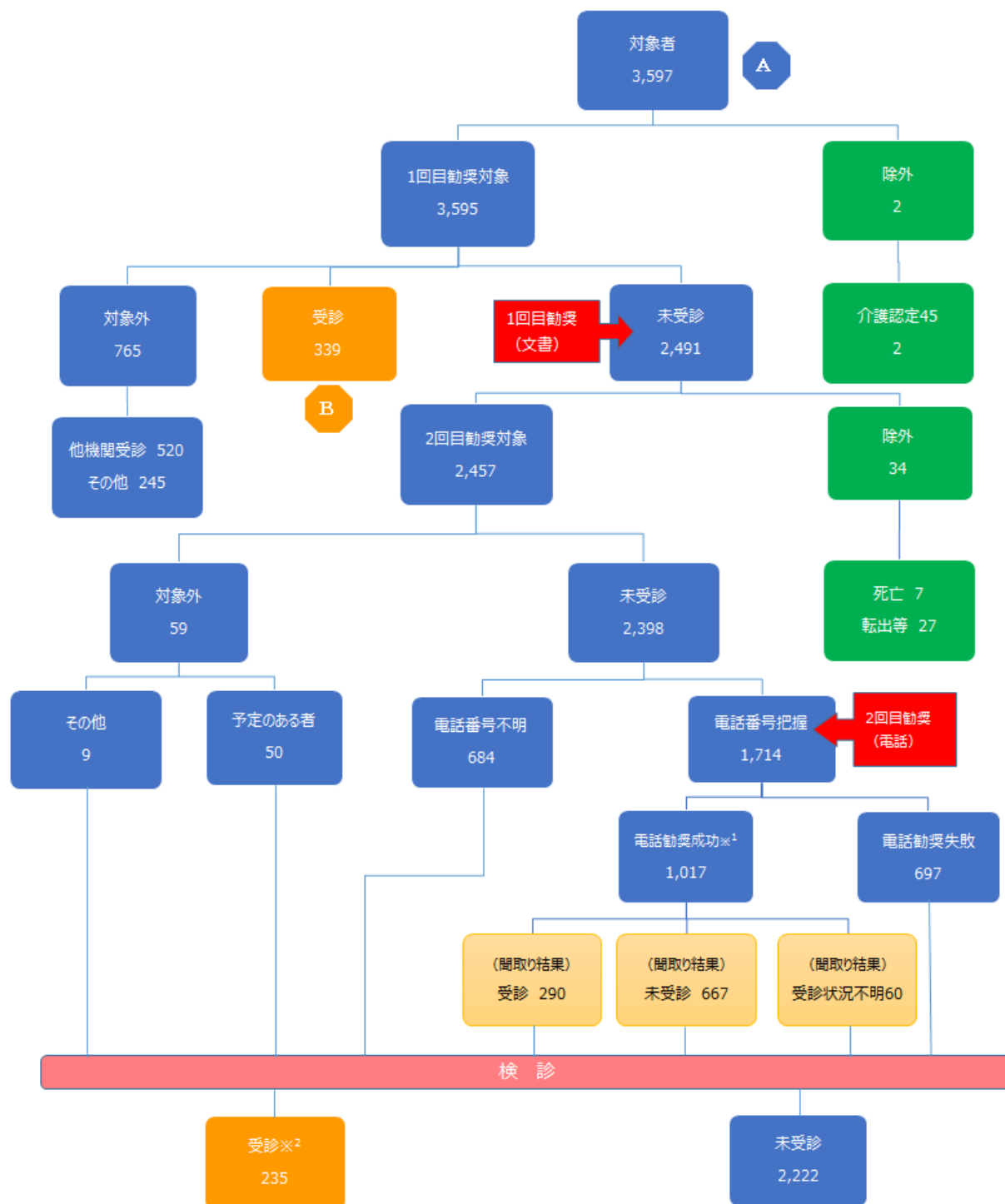
③ その他の勧奨

日南市が実施したがん検診受診勧奨は次のとおりであった。

平成 28 年 10 月	広報掲載
平成 29 年 1 月	検診予約票全世帯配布
平成 29 年 2 月	検診予約票回収
平成 29 年 4 月	がん検診ガイド全世帯配布
平成 29 年 5 月	受診票一斉発送
平成 29 年 6 月	広報掲載（～11 月まで毎月）
平成 29 年 8 月	未受診者再通知（～11 月まで毎月）
平成 29 年 9 月	イベントでのパンフレット配布

(4) 受診勧奨結果

① 実施状況



※1 電話勧奨成功とは検診の受診状況を確認できた者のことである。
 ※2 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1回目勧奨後の受診者数
 D = 2回目勧奨後の受診者数

3 日南市

② 年齢階級別受診状況

事業を実施したがん検診の種類、年齢などの対象者抽出の条件を揃えた対象者数と受診者数を表6に記した。

表6 年齢階級別受診状況（平成28・29年度）

		平成28年度			平成29年度		
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
男性	45歳	301	11	3.7	304	14	4.6
	50歳	260	10	3.8	262	5	1.9
	55歳	327	12	3.7	332	15	4.5
	60歳	445	34	7.6	450	35	7.8
	65歳	437	53	12.1	439	33	7.5
	小計	1,770	120	6.8	1,787	102	5.7
女性	45歳	301	18	6.0	303	28	9.2
	50歳	260	14	5.4	260	16	6.2
	55歳	347	26	7.5	347	27	7.8
	60歳	418	58	13.9	419	27	6.4
	65歳	481	83	17.3	481	35	7.3
	小計	1,807	199	11.0	1,810	133	7.3
合計		3,577	319	8.9	3,597	235	6.5

③ 受診率の比較

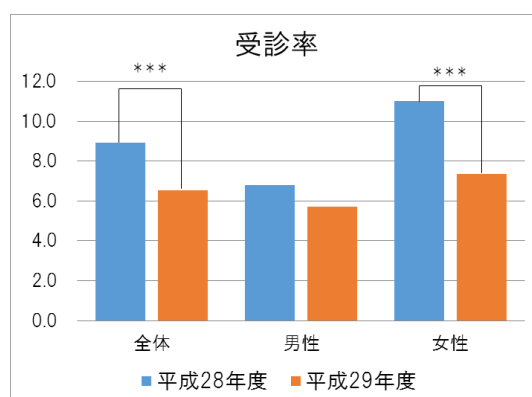
(ア) 事業実施年度と前年度との比較

表7 事業実施年度と前年度との受診率の比較及び検定結果

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)		
全体	3,577	319	8.9	3,597	235	6.5	P<0.001	0.71
男性	1,770	120	6.8	1,787	102	5.7	0.19	0.83
女性	1,807	199	11.0	1,810	133	7.3	P<0.001	0.64

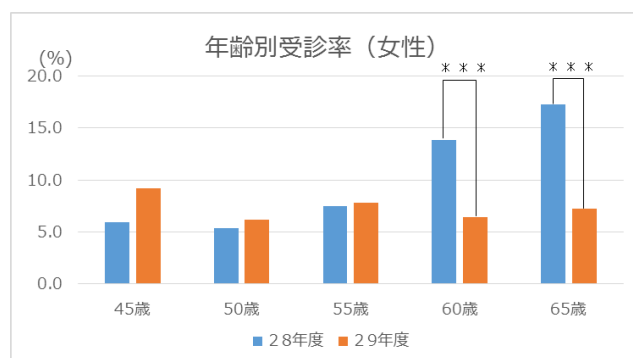
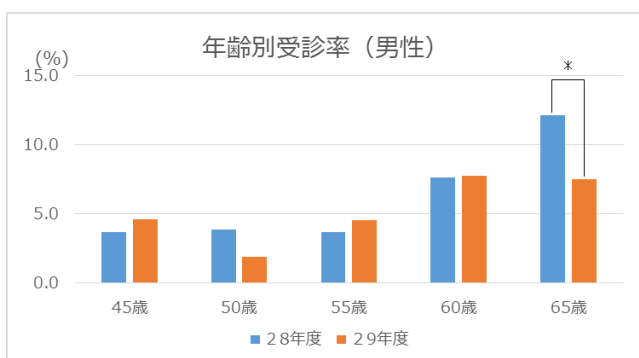
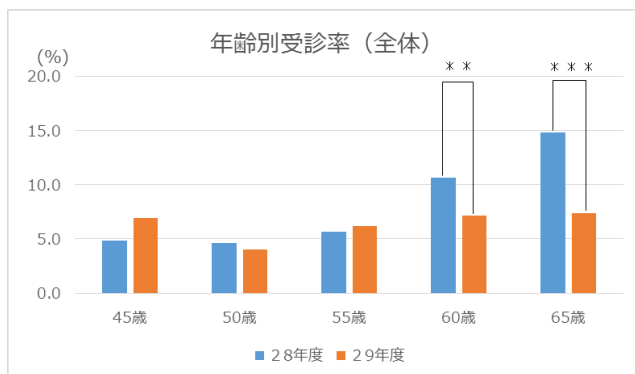
全体の受診率は6.5%であり、前年度と比べると2.4%減少したが、有意であった。

女性の受診率は7.3%であり、前年度と比べると3.7%減少したが、有意であった。



(イ) 年齢階級別の比較

60・65歳の受診率は、前年度より減少しており有意な変化であった。



3 日南市

(ウ) 勧奨回数別の比較

勧奨回数による受診状況を表 8 に記した。

2 回目の勧奨は、未受診者のうち電話番号を把握できた者のみに電話による勧奨をした。

その電話勧奨で、大腸がん検診の受診状況を確認した。この確認ができた者を電話勧奨成功、できなかった者を電話勧奨失敗とした。(詳細な結果は⑤受診状況調査を参照)

確認をした相手は、本人または家族(同居者を含む)とした。

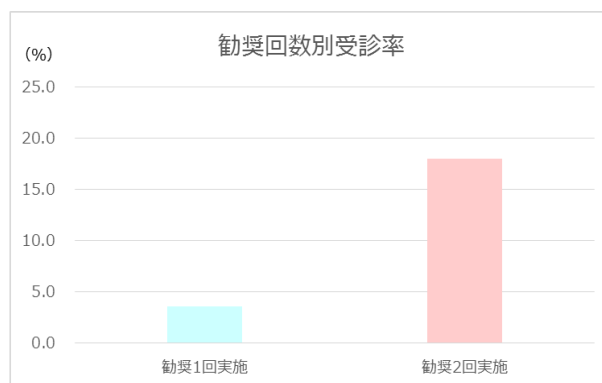
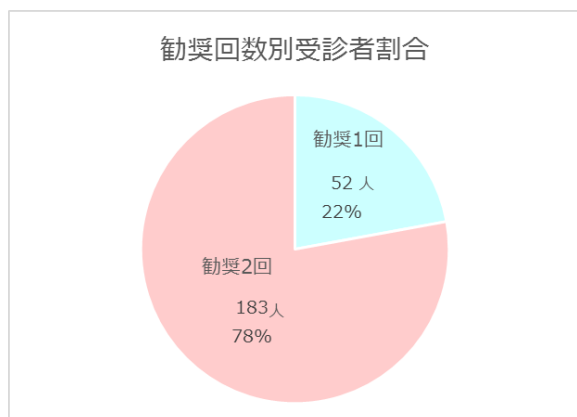
勧奨 1 回実施は、電話勧奨失敗の者と電話番号を把握できなかった者の合計数とした。勧奨 2 回実施は電話勧奨成功した者とした。

表 8 勧奨回数別受診状況と検定結果

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	P値 (χ^2 検定)	オッズ比
勧奨1回実施	1,474	52	3.5	P<0.001	6.00
勧奨2回実施	1,017	183	18.0		

日南市は集団検診のみを実施しているため、受診する機会は 2 回勧奨を実施した後の 2 日間のみであった。

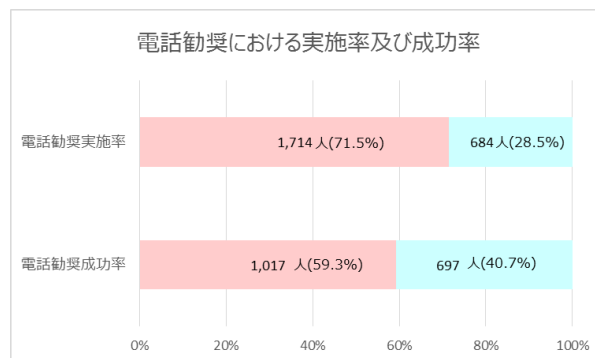
勧奨後に受診した 235 人のうち、勧奨 1 回の者は 52 人、勧奨 2 回の者は 183 人で、勧奨回数による受診状況に有意な差があった。



④ 電話勧奨における実施率及び成功率

電話勧奨の対象となった者は、2,398 人であり、そのうち 1,714 人(71.5%)の電話番号を把握できた。

また、電話勧奨した 1,714 人中成功した者は 1,017 人(59.3%)であった。



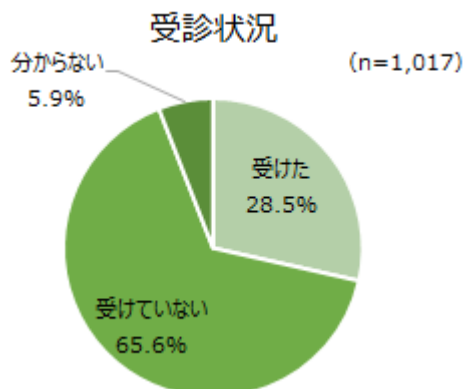
⑤ 受診状況調査

2 回目の勧奨（電話）の際に、大腸がん検診未受診者が職場や医療機関等において次の期間で受診したかどうかを確認した。

受診期間：平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

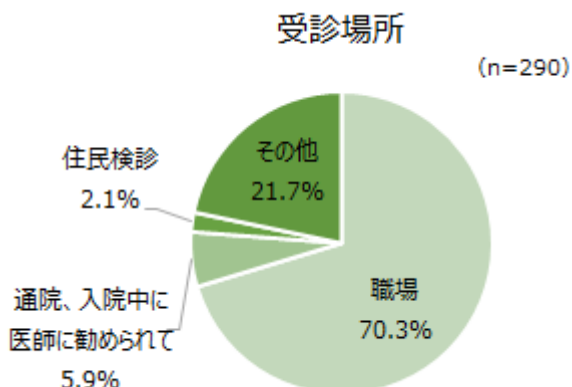
(ア) 大腸がん検診受診状況

	(人)
受けた	290
受けていない	667
分からない	60
合計	1,017



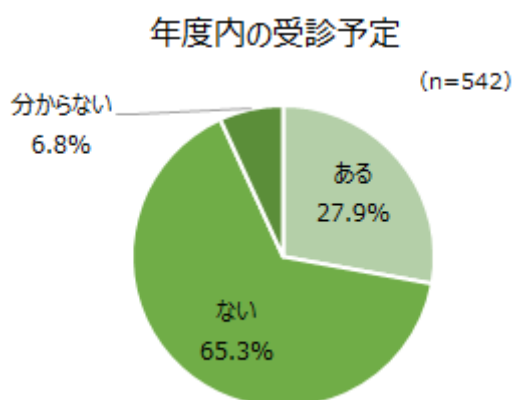
(イ) (ア) において「受けた」と回答した者の受診場所

	(人)
職場	204
通院、入院中に医師に勧められて	17
住民検診	6
その他	63
合計	290



(ウ) (ア) において「受けていない」(本人回答のみ) と回答した者の受診予定

	(人)
ある	151
ない	354
分からない	37
合計	542

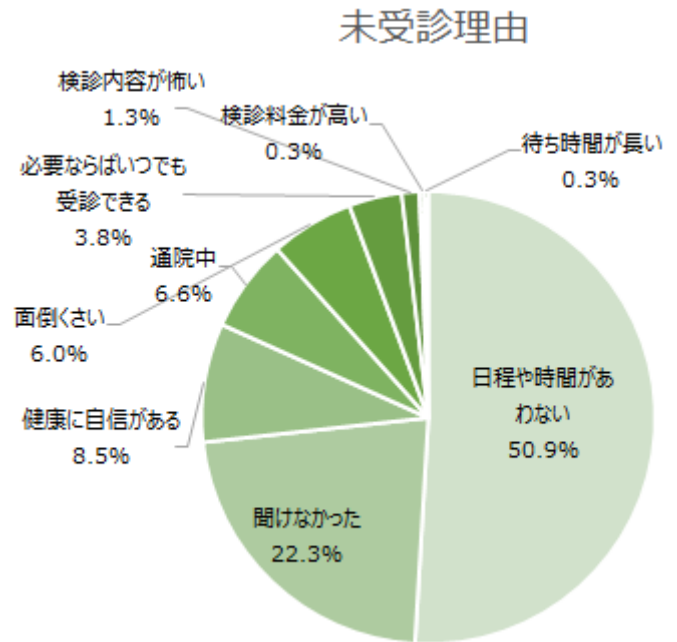


「ある」と回答した者は、日南市が実施する検診を受診予定としている者を含む。実際に勧奨後に日南市の検診を受診した者は 80 人 (53.0%) であった。

3 日南市

(エ) (ウ)において「ない」「分からない」と回答した者の未受診理由（複数回答）

	(人)
日程や時間があわない	162
聞けなかった	71
健康に自信がある	27
通院中	21
面倒くさい	19
必要ならばいつでも受診できる	12
検診内容が怖い	4
検診料金が高い	1
待ち時間が長い	1
その他	75
合計	393



(5) 考察

①受診勧奨の効果

事業実施年度と事業実施前年度との比較では、事業実施年度の方が事業実施前年度よりも受診率が低く、全体・女性において有意な差が認められた。

年齢階級別・性別で比較すると、60歳の女性及び65歳の男女ともに事業実施年度の方が事業実施前年度よりも受診率は低く、有意な差がみられた。

勧奨の回数による比較では、2回勧奨した者の方が、1回勧奨した者よりも受診率が有意に高かった。

本事業参加は3年目[※]であり、勧奨対象年齢と検診料金の自己負担額を右表にまとめた。

年齢基準日 4/1現在	27年度	28年度	29年度
40歳	無料	—	—
45歳	無料	500円	500円
50歳	無料	500円	500円
55歳	無料	500円	500円
60歳	無料	500円	500円
65歳	—	500円	500円

勧奨している内容は例年同じであり、検診料金の自己負担金や勧奨後の検診日数等も事業実施前年度と変更なかった。

しかし、今回の日南市では、60・65歳において受診率は低くなっていた。これは、本事業勧奨とは別の要因が影響していることが考えられる。

②受診状況調査結果

この調査時に、検診を受診していた者は290人(28.5%)であり、そのうち204人(70.3%)は職場において受診していた。受診していないと本人が回答した者のうち、事業実施年度内に受診の予定がある者は151人(27.9%)であった。この151人のうち、日南市の検診を受診した者は、80人(53.0%)であった。

対象者の中には、職場が提供する検診を受診する機会がある者を含んでいるため、勧奨の効果が検出されにくいことが考えられる。効率的な受診率向上のためには、職場等での受診の機会が無い者へ受診勧奨を行なっていくことが、重要であると考えられる。

[※] 平成27年度がん検診受診環境整備事業報告書、平成28年度がん検診受診環境整備事業報告書

4 日向市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金	26
(2) 対象	26
(3) 受診勧奨内容	26
(4) 受診勧奨結果	27
①実施状況	
②年齢階級別受診状況	
③受診率の比較	
(ア) 事業実施年度と前年度との比較	
(イ) 年齢階級別の比較	
(ウ) 勧奨回数別の比較	
④電話勧奨における実施率及び成功率	
⑤受診状況調査	
(5) 考察	33

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金

大腸がん検診

自己負担金 集団検診：400 円、個別検診：1,000 円

(2) 対象

対象は、40・56～62 歳の者のうち、要介護認定 4 及び 5 を除く者かつ過去 5 年間（平成 24～28 年度）日向市が実施する大腸がん検診を未受診の 5,775 名とした。

（年齢基準日は平成 30 年 3 月 31 日）

(3) 受診勧奨内容

日向市と健康づくり協会は、協議を重ね、受診勧奨を 2 回実施した。

① 1 回目の勧奨（文書）

日 程	平成 29 年 9 月 5 日
内 容	・お知らせ(鑑文書) ・がん検診のご案内 ・5 がん検診リーフレット (詳細は資料 6 参照)

② 2 回目の勧奨（電話）

2 回目の勧奨は未受診者のうち電話番号を把握できた者に実施した。

日 程	平成 30 年 1 月 23 日 ～ 29 日
内 容	・受診状況の確認 ・未受診理由の確認 ・受診方法の案内

③ その他の勧奨

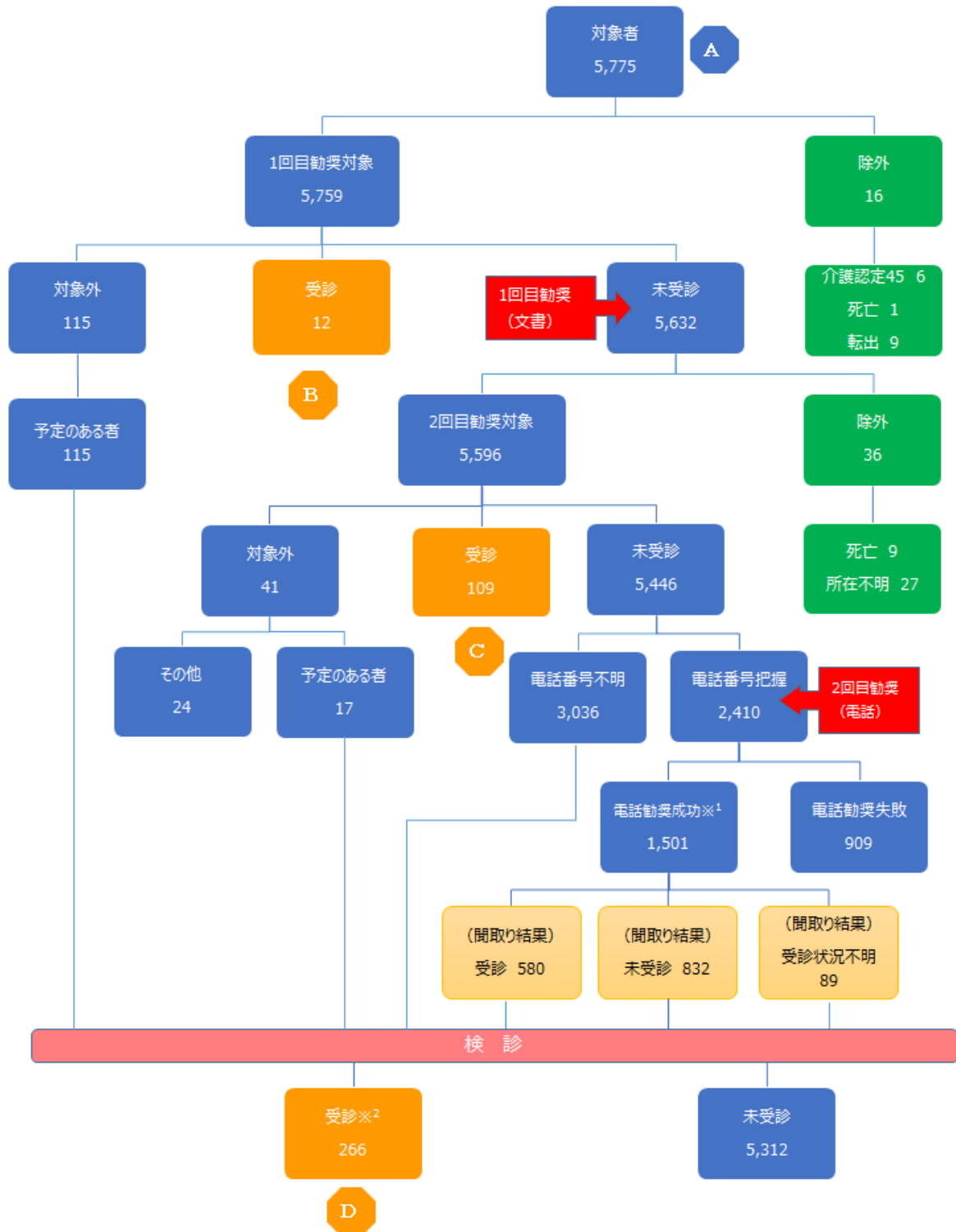
日向市が実施したがん検診受診勧奨は次のとおりであった。

平成 29 年 2 月	受診ガイド、集団検診の案内作成、がん集団検診申込み用紙を班回覧、FMひゅうがでの PR
平成 29 年 4 月	日向市 HP に受診ガイドを掲載
平成 29 年 7 月	乳幼児検診にて保護者にがん検診チラシ配布、市内の小学校にて保護者向けにがん検診チラシ配布、子宮がんと大腸がん検診の同時実施
平成 29 年 8 月	広報誌にて肺がん検診日程案内、女性のがん検診特集を掲載

4 日向市

(4) 受診勧奨結果

① 実施状況



※1 電話勧奨成功とは検診の受診状況を確認できた者のことである。

※2 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1回目勧奨後の受診者数
 D = 2回目勧奨後の受診者数

② 年齢階級別受診状況

事業を実施したがん検診の種類、年齢などの対象者抽出の条件を揃えた対象者数と受診者数を表9に記した。

表9 年齢階級別受診状況（平成28・29年度）

		平成28年度			平成29年度		
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
男性	40歳	406	22	5.4	419	21	5.0
	56歳	334	7	2.1	337	11	3.3
	57歳	315	4	1.3	342	16	4.7
	58歳	351	4	1.1	316	9	2.8
	59歳	372	4	1.1	349	12	3.4
	60歳	407	7	1.7	370	11	3.0
	61歳	393	8	2.0	408	23	5.6
	62歳	367	6	1.6	405	30	7.4
	小計	2,945	62	2.1	2,946	133	4.5
女性	40歳	411	34	8.3	414	46	11.1
	56歳	354	7	2.0	283	18	6.4
	57歳	356	6	1.7	379	30	7.9
	58歳	354	10	2.8	357	30	8.4
	59歳	309	6	1.9	345	22	6.4
	60歳	351	10	2.8	313	26	8.3
	61歳	370	9	2.4	346	33	9.5
	62歳	305	7	2.3	392	49	12.5
	小計	2,810	89	3.2	2,829	254	9.0
合計		5,755	151	2.6	5,775	387	6.7

4 日向市

③ 受診率の比較

(ア) 事業実施年度と前年度との比較

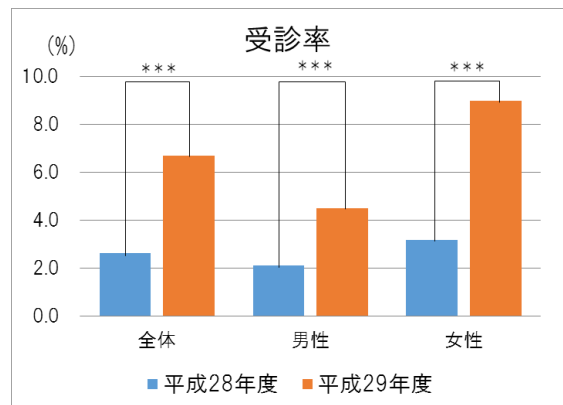
表 10 事業実施年度と前年度との受診率の比較及び検定結果

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
全体	5,755	151	2.6	5,775	387	6.7	P<0.001	2.67
男性	2,945	62	2.1	2,946	133	4.5	P<0.001	2.20
女性	2,810	89	3.2	2,829	254	9.0	P<0.001	3.02

全体の受診率は6.7%であり、前年度と比べると4.1%増加し、有意であった。

男性の受診率は4.5%であり、前年度と比べると2.4%増加し、有意であった。

女性の受診率は9.0%であり、前年度と比べると5.8%増加し、有意であった。

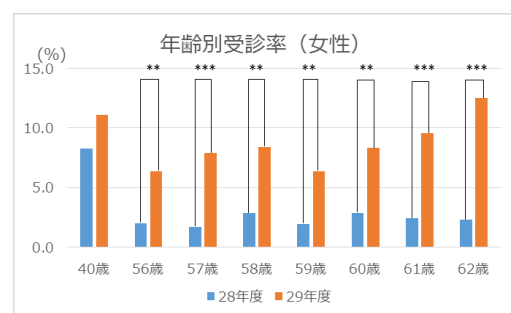
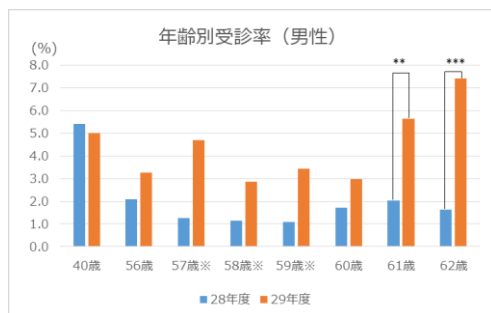
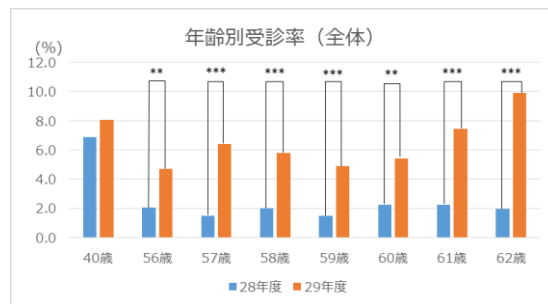


(イ) 年齢階級別の比較

全体の受診率は、前年度より増加しており40歳を除き有意な変化であった。

本事業は3年目であり、40歳のみ勸奨3年目であった。

受診者数が5人以下の年齢は検定していない。 ※1



※検定していない年齢階級は、グラフの年齢に※をつけている。

(ウ) 勧奨回数別の比較

勧奨回数による受診状況を表 11 に記した。

2 回目の勧奨は、未受診者のうち電話番号を把握できた者に電話による勧奨をした。

その電話勧奨で、大腸がん検診の受診状況を確認した。この確認ができた者を電話勧奨成功、できなかった者を電話勧奨失敗とした。(詳細な結果は⑤受診状況調査を参照)

確認をした相手は、本人または家族(同居者を含む)とした。

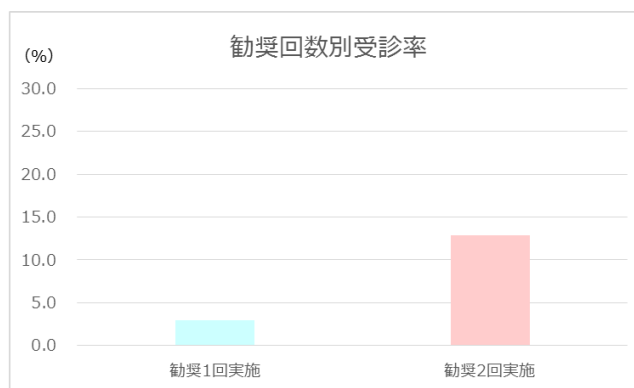
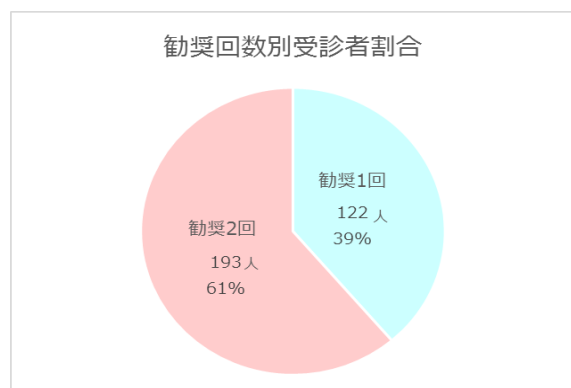
勧奨 1 回実施は、電話勧奨失敗の者と電話番号を把握できなかった者の合計とした。勧奨 2 回実施は、電話勧奨成功者とした。

表 11 勧奨回数別受診状況と検定結果

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	P値 (χ^2 検定)	オッズ比
勧奨1回実施	4,131	122	3.0	P<0.001	4.85
勧奨2回実施	1,501	193	12.9		

日向市は、勧奨 1 回後、2 回後ともに集団検診と個別検診の両方で検診を受診することが可能だった。

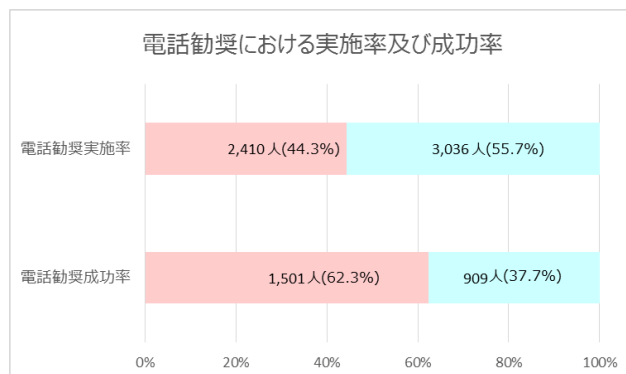
1 回・2 回の勧奨後に受診した 315 人のうち、勧奨 1 回の者は 122 人で、勧奨 2 回の者は 193 人で、勧奨回数による受診状況に有意な差があった。



④ 電話勧奨における実施率及び成功率

電話勧奨の対象となった者は、5,446 人であり、そのうち 2,410 人(44.3%)の電話番号を把握できた。

また、電話勧奨した 2,410 人中成功した者は 1,501 人(62.3%)であった。



4 日向市

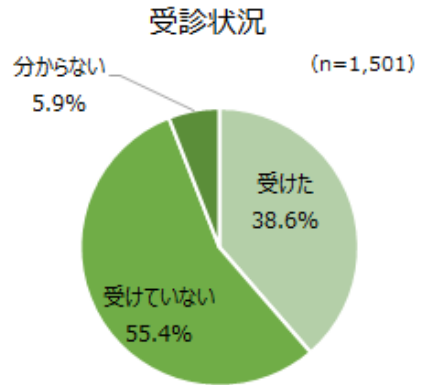
⑤ 受診状況調査

2 回目の勧奨（電話）の際に、大腸がん検診未受診者が職場や医療機関等において次の期間で受診したかどうかを確認した。

受診期間：平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

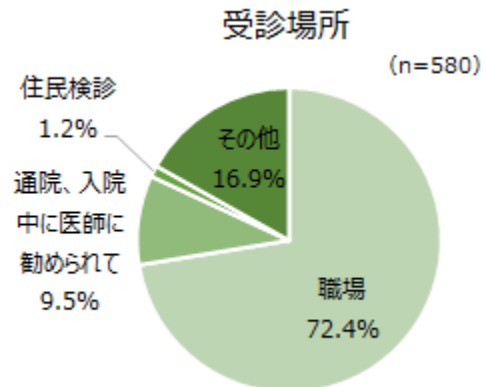
(ア) 大腸がん検診受診状況

	(人)
受けた	580
受けていない	832
分からない	89
合計	1,501



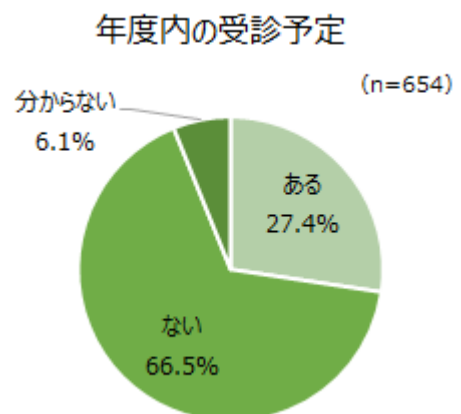
(イ) (ア) において「受けた」と回答した者の受診場所

	(人)
職場	420
通院、入院中に医師に勧められて	55
住民検診	7
その他	98
合計	580



(ウ) (ア) において「受けていない」(本人回答のみ) と回答した者の受診予定

	(人)
ある	179
ない	435
分からない	40
合計	654

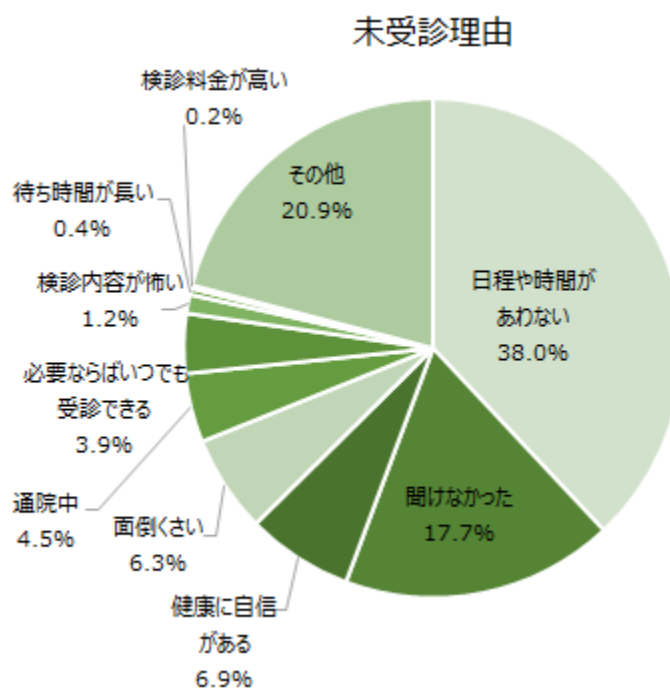


「ある」と回答した者は、日向市が実施する検診を受診予定としている者を含む。実際に勧奨後に日向市の検診を受診した者は 79 人 (44.1%) であった。

(ウ) において「ない」「分からない」と回答した者の未受診理由（複数回答）

(人)

日程や時間があわない	187
聞けなかった	87
健康に自信がある	34
面倒くさい	31
通院中	22
必要ならばいつでも受診できる	19
検診内容が怖い	6
待ち時間が長い	2
検診料金が高い	1
その他	103
合計	492



(5) 考察

① 受診勧奨の効果

男女ともに事業実施年度の方が事業実施前年度よりも受診率が有意に高かった。年齢階級別においても全体の受診率は40歳を除き前年度より増加しており有意な変化であった。

勧奨の回数による比較では、2回勧奨した者の方が、1回勧奨した者よりも受診率が有意に高かった。本事業は3年目※であり、40歳のみ勧奨3年目であった。

これは、40歳は同じ方法で勧奨をしているため、一定の効果を得られるが、前年度を大幅に上回る効果を得ることはできず、それ以外の年齢は事業実施前年度に勧奨をしていないため、勧奨の効果が大きかったと考えられる。

今回の対象者は、日向市が実施する大腸がん検診を過去5年間未受診者に設定した。1回目、2回目の勧奨後ともに集団検診、個別医療機関の両方で検診を受診することが可能であった。

自己負担額は集団検診の方が安く、2回目の勧奨後に3日間の集団検診があった。集団検診を受診できない者は個別医療機関で受診することができた。

これらのことが、少なくとも5年間未受診であった者が、受診行動に至った可能性があると考えられる。

今後の課題として、経年的な勧奨が及ぼす受診率への影響を検証する必要がある。

② 受診状況調査結果

この調査時に検診を受診していた者は580人(38.6%)であり、そのうち420人(72.4%)は職場で受診していた。受診していないと本人が回答した者のうち事業実施年度内に受診の予定がある者は179人(27.4%)であった。

対象者の中には、職場が提供する検診を受診する機会がある者を含んでいるため、勧奨の効果が検出されにくいことが考えられる。効果的な受診率向上のためには、職場等での受診機会が無い者への受診勧奨を行っていくことが、重要であるとする。

※ 平成27年度がん検診受診環境整備事業報告書、平成28年度がん検診受診環境整備事業報告書

5 串間市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金.....	35
(2) 対象.....	35
(3) 受診勧奨内容.....	35
(4) 受診勧奨結果.....	37
①実施状況	
(ア) 胃がん検診	
(イ) 大腸がん検診	
(ウ) 子宮頸がん検診	
(エ) 乳がん検診	
②年齢階級別受診状況と受診率の比較	
(ア) 胃がん検診	
(イ) 大腸がん検診	
(ウ) 子宮頸がん検診	
(エ) 乳がん検診	
(5) 考察.....	45

5 串間市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金

がん検診の種類	自己負担金
胃がん検診	1,200 円
大腸がん検診	800 円
子宮頸がん検診	1,000 円
乳がん検診	1,200 円

(2) 対象

対象は、次のとおりであった。(年齢基準日は平成 30 年 3 月 31 日)

① 胃がん検診・大腸がん検診

41・46・51・56・61 歳の者のうち要介護認定 4 及び 5 を除く 1,025 名とした。

② 子宮頸がん検診

21・26・31・36・41・46・51・56・61 歳の者のうち要介護認定 4 及び 5 を除く 742 名とした。

③ 乳がん検診

41・46・51・56・61 歳の者のうち要介護認定 4 及び 5 を除く 488 名とした。

(3) 受診勧奨内容

串間市と健康づくり協会は、協議を重ね受診勧奨を 2 回実施した。

① 1 回目の勧奨(文書)：各がん検診共通内容を送付した。

日 程	平成 29 年 8 月 1 日
内 容	・お知らせ(鑑文書) ・5 がん検診リーフレット (詳細は資料 7 参照)

② 2 回目の勧奨(文書)：未受診のがん検診はがきを送付した。

種 類	胃がん検診 大腸がん検診 乳がん検診	子宮頸がん検診
日 程	平成 29 年 10 月 2 日	平成 30 年 1 月 30 日
内 容	(詳細は資料 8 参照)	(詳細は資料 8 参照)

③ その他の勸奨

串間市が実施したがん検診受診勸奨は次のとおり。

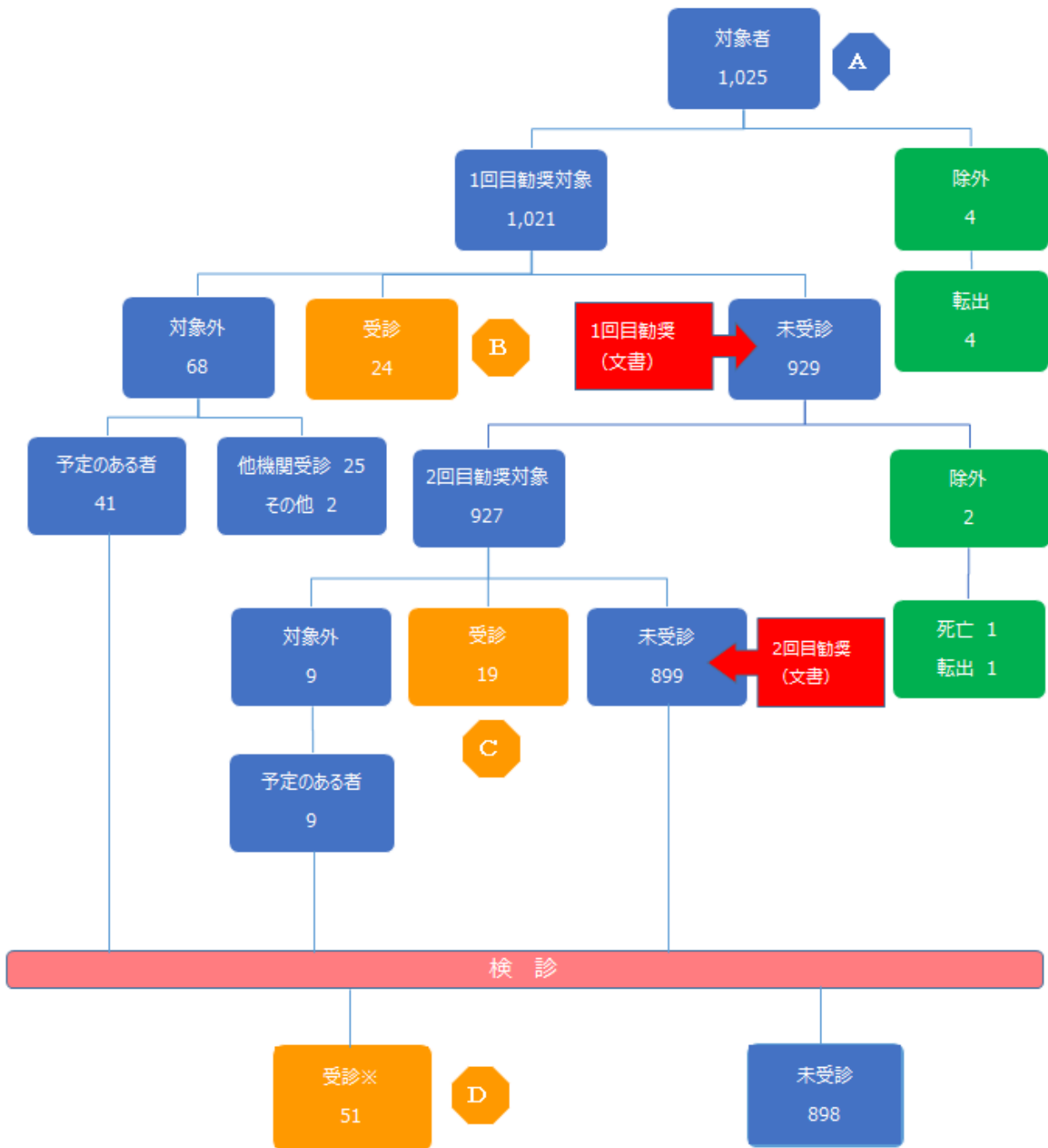
平成 29 年 5 月	対象者世帯へチラシ等による平成 29 年度がん検診周知 各地区公民館等で、健診事前説明会開催、広報誌掲載(通年)、ポスター掲示(~12月)
平成 29 年 6 月	広報車による広報(~11月)
平成 29 年 7 月	電話での受診勸奨(~12月)
平成 29 年 10 月	胃・大腸がん検診対象者の一部に封書で受診勸奨
平成 29 年 11 月	乳・子宮頸がん検診クーポン対象者へ封書で受診勸奨
平成 30 年 1 月	乳・子宮頸がん検診クーポン対象者へ封書で受診勸奨

5 串間市

(4) 受診勧奨結果

① 実施状況

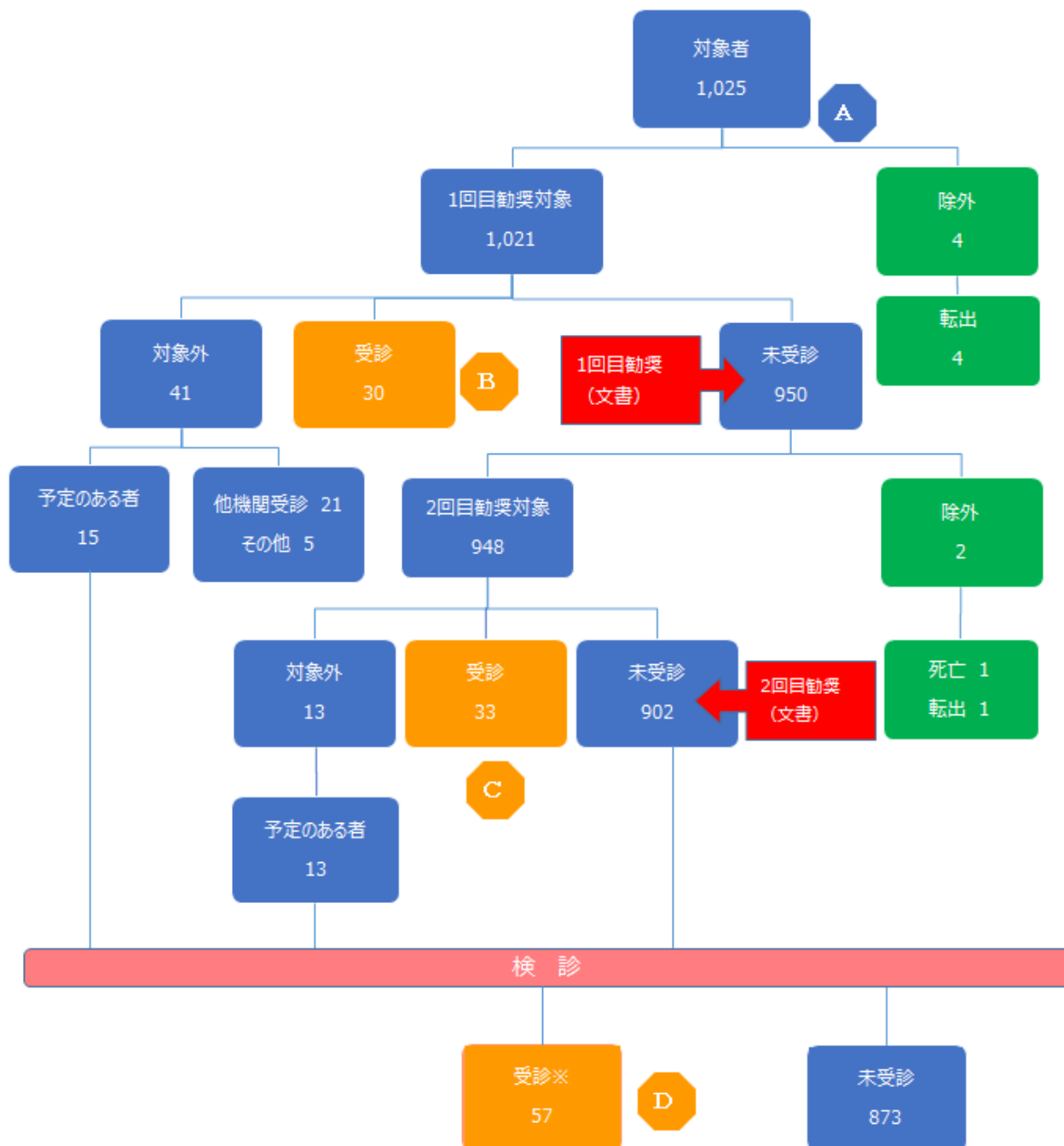
(ア) 胃がん検診



A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1回目勧奨後の受診者数
 D = 2回目勧奨後の受診者数

※ 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

(イ) 大腸がん検診

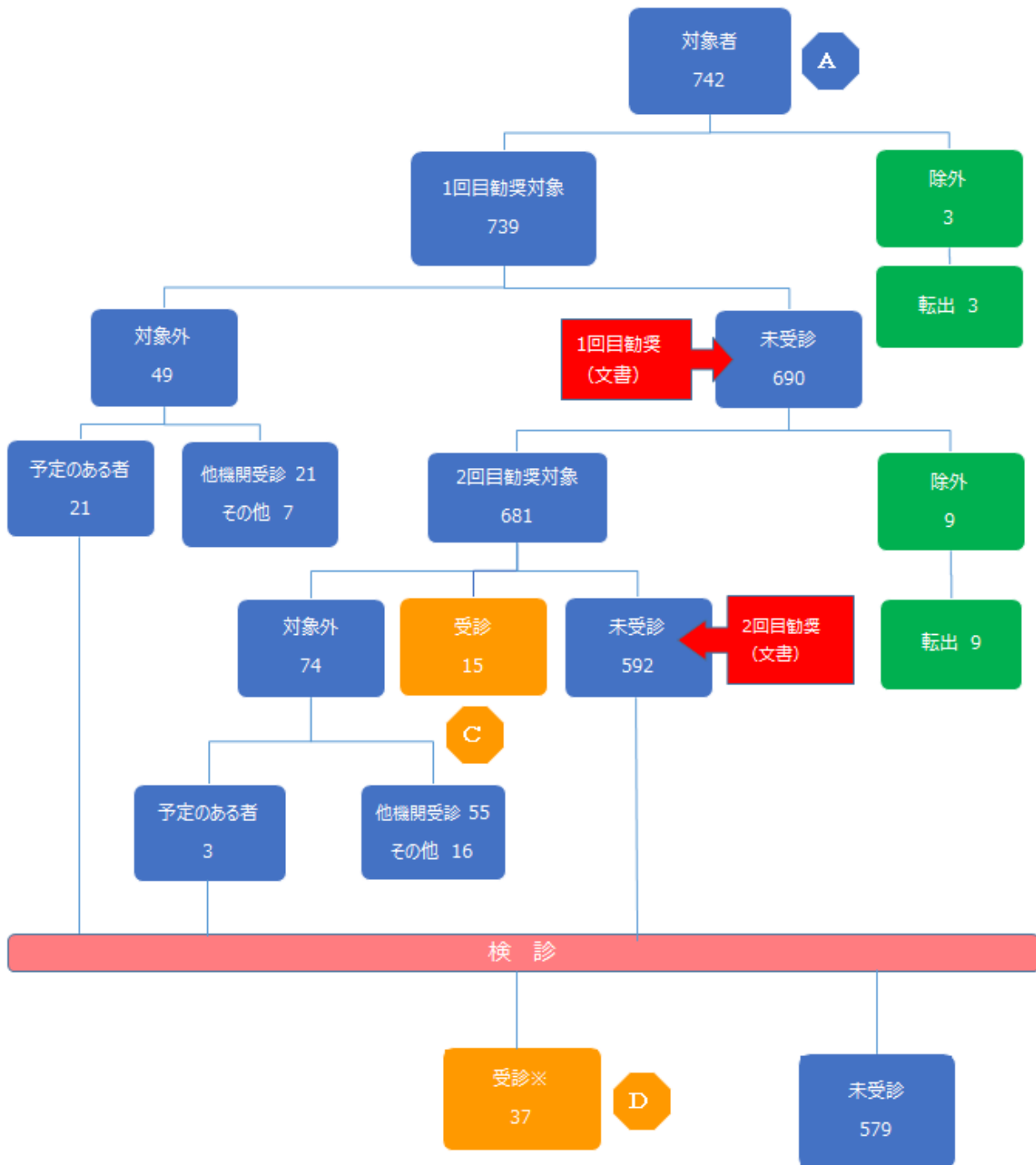


A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1回目勧奨後の受診者数
 D = 2回目勧奨後の受診者数

※ 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

5 串間市

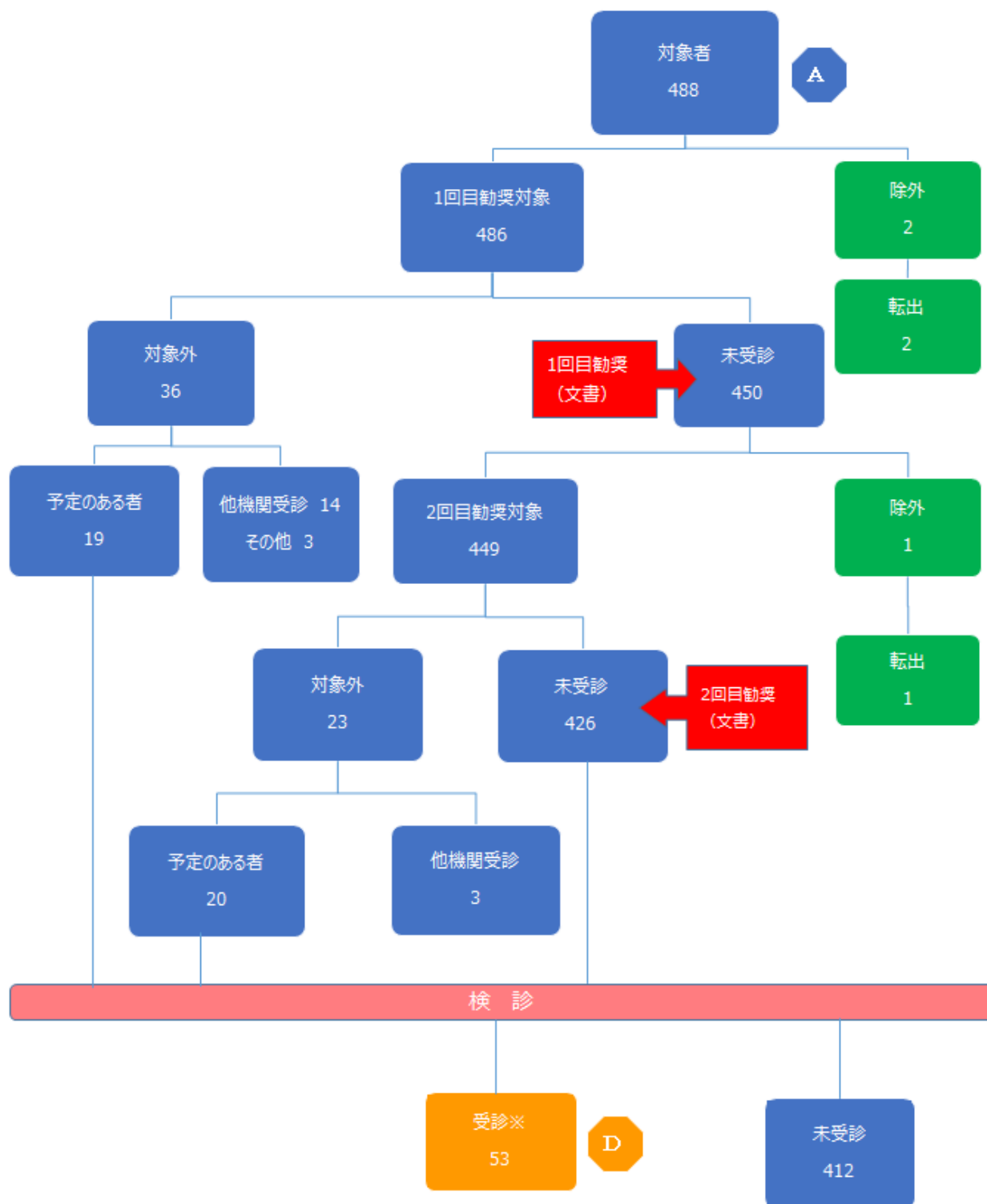
(ウ) 子宮頸がん検診



A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1 回目勧奨後の受診者数
 D = 2 回目勧奨後の受診者数

※ 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

(エ) 乳がん検診



A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1 回目勧奨後の受診者数
 D = 2 回目勧奨後の受診者数

※ 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

5 串間市

② 年齢階級別受診状況と受診率の比較

事業を実施したがん検診の種類、年齢などの対象者抽出の条件を揃えた対象者数と受診者数を表12・14・16・17に記した。

(ア) 胃がん検診

表12 胃がん検診年齢階級別受診状況（平成28・29年度）

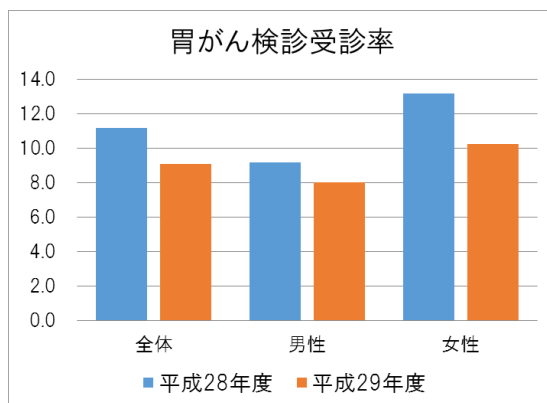
		平成28年度			平成29年度		
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
男性	41歳	100	16	16.0	95	9	9.5
	46歳	69	4	5.8	83	3	3.6
	51歳	85	5	5.9	77	7	9.1
	56歳	133	10	7.5	118	8	6.8
	61歳	168	16	9.5	164	16	9.8
	小計	555	51	9.2	537	43	8.0
女性	41歳	85	11	12.9	73	10	13.7
	46歳	72	5	6.9	77	2	2.6
	51歳	83	5	6.0	67	5	7.5
	56歳	141	19	13.5	106	10	9.4
	61歳	174	33	19.0	165	23	13.9
	小計	555	73	13.2	488	50	10.2
合計		1110	124	11.2	1025	93	9.1

《事業実施年度と前年度の比較》

表13 事業実施年度と前年度との受診率の比較及び検定結果

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)		
全体	1,110	124	11.2	1,025	93	9.1	0.11	0.79
男性	555	51	9.2	537	43	8.0	0.49	0.86
女性	555	73	13.2	488	50	10.2	0.15	0.75

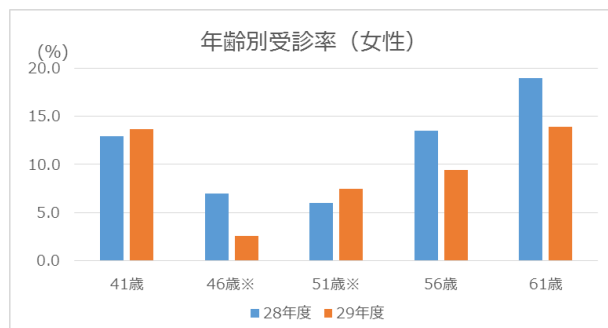
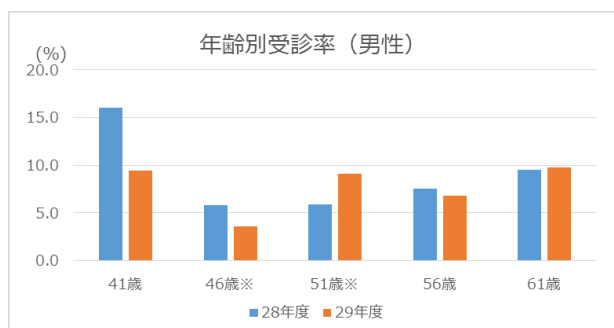
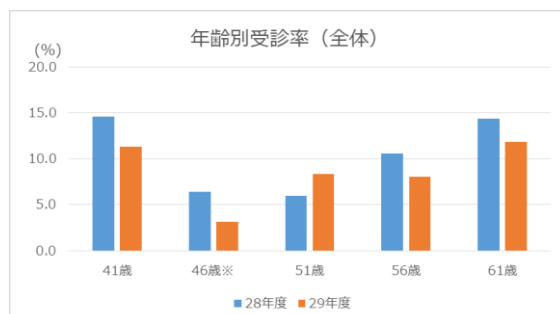
全体の受診率は9.1%であり、前年度と比べると2.1%減少したが、有意ではなかった。



《年齢階級別の比較》

全体では、51歳が増加したが、有意ではなかった。

受診者人数が5人以下の年齢は検定していない。※¹



(イ) 大腸がん検診

《年齢階級別受診者数》

表 14 大腸がん検診年齢階級別受診状況（平成28・29年度）

		平成28年度			平成29年度		
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
男性	41歳	100	16	16.0	95	9	9.5
	46歳	69	5	7.2	83	4	4.8
	51歳	85	8	9.4	77	9	11.7
	56歳	133	11	8.3	118	12	10.2
	61歳	168	19	11.3	164	20	12.2
	小計	555	59	10.6	537	54	10.1
女性	41歳	85	12	14.1	73	15	20.5
	46歳	72	4	5.6	77	2	2.6
	51歳	83	9	10.8	67	7	10.4
	56歳	141	23	16.3	106	12	11.3
	61歳	174	39	22.4	165	32	19.4
	小計	555	87	15.7	488	68	13.9
合計		1,110	146	13.2	1,025	122	11.9

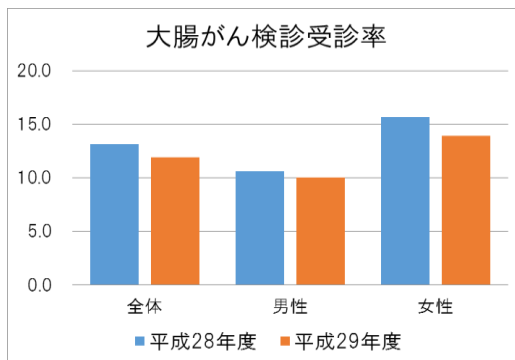
※検定していない年齢階級は、グラフの年齢に※をつけている。

《事業実施年度と前年度の比較》

表 15 事業実施年度と前年度との受診率の比較及び検定結果

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
全体	1,110	146	13.2	1,025	122	11.9	0.38	0.89
男性	555	59	10.6	537	54	10.1	0.76	0.94
女性	555	87	15.7	488	68	13.9	0.43	0.87

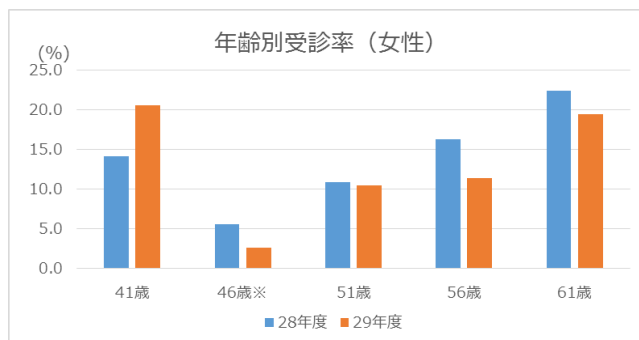
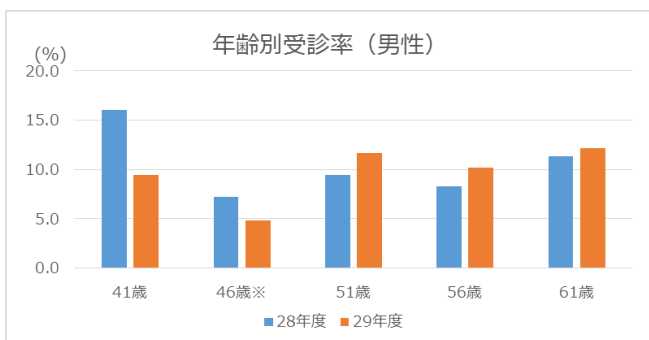
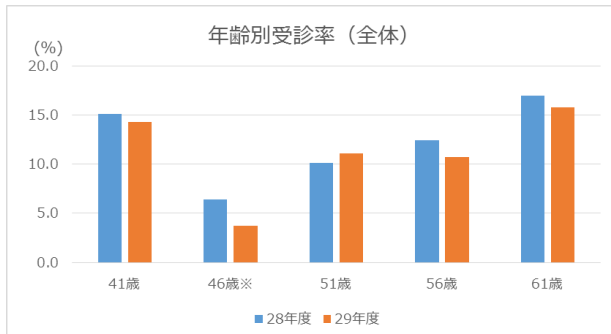
全体・男性・女性の受診率は、前年度と比べると0.5～1.8%減少していたが有意ではなかった。



《年齢階級別の比較》

女性では、41歳が増加したが、有意ではなかった。

受診者人数が5人以下の年齢は検定していない。※2



※検定していない年齢階級は、グラフの年齢に※をつけている。

(ウ) 子宮頸がん検診

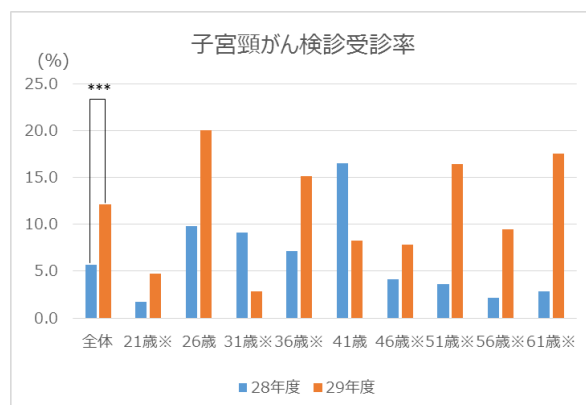
《年齢階級別受診者数》

表 16 子宮頸がん検診年齢階級別受診状況（平成 28・29 年度）と受診率の比較と検定

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
全体	822	47	5.7	742	90	12.1	P<0.001	2.28
21歳	59	1	1.7	42	2	4.8	-	- ※
26歳	61	6	9.8	55	11	20.0	0.12	2.29
31歳	77	7	9.1	71	2	2.8	-	- ※
36歳	70	5	7.1	86	13	15.1	-	- ※
41歳	85	14	16.5	73	6	8.2	0.12	0.45
46歳	72	3	4.2	77	6	7.8	-	- ※
51歳	83	3	3.6	67	11	16.4	-	- ※
56歳	141	3	2.1	106	10	9.4	-	- ※
61歳	174	5	2.9	165	29	17.6	-	- ※

全体の受診率は 12.1% で、前年と比べると 6.4% 増加し、有意であった。

勧奨 1 回後は集団・個別検診を受診可能であったが、2 回後は個別検診のみであった。



(エ) 乳がん検診

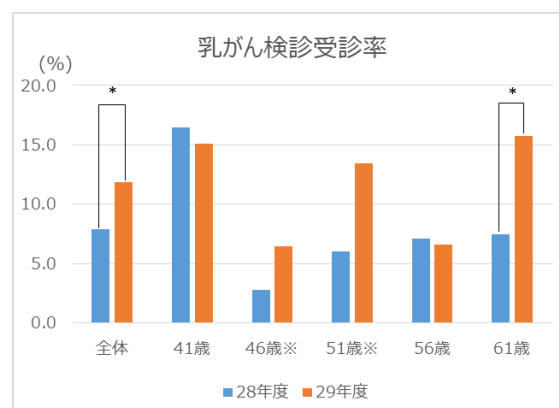
《年齢階級別受診者数》

表 17 乳がん検診年齢階級別受診状況（平成 28・29 年度）と受診率の比較と検定

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
全体	555	44	7.9	488	58	11.9	0.03	1.57
41歳	85	14	16.5	73	11	15.1	0.81	0.90
46歳	72	2	2.8	77	5	6.5	-	- ※
51歳	83	5	6.0	67	9	13.4	-	- ※
56歳	141	10	7.1	106	7	6.6	0.88	0.93
61歳	174	13	7.5	165	26	15.8	0.02	2.32

全体の受診率は、11.9% で 4.0% 増加し、有意であった。

61 歳の受診率は、15.8% で 8.3% 増加し、有意であった。



※ 受診者数が 5 人以下の場合、検定していない。

(5) 考察

串間市は、本事業の参加は3年目[※]であり、勧奨したがん検診の種類や対象年齢は同じであった。

①胃がん検診・大腸がん検診

これまでの3年間の勧奨効果[※]を考えると、同じような勧奨を経年的にしていた場合、勧奨以前の受診率と比べ増加はするものの勧奨した前年度の受診率と大きく変化することはなく、ほぼ同じ受診率である。今回の胃がん・大腸がん検診も同様であり、受診率は減少していたが有意な差は認められなかった。

今後の課題として、対象者の特性に応じた勧奨内容を検証し、評価する必要がある。

②子宮頸がん検診・乳がん検診

子宮頸・乳がん検診の全体の受診率は、事業実施前年度と比較し有意に増加していた。

これは、受診機関の体制が前年度と異なることが影響していると考えられる。事業実施前年度は、個別検診のみ受診可能であり、事業実施年度は集団・個別検診の両方を受診可能であった。

このことにより、受診可能な機関をある程度確保し、受診環境を整えなければ、同じ勧奨を実施したとしても十分な効果を得ることが難しいと考えられる。

また、子宮頸がん・乳がん検診は対象集団が小さいため、受診者数名の増減で受診率に大きな影響があると考えられる。

[※] 平成27年度がん検診受診環境整備事業報告書、平成28年度がん検診受診環境整備事業報告書

6 えびの市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金	47
(2) 対象	47
(3) 受診勧奨内容	47
(4) 受診勧奨結果	48
①実施状況	
②年齢階級別受診状況	
③受診率の比較	
(ア)事業実施年度と前年度との比較及び検定結果(同地区)	
(イ)年齢階級別の比較(同地区)	
(ウ)事業対象地区と非対象地区の比較(平成 29 年度)	
(エ)勧奨回数別の比較	
④電話勧奨における実施率及び成功率	
⑤受診状況調査	
(5) 考察	56

6 えびの市

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金

大腸がん検診

自己負担金 500 円

(人間ドックの場合自己負担 8,163 円。一部自己負担金が無料の者を含む。詳細はこのページの下部「(3) ③その他の勧奨」を参照)

(2) 対象

対象は、40～69 歳の国民健康保険加入者で以下の自治会のうち要介護認定 4 及び 5 を除く 1,290 名とした。(年齢基準日は平成 30 年 3 月 31 日)

【対象とする自治会】(以降、事業実施地区という。また、実施しない地区を非対象地区という)
加久藤地区、上江地区

(3) 受診勧奨内容

えびの市と健康づくり協会は、協議を重ね、受診勧奨を 2 回実施した。

① 1 回目の勧奨 (文書)

日 程	平成 29 年 8 月 1 日
内 容	・お知らせ(鑑文書) ・検診の申込先など ・大腸がん検診リーフレット (詳細は資料 9 参照)

② 2 回目の勧奨 (電話)：2 回目の勧奨は未受診者のうち電話番号を把握できた者に実施した。

日 程	平成 29 年 10 月 17～23 日
内 容	・受診状況の確認 ・未受診理由の確認 ・受診方法の案内

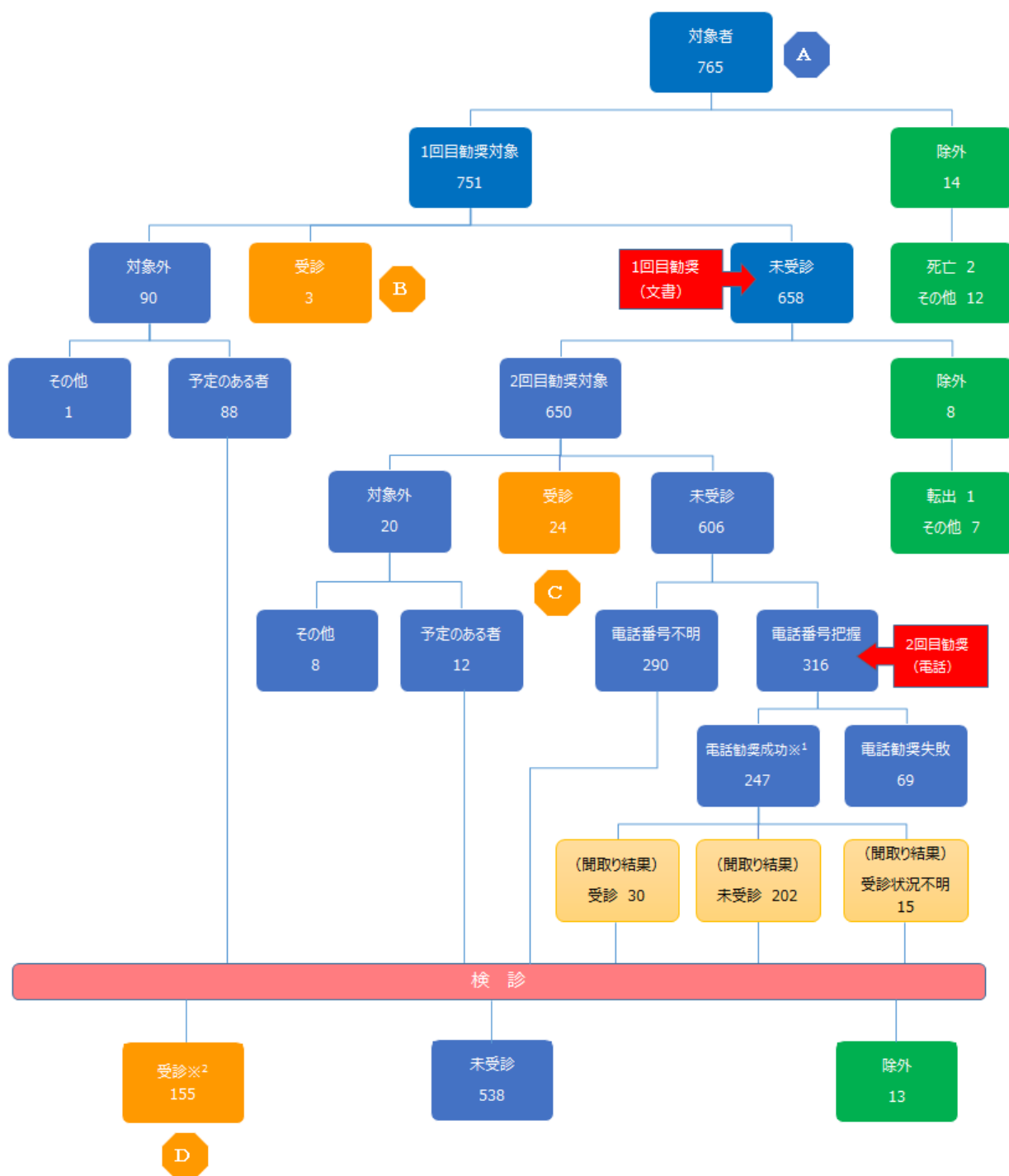
③ その他の勧奨：えびの市が実施したがん検診受診勧奨は次のとおり。

平成 29 年 4 月	今年度の各種検診の申し込み(対象者へ申込書を送付)
平成 29 年 5 月	下記の対象年齢にがん検診無料クーポン券を発送 胃がん検診：50・56・60・66 歳 大腸がん検診：40・50・56・60・66 歳 子宮頸がん検診：30・36・40 歳 乳がん検診：30・36・40 歳
平成 29 年 9 月	市役所のロビーにポスター掲示
平成 29 年 11 月	文化祭でポスター掲示
通年	前期高齢者受給者証交付時にがん検診受診勧奨

(4) 受診勧奨結果

① 実施状況

(ア) 加久藤地区

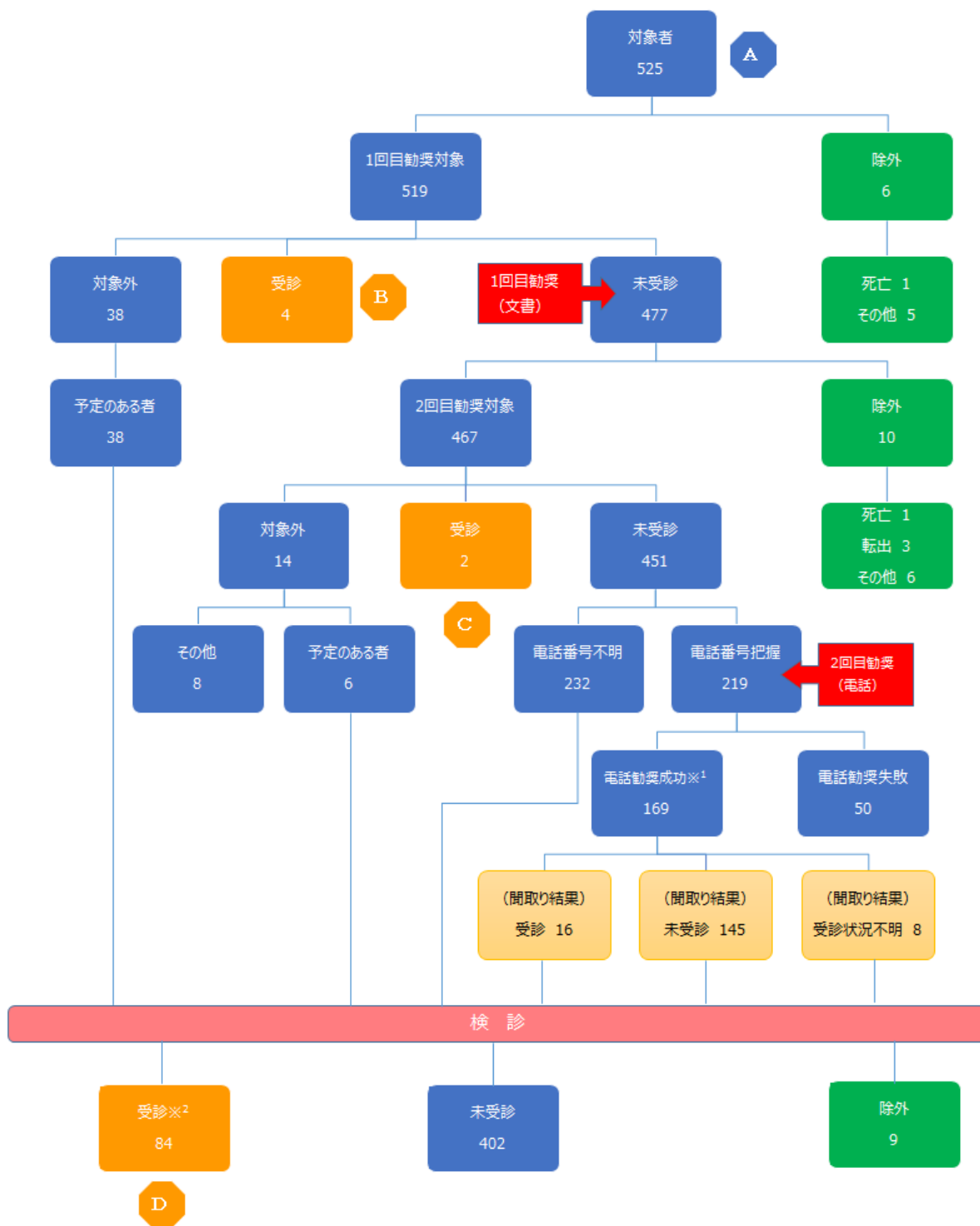


※1 電話勧奨成功とは検診の受診状況を確認できた者のことである。
 ※2 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1 回目勧奨後の受診者数
 D = 2 回目勧奨後の受診者数

6 えびの市

(イ) 上江地区



※1 電話勧奨成功とは検診の受診状況を確認できた者のことである。
 ※2 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1回目勧奨後の受診者数
 D = 2回目勧奨後の受診者数

② 年齢階級別受診状況（加久藤・上江地区）

事業対象地区における、がん検診の種類、年齢などの対象者抽出の条件を揃えた対象者数と受診者数を表 18 に記した。事業対象地区は加久藤地区・上江地区でありその合計を記した。

また、非対象地区における対象者数と受診者数を表 19 に記した。

表 18 年齢階級別受診状況（同地区：平成 28・29 年度）

		平成28年度			平成29年度		
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
男性	40～44歳	53	2	3.8	62	6	9.7
	45～49歳	47	0	0.0	34	4	11.8
	50～54歳	54	1	1.9	62	6	9.7
	55～59歳	93	15	16.1	85	18	21.2
	60～64歳	194	24	12.4	168	25	14.9
	65～69歳	300	43	14.3	280	77	27.5
	小計	741	85	11.5	691	136	19.7
女性	40～44歳	27	5	18.5	27	3	11.1
	45～49歳	29	2	6.9	25	6	24.0
	50～54歳	52	5	9.6	54	8	14.8
	55～59歳	75	14	18.7	74	18	24.3
	60～64歳	171	24	14.0	153	31	20.3
	65～69歳	289	41	14.2	266	73	27.4
	小計	643	91	14.2	599	139	23.2
合計	1,384	176	12.7	1,290	275	21.3	

表 19 年齢階級別受診状況（非対象地区：平成 29 年度）

		平成29年度		
		対象者数（人）	受診者数（人）	受診率
男性	40～44歳	72	6	8.3
	45～49歳	72	4	5.6
	50～54歳	82	13	15.9
	55～59歳	138	16	11.6
	60～64歳	232	21	9.1
	65～69歳	464	57	12.3
	小計	1,060	117	11.0
女性	40～44歳	60	10	16.7
	45～49歳	56	2	3.6
	50～54歳	91	11	12.1
	55～59歳	106	12	11.3
	60～64歳	284	24	8.5
	65～69歳	440	68	15.5
	小計	1,037	127	12.2
合計	2,097	244	11.6	

③ 受診率の比較

(ア) 事業実施年度と前年度との比較 (同地区)

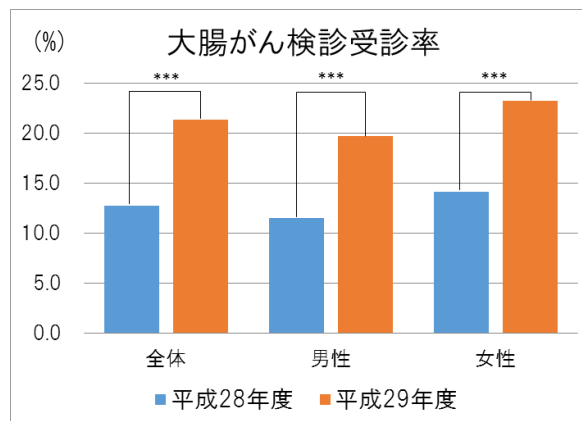
表 20 事業実施年度と前年度との受診率の比較及び検定結果

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
全体	1,384	176	12.7	1,290	275	21.3	P<0.001	1.86
男性	741	85	11.5	691	136	19.7	P<0.001	1.89
女性	643	91	14.2	599	139	23.2	P<0.001	1.83

全体の受診率は 21.3% であり、前年度と比べると 8.6% 増加し、有意であった。

男性の受診率は 19.7% であり、前年度と比べると 8.2% 増加し、有意であった。

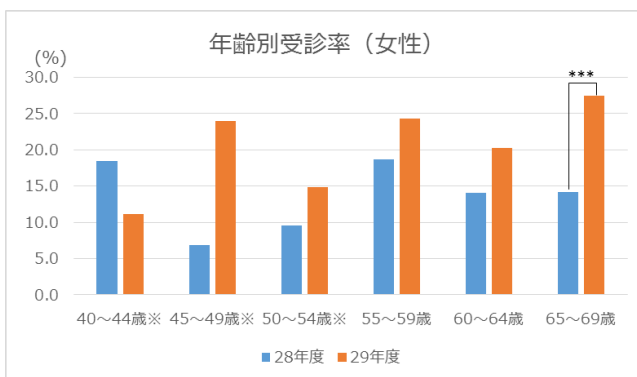
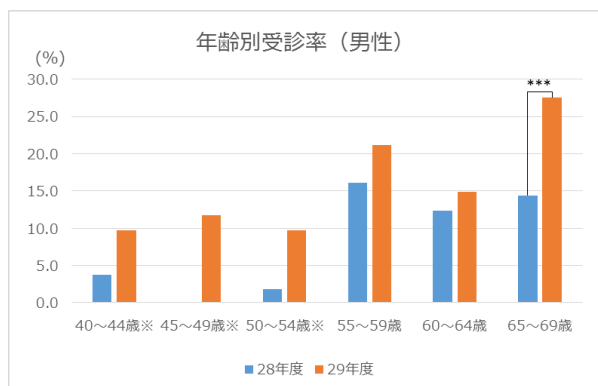
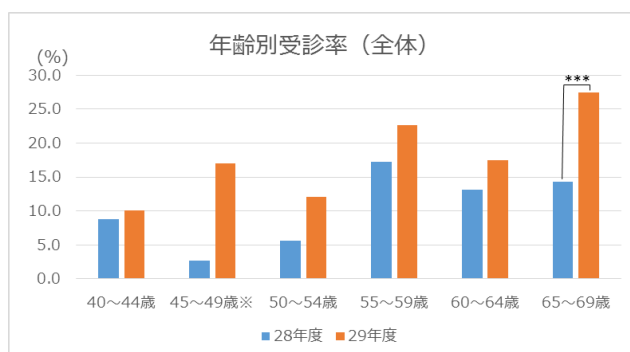
女性の受診率は 23.2% であり、前年度と比べると 9.0% 増加し、有意であった。



(イ) 年齢階級別の比較 (同地区)

全体・男性・女性の受診率は、65～69歳の年代で有意な増加がみられた。

受診者数が5人以下の年齢は検定していない。*



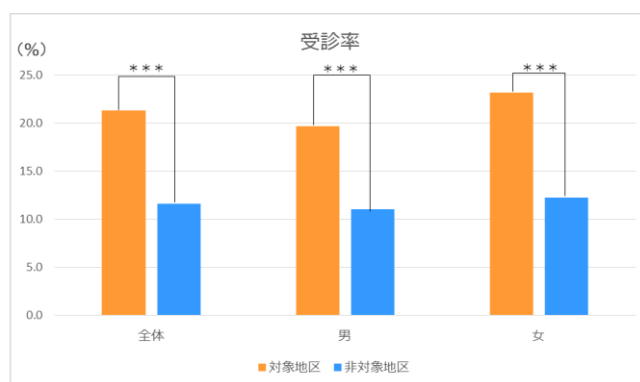
*検定していない年齢階級は、グラフの年齢に※をつけている。

(ウ) 事業対象地区と非対象地区の比較（平成 28 年度）

事業対象地区と非対象地区では、全体・男性・女性において事業対象地区の方が受診率は有意に高かった。

表 21 事業対象地区と非対象地区の受診率の比較及び検定結果

	対象地区			非対象地区			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
全体	1,290	275	21.3	2,097	244	11.6	P<0.001	2.06
男性	691	136	19.7	1,060	117	11.0	P<0.001	1.98
女性	599	139	23.2	1,037	127	12.2	P<0.001	2.17



(エ) 勧奨回数別の比較

勧奨回数による受診状況を表 22 に記した。

2 回目の勧奨は、未受診者のうち電話番号を把握できた者のみに電話による勧奨をした。その電話勧奨で、大腸がん検診の受診状況を確認した。この確認ができた者を電話勧奨成功、できなかった者を電話勧奨失敗とした。(詳細な結果は⑤受診状況調査を参照)

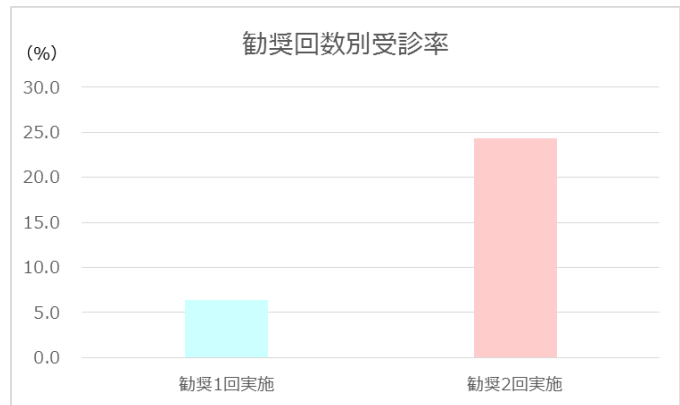
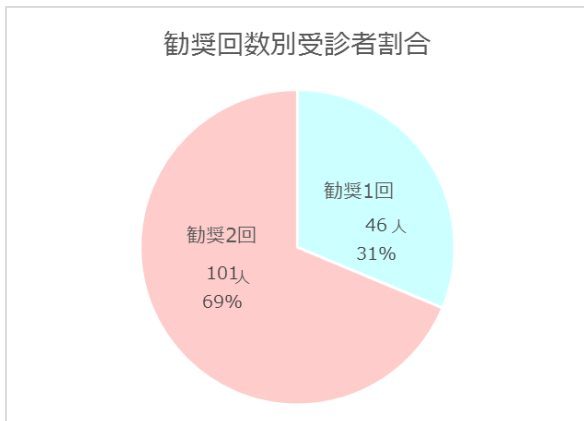
確認をした相手は、本人または家族(同居者を含む)とした。

表 22 勧奨回数別受診状況と検定結果

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	P値 (χ^2 検定)	オッズ比
勧奨1回実施	719	46	6.4	P<0.001	4.69
勧奨2回実施	416	101	24.3		

えびの市は勧奨1回後、2回後ともに、集団・個別検診のどちらかで受診することが可能であった。

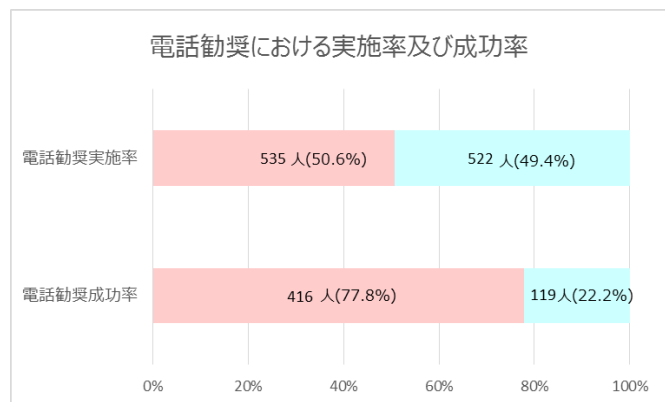
勧奨後に受診した147人のうち、勧奨1回の者は46人で、勧奨2回の者は101人で、勧奨回数による受診状況に有意な差があった。



④ 電話勧奨における実施率及び成功率

電話勧奨の対象となった者は、1,057 人であり、そのうち 535 人(50.6%)の電話番号を把握できた。

そのうち成功した者は 416 人(77.8%)であった。



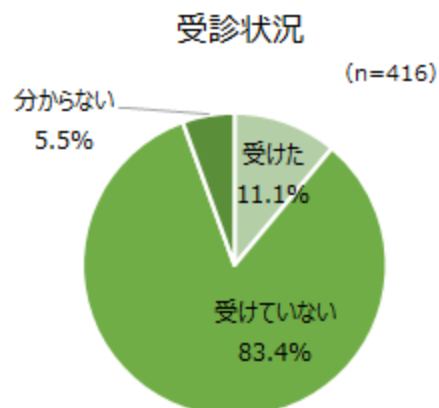
⑤ 受診状況調査

2 回目の勧奨（電話）の際に、大腸がん検診がん検診未受診者が職場や医療機関等において次の期間で受診したかどうかを確認した。

受診期間：平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

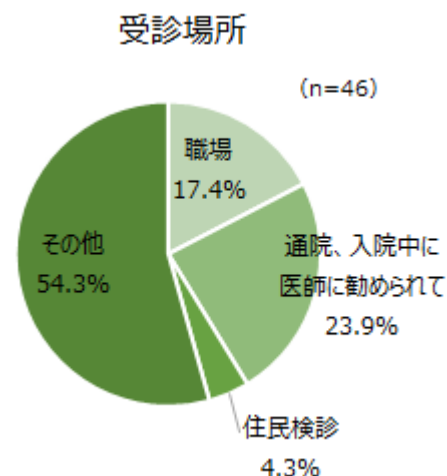
(ア) 大腸がん検診受診状況

	(人)
受けた	46
受けていない	347
分からない	23
合計	416



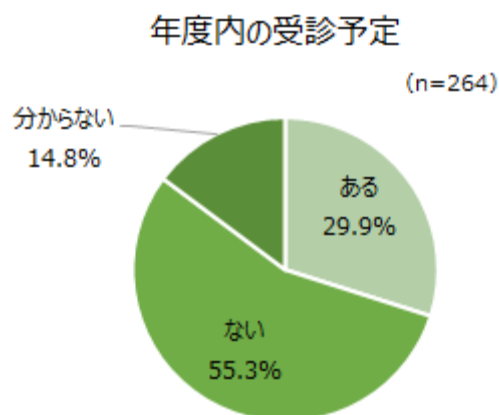
(イ) (ア) において「受けた」と回答した者の受診場所

	(人)
職場	8
通院、入院中に医師に勧められて	11
住民検診	2
その他	25
合計	46



(ウ) (ア) において「受けていない」(本人回答のみ) と回答した者の受診予定

	(人)
ある	79
ない	146
分からない	39
合計	264

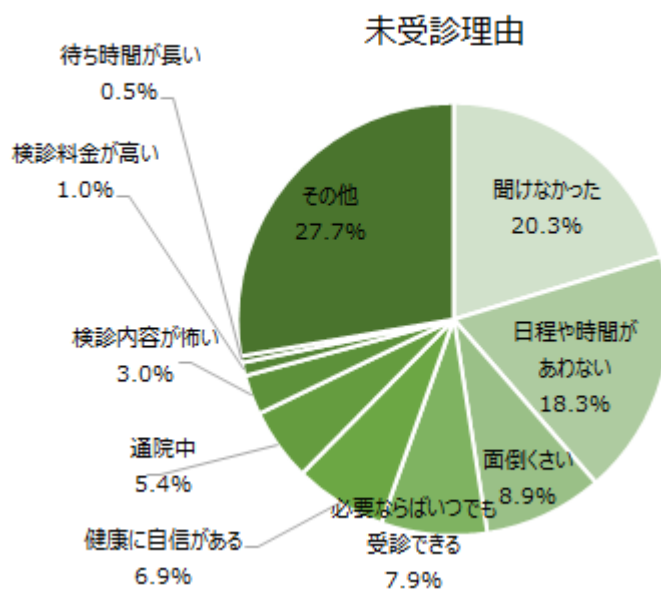


「ある」と回答した者は、えびの市が実施する検診を受診予定としている者を含む。実際に勧奨後にえびの市の検診を受診した者は 39 人(49.4%)であった

6 えびの市

(ウ) において「ない」「分からない」と回答した者の未受診理由（複数回答）

	(人)
日程や時間があわない	64
聞けなかった	34
面倒くさい	17
必要ならばいつでも受診できる	15
健康に自信がある	10
待ち時間が長い	10
検診料金が高い	8
検診内容が怖い	5
通院中	1
その他	48
合計	212



(5) 考察

① 受診勧奨の効果

事業実施年度と事業実施前年度との比較では、事業実施年度の方が事業実施前年度よりも受診率が男女とも有意に高かった。

事業対象地区と非対象地区との比較においても、事業対象地区の方が事業非対象地区よりも受診率が有意に高かった。

勧奨の回数による比較では、2回勧奨した者の方が、1回勧奨した者よりも受診率が有意に高かった。

このことより、本事業による勧奨は受診率に一定の効果があると考えられる。

また、本事業は3年目であるが、対象としている地区が前年度と異なるため、前年度の勧奨効果が影響はしていないと考える。

② 受診状況調査結果

この調査時に、検診を受診していた者は46人(11.1%)であり、そのうち8人(17.4%)は職場において受診していた。受診していないと本人が回答した者のうち事業実施年度内に受診の予定がある者は79人(29.9%)であった。

対象者の中には、職場が提供する検診を受診する機会がある者を含んでいるため、勧奨の効果が検出されにくいことが考えられる。効果的な受診率向上のためには、職場等での受診機会が無い者への受診勧奨を行っていくことが、重要であると考えられる。

7 川南町

(1) 対象とするがん検診の種類とその自己負担金.....	58
(2) 対象.....	58
(3) 受診勧奨内容.....	58
(4) 受診勧奨結果.....	59
①実施状況	
(ア) 子宮頸がん検診	
(イ) 乳がん検診	
②年齢階級別受診状況と受診率の比較	
(ア) 子宮頸がん検診	
(イ) 乳がん検診	
③勧奨回数別の比較	
(ア) 子宮頸がん検診	
(イ) 乳がん検診	
④電話勧奨における実施率及び成功率	
(ア) 子宮頸がん検診	
(イ) 乳がん検診	
⑤受診状況調査	
(ア) 子宮頸がん検診	
(イ) 乳がん検診	
(5) 考察.....	67

(1) 対象とするがん検診の種類と自己負担金

がん検診の種類	自己負担金
子宮頸がん検診	1,000 円 (21 歳は無料クーポン対象)
乳がん検診	3,000 円 (41 歳は無料クーポン対象)

(2) 対象

対象は、次のとおりであった。(年齢基準日は平成 30 年 3 月 31 日)

① 子宮頸がん検診

20～69 歳の者のうち要介護認定 4 及び 5 を除く 2,114 名とした。(但し、30～69 歳は平成 25～27 年度に受診歴のある者とした。)

② 乳がん検診

40～69 歳の者のうち要介護認定 4 及び 5 を除く 1,442 名とした。(但し、50～69 歳は平成 25～27 年度に受診歴がある者とした。)

(3) 受診勧奨内容

川南町と健康づくり協会は、協議を重ね、受診勧奨を 2 回実施した。

① 1 回目の勧奨 (文書)：未受診のがん検診リーフレットを送付した。

日 程	平成 29 年 9 月 26 日
内 容	・お知らせ(鑑文書) ・乳がん検診リーフレット (詳細は資料 12 参照)

② 2 回目の勧奨 (電話)：2 回目の勧奨は未受診者のうち電話番号を把握できた者に実施した。

日 程	平成 30 年 1 月 16～19 日
内 容	・受診状況の確認 ・未受診理由の確認 ・受診方法の案内

③ その他の勧奨

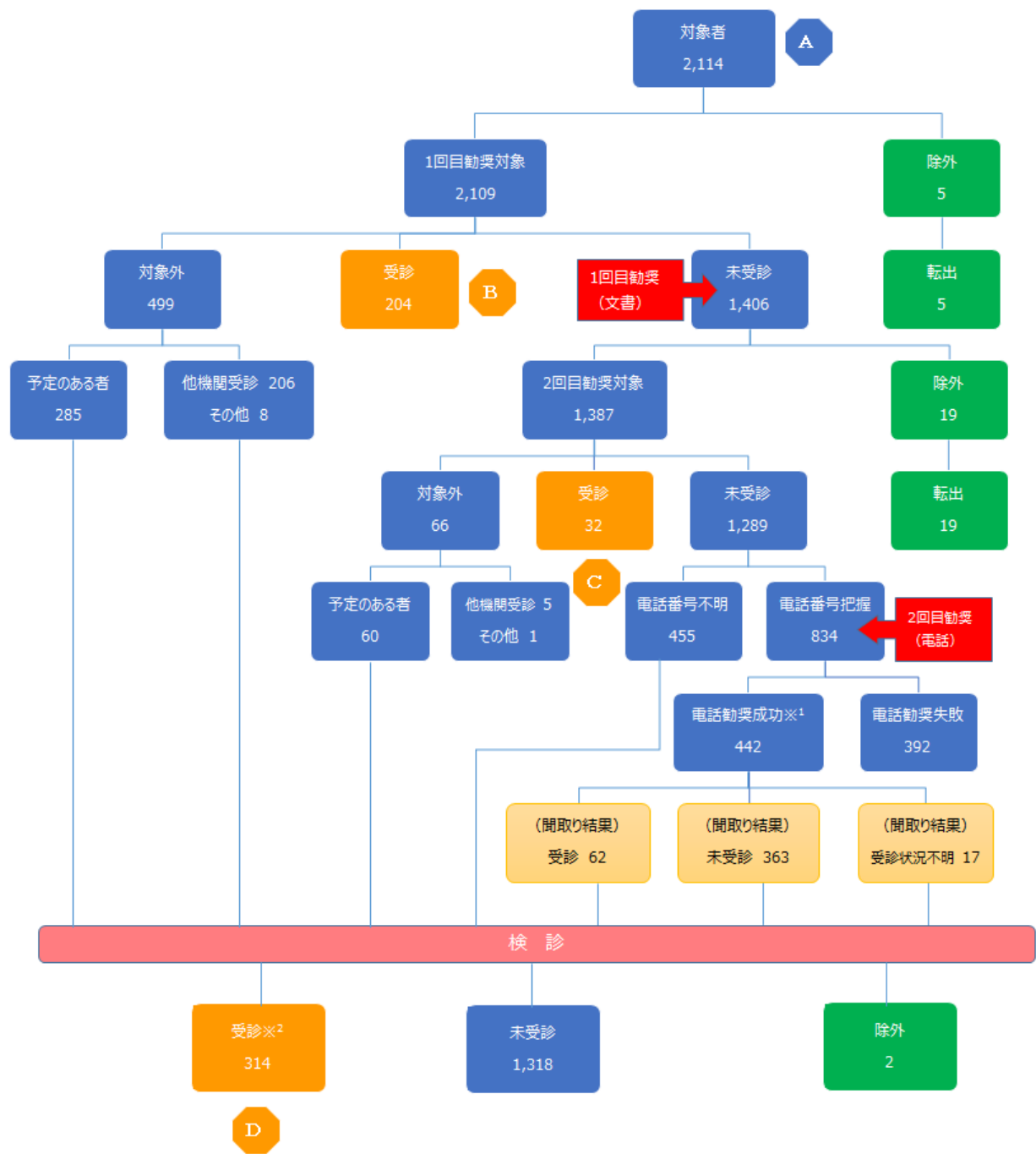
川南町が実施したがん検診受診勧奨は次のとおりであった。

平成 29 年 2 月	健診申込書送付
平成 29 年 4 月	総合健診申込者案内
平成 29 年 8 月	9 月総合健診申込者案内
平成 30 年 2 月	子宮がん、乳がん申込者にハガキにて通知、防災無線にて案内

(4) 受診勧奨結果

① 実施状況

(ア) 子宮頸がん検診

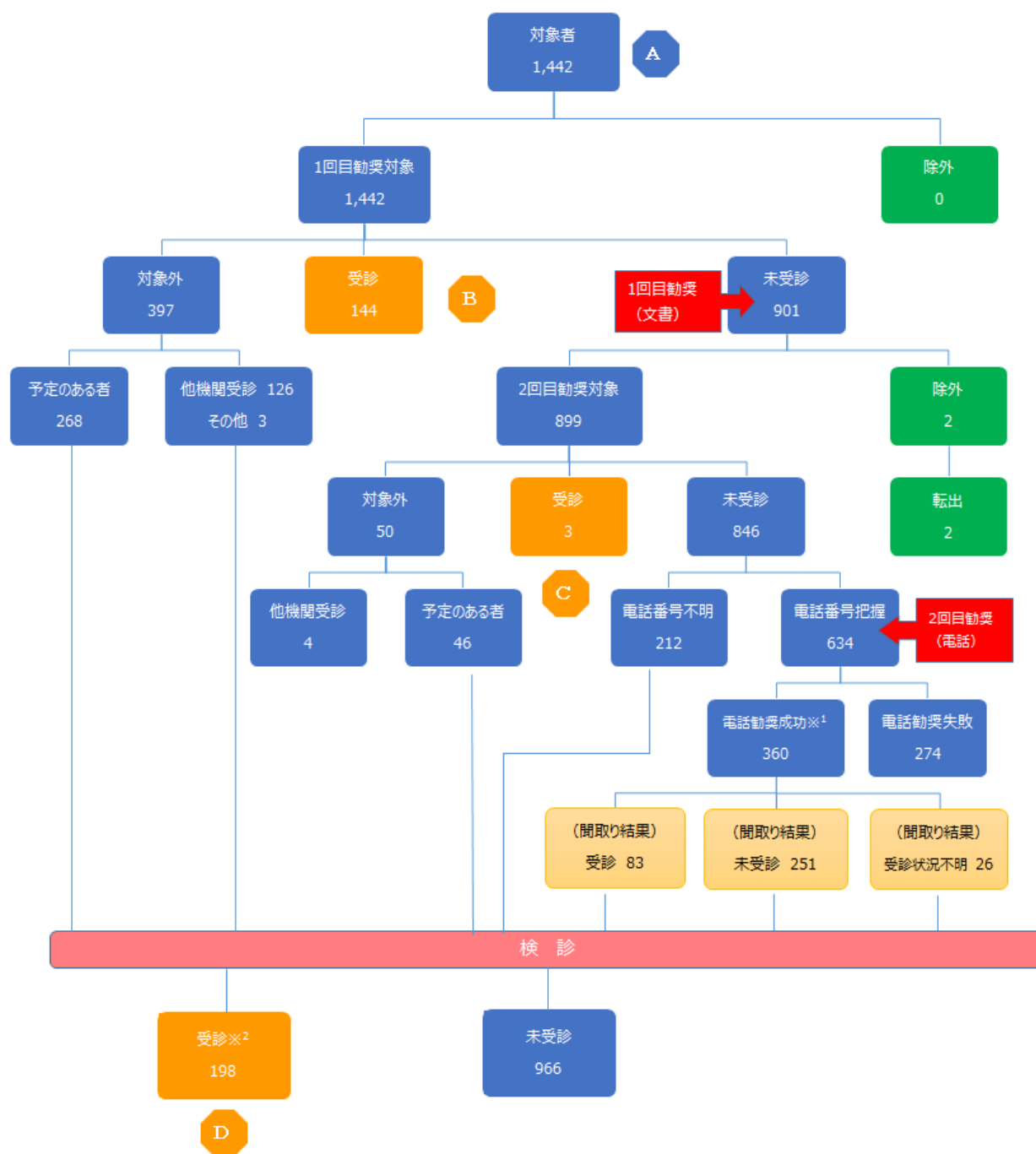


※1 電話勧奨成功とは検診の受診状況を確認できた者のことである。

※2 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1回目勧奨後の受診者数
 D = 2回目勧奨後の受診者数

(イ) 乳がん検診



※1 電話勧奨成功とは検診の受診状況を確認できた者のことである。
 ※2 市町村が実施する検診以外で受診している者は受診には含まない。

A = 対象者数
 B = 事業開始前の受診者数
 C = 1回目勧奨後の受診者数
 D = 2回目勧奨後の受診者数

7 川南町

② 年齢階級別受診状況と受診率の比較

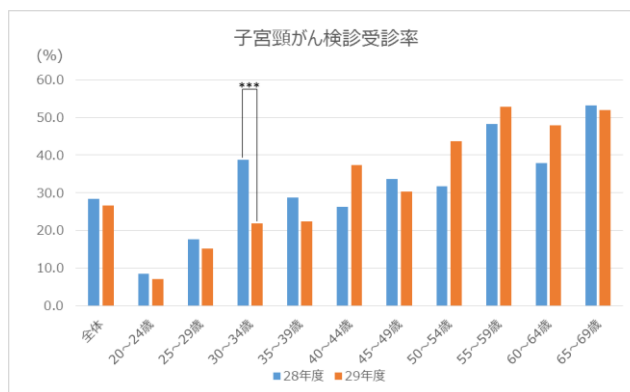
がん検診の種類、年齢などの対象者抽出の条件を揃えた対象者数と受診者数を表 23・24 に記した。

(ア) 子宮頸がん検診

表 23 子宮頸がん検診年齢階級別受診状況と受診率の比較と検定

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
全体	1,623	459	28.3	2,114	562	26.6	0.25	0.92
20~24歳	333	28	8.4	354	25	7.1	0.51	0.83
25~29歳	312	55	17.6	271	41	15.1	0.42	0.83
30~34歳	103	40	38.8	351	77	21.9	P<0.001	0.44
35~39歳	146	42	28.8	421	94	22.3	0.12	0.71
40~44歳	122	32	26.2	115	43	37.4	0.06	1.68
45~49歳	83	28	33.7	89	27	30.3	0.63	0.86
50~54歳	79	25	31.6	80	35	43.8	0.12	1.68
55~59歳	83	40	48.2	89	47	52.8	0.55	1.20
60~64歳	153	58	37.9	138	66	47.8	0.09	1.50
65~69歳	209	111	53.1	206	107	51.9	0.81	0.95

全体の受診率は 26.6% で、前年度と比べると 1.7% 減少しているが、有意ではなかった。
年代別では 30~34 歳で有意に減少していた。

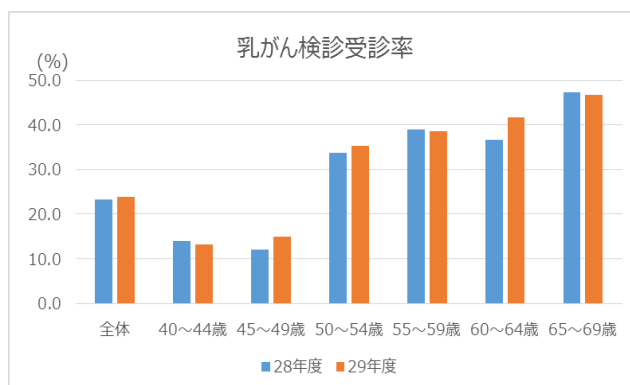


(イ) 乳がん検診

表 24 乳がん検診年齢階級別受診状況と受診率の比較と検定

	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		
全体	1,478	344	23.3	1,442	345	23.9	0.68	1.04
40~44歳	494	69	14.0	487	64	13.1	0.71	0.93
45~49歳	426	51	12.0	440	66	15.0	0.19	1.30
50~54歳	98	33	33.7	88	31	35.2	0.82	1.07
55~59歳	113	44	38.9	109	42	38.5	0.95	0.98
60~64歳	161	59	36.6	132	55	41.7	0.38	1.23
65~69歳	186	88	47.3	186	87	46.8	0.92	0.98

全体の受診率は 23.9% で、前年度と比べると 0.6% 増加したが、有意ではなかった。



③ 勧奨回数別の比較

勧奨回数による受診状況を表 25・26 に記した。2 回目の勧奨は、未受診者のうち電話番号を把握できた者のみに電話による勧奨をした。その電話勧奨で、子宮頸がんもしくは乳がん検診の受診状況を確認した。この確認ができた者を電話勧奨成功、できなかった者を電話勧奨失敗とした。（詳細な結果は⑤受診状況調査を参照）確認をした相手は、本人または家族（同居者を含む）とした。

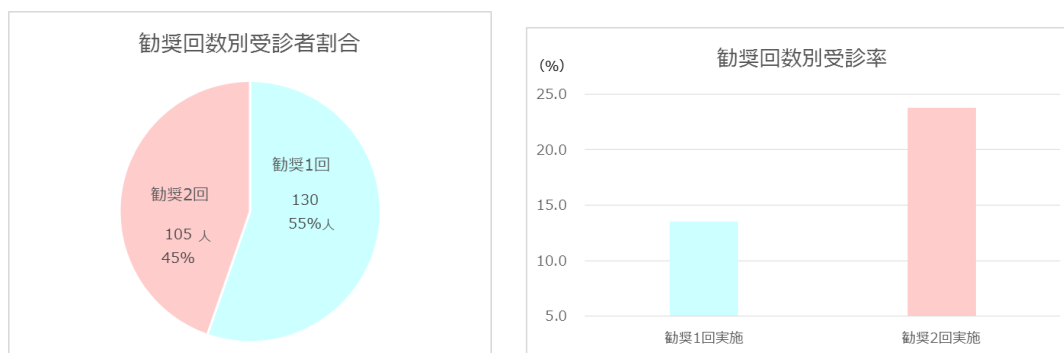
(ア) 子宮頸がん検診

表 25 勧奨回数別受診状況と検定結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	P値 (χ^2 検定)	オッズ比
勧奨1回実施	964	130	13.5	P<0.001	2.00
勧奨2回実施	442	105	23.8		

子宮頸がん検診は集団検診と個別検診の両方で検診を受診することが可能だった。

勧奨後に受診した 235 人のうち、勧奨 1 回の者は 130 人で、勧奨 2 回の者は 105 人で、勧奨回数による受診状況に有意な差があった。



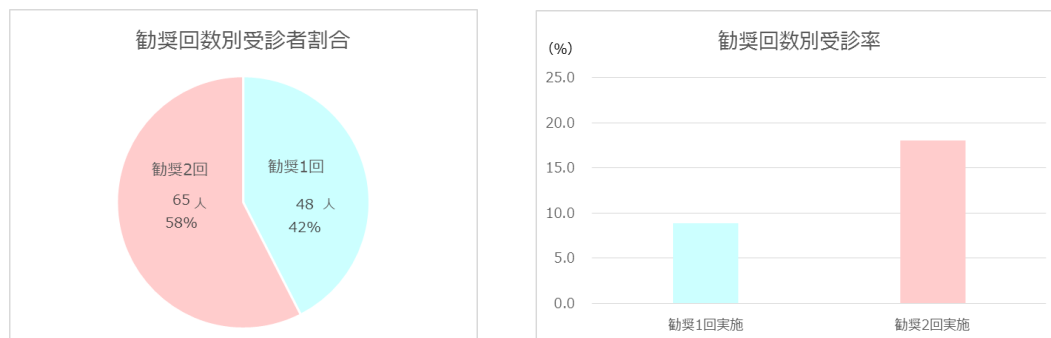
(イ) 乳がん検診

表 26 勧奨回数別受診状況と検定結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	P値 (χ^2 検定)	オッズ比
勧奨1回実施	541	48	8.9	P<0.001	2.26
勧奨2回実施	360	65	18.1		

子宮頸がん検診は集団検診と個別検診の両方で検診を受診することが可能だった。

勧奨後に受診した 113 人のうち、勧奨 1 回の者は 48 人で、勧奨 2 回の者は 65 人で、勧奨回数による受診状況に有意な差があった。



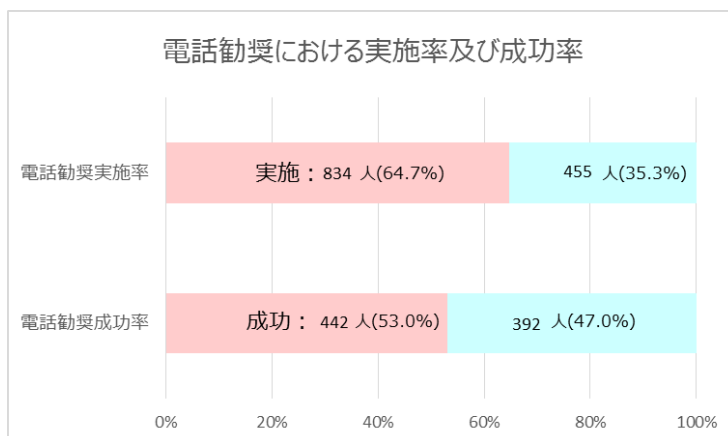
7 川南町

④ 電話勧奨における実施率及び成功率

(ア) 子宮頸がん検診

電話勧奨の対象となった者は、1,289 人であり、そのうち 834 人 (64.7%) の電話番号を把握できた。

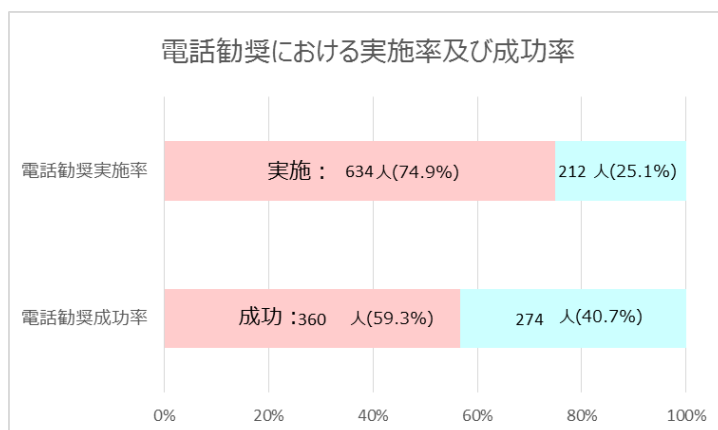
また、電話勧奨した 834 人のうち成功した者は 442 人 (53.0%) であった。



(イ) 乳がん検診

電話勧奨の対象となった者は、846 人であり、そのうち 634 人 (74.9%) の電話番号を把握できた。

また、電話勧奨した 634 人のうち成功した者は 360 人 (56.8%) であった。



⑤ 受診状況調査

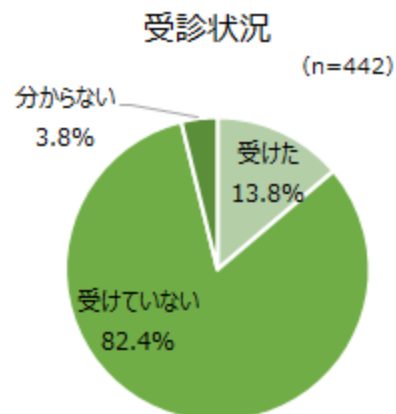
2回目の勧奨（電話）の際に、子宮頸がんもしくは乳がん検診未受診者が職場や医療機関等において次の期間で受診したかどうかを確認した。

受診期間：平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(ア) 子宮頸がん検診

ア) 子宮頸がん検診受診状況

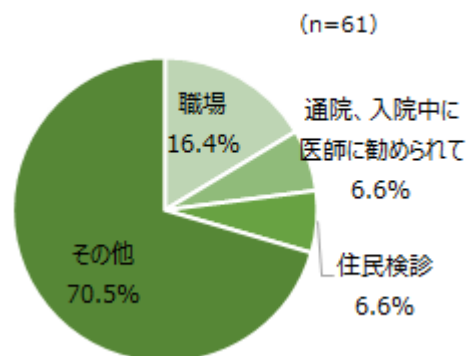
	(人)
受けた	61
受けていない	364
分からない	17
合計	442



イ) ア)において「受けた」と回答した者の受診場所

	(人)
職場	10
通院、入院中に医師に勧められて	4
住民検診	4
その他	43
合計	61

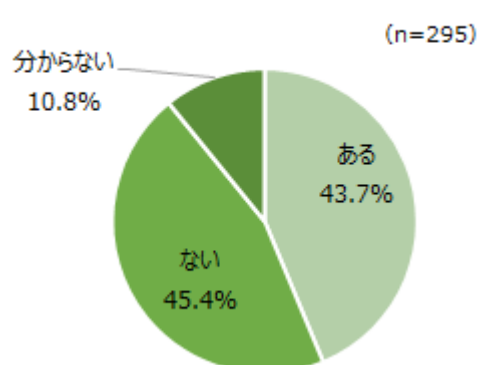
受診場所



ウ) ア)において「受けていない」(本人回答のみ)と回答した者の受診予定

	(人)
ある	129
ない	134
分からない	32
合計	295

年度内の受診予定

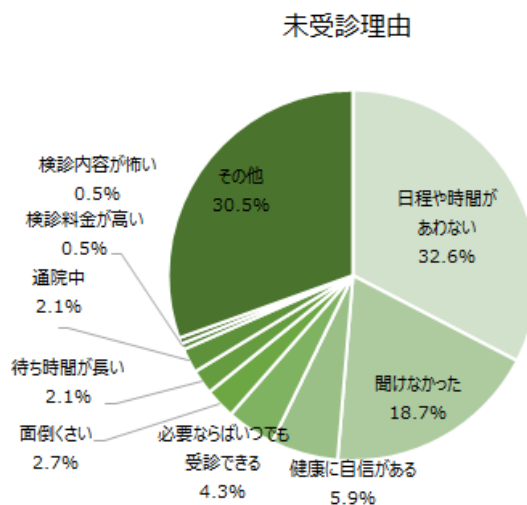


「ある」と回答した者は、川南町が実施する検診を受診予定としている者を含む。実際に勧奨後に川南町の検診を受診した者は59人(45.7%)であった。

7 川南町

エ) ウ) において「ない」「分からない」と回答した者の未受診理由（複数回答）

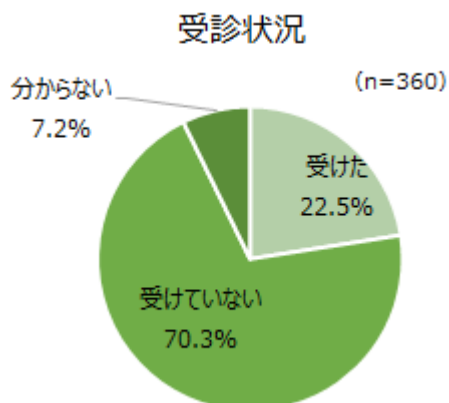
	(人)
日程や時間があわない	61
聞けなかった	35
健康に自信がある	11
必要ならばいつでも受診できる	8
面倒くさい	5
待ち時間が長い	4
通院中	4
検診料金が高い	1
検診内容が怖い	1
その他	57
合計	187



(イ) 乳がん検診

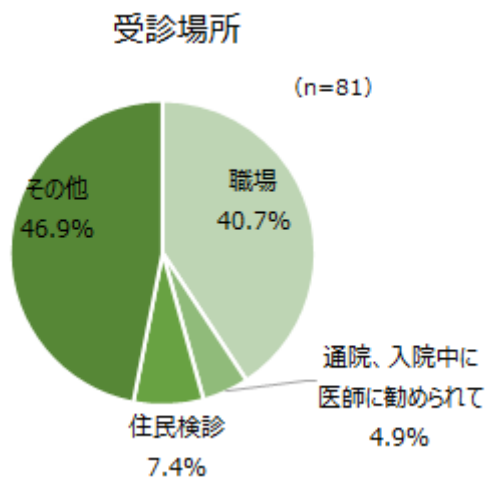
ア) 乳がん検診受診状況

	(人)
受けた	81
受けていない	253
分からない	26
合計	360



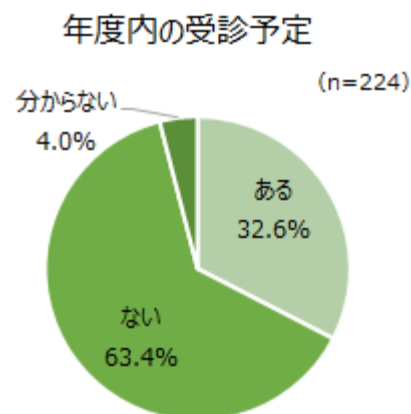
イ) ア) において「受けた」と回答した者の受診場所

	(人)
職場	33
通院、入院中に医師に勧められて	4
住民検診	6
その他	38
合計	81



ウ) ア) において「受けていない」(本人回答のみ)と回答した者の受診予定

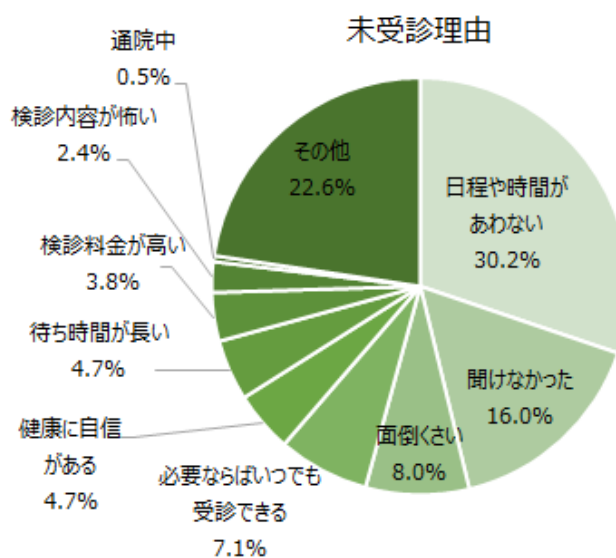
	(人)
ある	73
ない	142
分からない	9
合計	224



「ある」と回答した者は、川南町が実施する検診を受診予定としている者を含む。実際に勧奨後に川南町の検診を受診した者は24人(32.9%)であった。

エ) ウ) において「ない」「分からない」と回答した者の未受診理由(複数回答)

	(人)
日程や時間があわない	64
聞けなかった	34
面倒くさい	17
必要ならばいつでも受診できる	15
健康に自信がある	10
待ち時間が長い	10
検診料金が高い	8
検診内容が怖い	5
通院中	1
その他	48
合計	212



(5) 考察

川南町は、本事業の参加は3年目^{*}であるが、勧奨するがん検診の種類や年齢は一部を除き異なり右表にまとめた。対象年齢の一部は受診歴のある者として

年齢基準日 3/31現在	子宮頸がん		乳がん	胃がん	
	28年度	29年度	29年度	27年度	28年度
20～39歳	○	○	-	-	-
40～65歳	○	○	○	○	○
66～69歳	-	○	○	○	-

①受診勧奨の効果

子宮頸がん検診において、事業実施年度と事業実施前年度との比較では、全体の有意な変化はなかったが、年齢階級別では30～34歳で有意に減少していた。一部の年齢は対象でなかったものの勧奨している内容は同じであり、検診料金の自己負担額や勧奨後の検診日数等も事業実施前年度と変更なかった。

しかし、今回の子宮頸がん検診では、30～34歳において受診率は低くなっていた。これは、本事業と別の要因が影響していることが考えられる。

乳がん検診において、事業実施年度と事業実施前年度との比較では、全体・年齢階級別にみても有意な変化はなかった。

これまでの3年間の勧奨効果^{*}を考えると、事業実施前年度に乳がん検診勧奨をしていないため、今回の勧奨によって受診率に一定の効果が期待されたが、その効果は確認できなかった。これは、本事業と別の要因が影響していることが考えられる。

②受診状況調査結果

子宮頸がん検診では、この調査時に、検診を受診していた者は61人(13.8%)であり、そのうち10人(16.4%)は職場において受診していた。受診していないと本人が回答した者のうち事業実施年度内に受診の予定がある者は129人(43.7%)であった。そのうち、2回目の勧奨後に川南町の検診を受診した者は、59人であった。

乳がん検診では、この調査時に、検診を受診していた者は81人(22.5%)であり、そのうち33人(40.7%)は職場において受診していた。受診していないと本人が回答した者のうち事業実施年度内に受診の予定がある者は73人(32.6%)であった。そのうち、2回目の勧奨後に川南町の検診を受診した者は、24人であった。

このことより、対象者の中には職場が提供する検診を受診する機会がある者を含んでいるため勧奨の効果が検出されにくいことが考えられる。効率的な受診率向上のためには、職場等での受診の機会が無い者へ受診勧奨を行なっていくことが、重要であるとする。

^{*} 平成27年度がん検診受診環境整備事業報告書、平成28年度がん検診受診環境整備事業報告書

8 実施内容別集計結果と検定

(1) 各市町別勧奨内容及び事業実施年度と前年度の比較.....	69
(2) 勧奨方法別における受診率の比較と検定結果.....	70
(3) 当事業実施歴別の比較.....	71
(4) 電話勧奨における実施率と成功率.....	72

8 実施内容別集計

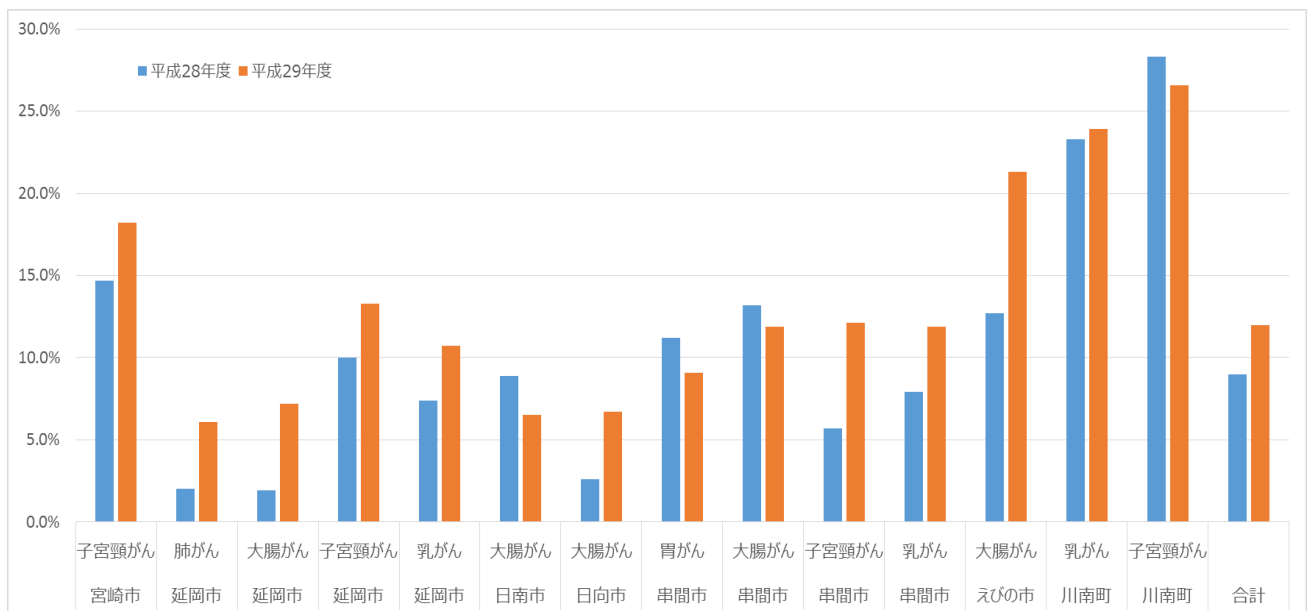
(1) 各市町別勧奨内容及び事業実施年度と前年度との比較

各市町の実施内容と事業実施年と前年度の比較を表 27 に記した。

事情実施前年度に当事業による勧奨を実施したかどうかを左に掲載した。「継続」は前年度も同様の対象者に勧奨し、「初回」は当事業による勧奨を初めて実施した場合である。*

表 27 事業実施年度と前年度の比較及び検定結果

市町村	がんの種類	勧奨方法	平成28年度			平成29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比	受診率の差 H29-H28	連続事業 実施
			対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率				
宮崎市	子宮頸がん	A	5,755	848	14.7%	5,688	1,034	18.2%	0.35	1.06	3.5%	継続
延岡市	肺がん	A	3,925	78	2.0%	3,915	237	6.1%	P<0.001	3.18	4.1%	初回
延岡市	大腸がん	A	3,925	74	1.9%	3,915	281	7.2%	P<0.001	4.02	5.3%	初回
延岡市	子宮頸がん	A	3,925	391	10.0%	3,915	519	13.3%	P<0.001	1.38	3.3%	初回
延岡市	乳がん	A	3,925	290	7.4%	3,915	419	10.7%	P<0.001	1.50	3.3%	初回
日南市	大腸がん	B	3,577	319	8.9%	3,597	235	6.5%	P<0.001	0.71	-2.4%	継続
日向市	大腸がん	B	5,755	151	2.6%	5,775	387	6.7%	P<0.001	2.67	4.1%	初回
串間市	胃がん	A	1,110	124	11.2%	1,025	93	9.1%	0.01	0.79	-2.1%	継続
串間市	大腸がん	A	1,110	146	13.2%	1,025	122	11.9%	0.38	0.89	-1.3%	継続
串間市	子宮頸がん	A	822	47	5.7%	742	90	12.1%	P<0.001	2.28	6.4%	継続
串間市	乳がん	A	555	44	7.9%	488	58	11.9%	0.03	1.57	4.0%	継続
えびの市	大腸がん	B	1,384	176	12.7%	1,290	275	21.3%	P<0.001	1.86	8.6%	初回
川南町	乳がん	B	1,478	344	23.3%	1,442	345	23.9%	0.68	1.04	0.6%	初回
川南町	子宮頸がん	B	1,623	459	28.3%	2,114	562	26.6%	0.25	0.92	-1.7%	継続
合計			38,869	3,491	9.0%	38,846	4,657	12.0%	P<0.001	1.34	3.0%	



* えびの市は前年度実施しているが対象地域が異なるため、「初回」となる。延岡市・日向市・川南町(乳)はH27・28年度実施しているが対象者が異なるため「初回」となる。

(2) 勧奨方法別における受診率の比較と検定結果

勧奨方法は2種類であった。(表 28)

この種類別に、受診率を比較するために実施市町のそれぞれの対象者数・受診者数を合計し、A・Bの受診率を算出した。さらに、その受診率の変化が事業実施年度と前年度において有意であったか検定をおこなった。(表 29) A・Bともに有意な変化を認めた。

また、事業実施年度における方法別について有意であったか比較した。(表 30) Bの方法がAよりも有意に高かった。

表 28 勧奨方法別実施市町一覧

	勧奨方法	実施市町 (がん検診の種類)
A	文書勧奨2回	宮崎市 (子宮頸)、延岡市 (肺・大腸・子宮頸・乳)、 串間市 (胃・大腸・子宮頸・乳)
B	文書勧奨+電話勧奨	日南市 (大腸)、日向市 (大腸)、えびの市 (大腸)、川南町 (子宮頸・乳)

表 29 勧奨方法別受診率の比較と検定結果(年度比較)

	H28年度			H29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率		
全体	38,869	3,491	9.0%	38,846	4,657	12.0%	P<0.000	1.33
A	25,052	2,042	8.2%	24,628	2,853	11.6%	P<0.001	1.48
B	13,817	1,449	10.5%	14,218	1,804	12.7%	P<0.001	1.24

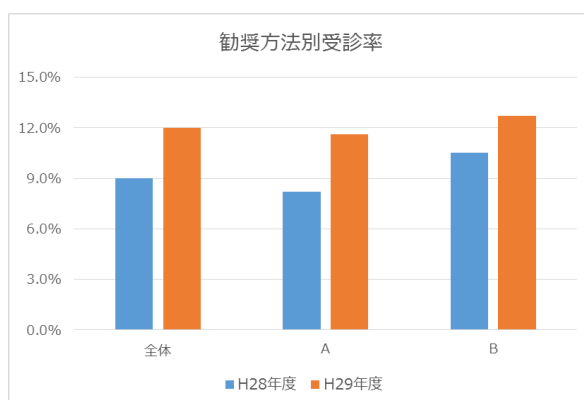


表 30 勧奨方法別受診率の比較と検定結果(方法比較)

	H29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数	受診者数	受診率		
A	24,628	2,853	11.6%	P<0.001	1.24
B	14,218	1,804	12.7%		

8 実施内容別集計

(3) 当事業実施歴別の比較

表 31 に事業実施前年度に当事業を実施したかどうかを記しており、初回と継続での受診率の比較をした。

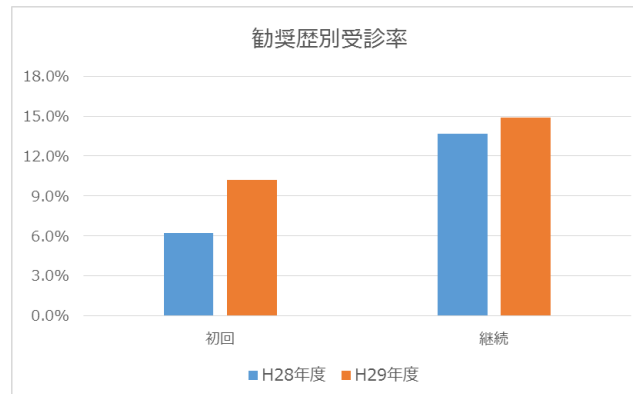
初回における受診率は、前年度と比べると 4.0%増加しており、有意であった。

継続における受診率は、前年度と比べると 1.2%増加しており、有意であった。

初回と継続を比べると、継続の方が受診率は高かった。

表 31 当事業実施歴別の比較

	H28年度			H29年度			P値 (χ^2 検定)	オッズ比
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率		
初回	24,317	1,504	6.2%	24,167	2,463	10.2%	P<0.001	1.72
継続	14,552	1,987	13.7%	14,679	2,194	14.9%	P<0.01	1.11



(4) 電話勧奨における実施率と成功率

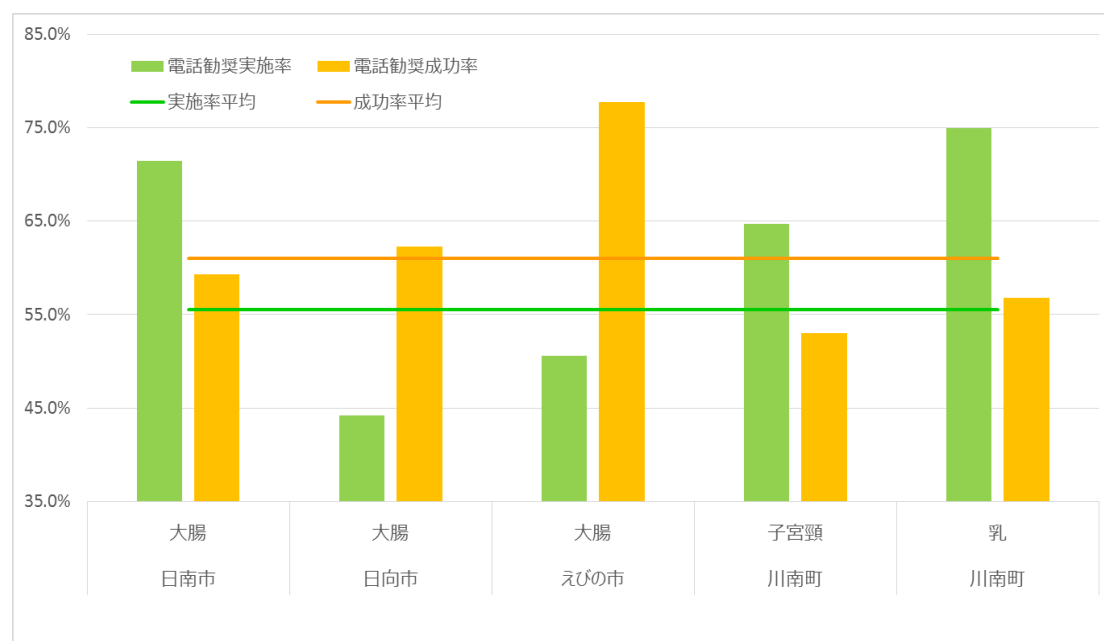
電話勧奨の実施率とは、電話勧奨の対象となった者のうち電話勧奨をした者（＝電話番号把握できた者）の割合とした。

電話勧奨の成功率とは、電話勧奨では受診状況を確認するが、その確認ができた者の割合とした。確認をした相手は、本人または家族（同居者を含む）とした。

電話勧奨を実施した4市町（勧奨方法：B）の実施率と成功率を表32に記した。
 実施率は、44.3～74.9%と市町間でばらつきがみられ、平均は55.5%であった。
 成功率は、53.0～77.8%であり、平均は61.0%であった。

表32 電話勧奨の実施率及び成功率

	日南市 大腸	日向市 大腸	えびの市 大腸	川南町 子宮頸	川南町 乳	平均
電話勧奨実施率	71.5%	44.3%	50.6%	64.7%	74.9%	55.5%
電話勧奨成功率	59.3%	62.3%	77.8%	53.0%	56.8%	61.0%



Ⅲ 考 察

本事業は、対象者数を健康づくり協会が示し、それ以外については市町村の希望に応じた内容を協議しながら実施した。そのため、勧奨効果を市町村間で評価するには、条件の異なる部分が多いため、勧奨方法別と勧奨歴別に効果を検証した。

勧奨方法別は2種類(A・B)であった。事業実施年度と前年度との受診率比較をしたところ、A・Bともに受診率は前年度と比べ有意に高かった。(表42・43) また、事業実施年度において方法別に比較をするとBの方がAよりも受診率は有意に高かった。(表44)

勧奨歴別では、初回・継続ともに受診率は前年度と比べ有意に高かった。また初回と継続の受診率を比べると、継続の方が受診率は高かった。(表45)

市町村別で勧奨効果を確認できない場合であっても、事業を実施した市町村すべてを勧奨方法別や勧奨歴別で検証することで効果を確認することができた。

電話勧奨の際に、勧奨するがん検診の受診状況(平成29年度)を確認した。未受診の者には、その理由を確認した。その結果、「日程や時間が合わない」「健康に自信がある」「必要ならばいつでも受診できる」「面倒くさい」が上位を占めていた。

検診を受けようと考え、予約し、受診するまでにはいくつかのステップがある。受診行動に影響を与える3大要因は、「意識の向上」「障害の除去」「きっかけの提供」と言われている^{※1}。

今回の未受診理由の調査で上位を占めていた「健康に自信がある」や「必要ならばいつでも受診できる」との回答であれば、無症状のうちに、がんを初期の段階で発見するために有用な方法が検診ということを伝え、がん検診についての理解を深める必要があると考える。

また、「日程や時間が合わない」との理由については、どのような日程等であれば受診可能なのかを確認し、弊害となっていることを除去し、利便性の高い検診を設定していく必要があると考える。例えば、大腸がん検診を勧奨した日向市や日南市は、平日の夜間や休日に検診日程の一部を設定した。また、本人が受診できない場合は、代理提出^{※2}であっても受診できた。このように、がん検診によっては、受診しやすい環境調整が重要と考える。

※1 受診率向上施策ハンドブック 厚生労働省 平成28年

※2 検診受診に必要なものがそろっていれば、本人が検診会場に行かなくとも受診可能である。

さらに、電話勧奨では、検診の重要性を伝え、意識の向上に働きかけることができた。また、市町が実施している検診日程等を詳細に伝える等対象者が必要としている情報を伝え、障害の除去に努めた。これらが受診行動への一助となっていると考える。

文書勧奨の利点は、住所を把握していれば勧奨できること、その準備工程も通常の勤務時間内に進めることができるということがあげられる。欠点は、受け取った方人が、内容を確認するかどうか分からないということがあげられる。なかには開封せずに破棄することもあると考えられる。本事業の文書勧奨は、返答を必須としているわけではないため本人の確認状況を知る術がない。内容を確認し、申込みする者や他機関で受診したなど連絡することはあっても文書勧奨したすべての人がそれをするわけではない。

電話勧奨の利点は、本人(家族を含む)と直接話せることで、受診状況や未受診の理由、場合によっては検診の予約まで聴取することが可能ということである。しかし、これは、電話番号を把握していればこそ可能である。欠点は、日中は不在であることも多いため夜間帯に電話勧奨をしたため、勤務時間外に一定のマンパワーを確保しなければならないことである。また、電話をかけたとしても一方的に電話を切られることやつながらないこともあり、そこが欠点と言えるかもしれない。

また、本事業で電話勧奨を実施した4市町の実施率と成功率をみると、市町間でもばらつきがある。(表46) 実施率が低い場合は、電話勧奨できず文書勧奨1回のみの方が多くなる。このように、文書・電話勧奨ともに利点・欠点があるためそれを考慮したうえで受診勧奨について事業計画し取り組む必要があると考える。

本事業による勧奨は、受診率に一定の効果を認めた。今後の課題として、どのような手法であれば更に受診率に効果的か対象者の特徴を踏まえて検証する必要がある。

IV 結 語

本事業は、7 市町の希望に応じてがん検診個別受診勧奨を実施し、一部の市町では一定の効果を認めた。

限られた予算の中で、受診率を確実にあげたい場合、検診の種類や年代を絞るなど施策実施には優先順位付けが重要である。

本事業の勧奨内容は、画一的でないが、市町村が取り組む受診率向上のための施策の一助となればと考える。

資 料

- 資料 1 宮崎市勸奨 1 回目
- 資料 2 宮崎市勸奨 2 回目
- 資料 3 延岡市勸奨 1 回目
- 資料 4 延岡市勸奨 2 回目
- 資料 5 日南市勸奨 1 回目
- 資料 6 日向市勸奨 1 回目
- 資料 7 串間市勸奨 1 回目
- 資料 8 串間市勸奨 2 回目
- 資料 9 えびの市勸奨 1 回目
- 資料 10 川南町勸奨 1 回目

《参考》資材の仕様と印刷価格例

本事業で使用した勸奨資材は、国立がんセンター研究開発費(26-A-31)「予防・検診の普及開発に関する事業的研究」-ソーシャルマーケティングを活用したがん検診の普及-において開発された受診勸奨資材を一部、利用している。その資材等の仕様と印刷価格例を掲載した。

参考：資材の仕様と印刷価格例

● リーフレット

《5がん》

仕様：[サイズ] A4、[ページ数] 4ページ、2つ折り左とじ

用紙：マットポスト180k

印刷部数	1,000部	3,000部	5,000部
金額	63,000	102,000	145,000

《胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん》

仕様：[サイズ] A4の1/3、[ページ数] 6ページ、巻3つ折り左とじ

用紙：マットコート135k

印刷部数	1,000部	3,000部	5,000部
金額	42,000	48,000	55,000

《大腸がん、子宮頸がん、乳がん》

仕様：[サイズ] A5、[ページ数] 6ページ、巻3つ折り左とじ

用紙：マットポスト180k

印刷部数	1,000部	3,000部	5,000部
金額	63,000	102,000	150,000

● 圧着はがき

《胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん》

仕様：[サイズ] はがきサイズ、[ページ数] 6ページ、Z折り(左下から開く様式)

用紙：圧着紙130ミクロン程度

印刷部数	1,000部	3,000部	5,000部
金額	168,000	186,000	205,000

● 封筒

《角形2号》

印刷部数	3,000部	5,000部	10000部	15,000部
金額	31,800	52,500	102,000	147,000

《長形3号》

印刷部数	3,000部	5,000部	10000部	15,000部
金額	11,400	18,500	35,500	51,000

《 子宮がん検診が受けられるところ 》 ①病院で受診 ②集団健診で受診

① 病院で検診を受けたい場合：指定医療機関一覧表（平成29年6月1日現在）

地区	指定医療機関	住所	電話	子宮頸がん (細胞診・HPV)	子宮体がん
檜	井之上産婦人科小児科医院	吉村町	26-4184	○	—
	宮崎善仁会病院	新別府町	26-1599	○	○
中央東	いまむらウイメンズクリニック	高千穂通2丁目	31-3908	○	○
	うえやま貴子クリニック	松山2丁目	60-6676	○	○
	大 淵 クリ ニ ッ ク	橋通東1丁目	24-3808	○	○
	下 村 産 婦 人 科 医 院	青葉町	27-0341	○	○
	とえだウイメンズクリニック	高千穂通2丁目	32-0511	○	○
	永 迫 クリ ニ ッ ク	橋通東3丁目	23-9362	○	○
中央西	ひろしま通りウイメンズクリニック	広島1丁目	60-7807	○	○
	は た 産 婦 人 科 医 院	和知川原1丁目	28-3511	○	○
小戸	宮崎県健康づくり協会	霧島1丁目	38-5540	○	—
	たにぐちレディースクリニック	上野町	22-1103	○	○
大宮	古 賀 総 合 病 院	池内町	39-8888	○	○
	花ヶ島ウイメンズクリニック	花ヶ島町	25-8883	○	○
東大宮	細川レディースクリニック	下北方町	22-7313	○	○
	松村産婦人科医院	大島町	22-4633	○	○
住吉	市民の森病院	大字塩路	37-1111	○	—
	はまだレディースクリニック	大字島之内	39-0087	○	○
生日	産婦人科いきめの杜クリニック	大字柏原	74-7400	○	○
	まつ婦人科クリニック	大字生日	62-3555	○	○
大塚	産科・婦人科クリニック おおつか	大塚町	50-0003	○	○
大淀	JCHO宮崎江南病院健康管理センター	大坪町	53-8928	○	—
	三 原 内 科	源藤町	53-6226	○	—
	宮崎市郡医師会成人病検診センター	大坪西1丁目	52-5111	○	—
赤江	木 佐 貴 産 婦 人 科 医 院	大字恒久	52-3231	○	○
	神 尊 (こ う そ) 産 婦 人 科	大字恒久	59-3311	○	○
佐土原	谷 山 産 婦 人 科 医 院	上田島	74-0078	○	○
清武	小池レディースクリニック	船引	85-7111	○	○

※事前に必ず電話での予約が必要です。検診を希望する病院に直接お電話して申し込んでください。
※子宮体がん検診は、医師の判断に応じて実施されます(1,000円の自己負担追加あり)

② 集団健診会場で受けたい場合

	場所	日程(午前中)
集団健診	市保健所 (JR宮崎駅東側)	11/29(水)、12/13(水)、12/16(土)、12/21(木)、1/11(木) 1/16(火)、1/27(土)、2/6(火)、2/7(水)、2/18(日)、2/19(月) 2/23(金)、2/24(土)、3/6(火)、3/8(木)、3/13(火)
	市総合福祉保健センター	11/16(木)、12/14(木)、1/17(水)、1/23(火)、1/26(金)、2/22(木)
	田野保健センター	11/28(火)
	佐土原保健センター	12/7(木)
	高岡福祉保健センター「穆園館」	12/22(金)
	清武保健センター	1/22(月)

※事前に必ず電話での予約が必要です。コールセンター(TEL:25-2111)へ申込みください。

※健診日の6週間前までにお申し込みください。定員数に限りがあります。

※集団健診では子宮体がん検診は行いません。

平成29年8月29日

子宮頸がん検診対象者各位

宮崎市長 戸敷 正
(公印省略)

平成29年度子宮頸がん検診の受診について (お知らせ)

本市では、みなさまの健康づくりをサポートするため、がん検診を受けていただくよう個別のご案内をいたします。

1. 対象者

宮崎市に住民票があり下記の年齢に該当する女性。

※受診できる期間：平成29年6月1日～平成30年3月31日まで

① 21歳 (生年月日：平成8年4月1日～平成9年3月31日)

② 25歳 (生年月日：平成4年4月1日～平成5年3月31日)

③ 28歳 (生年月日：平成元年4月1日～平成2年3月31日)

2. 方法

公益財団法人宮崎県健康づくり協会から、文書やリーフレットをお送りします。

3. その他

本市では個別健診(病院)と集団健診を行っています。費用が、個別健診(病院)と集団健診とで異なりますので、詳細は、「平成29年度宮崎市健康診査受診券」(みず色)をご確認ください。受診券は、再交付ができますので、紛失などの際は、下記お問い合わせへお電話ください。

個別、集団どちらの場合でも、検診前にお申込みが必要です。別紙の《子宮がん検診が受けられるところ》を参考にしてください。集団健診は、申込み期限(検診日の6週間前)がありますのでご注意ください。

※公益財団法人宮崎県健康づくり協会は宮崎県の委託を受け、宮崎市と連携してがん検診の受診勧奨等を行っています。

【お問い合わせ】

宮崎市健康支援課 からだの健康係
電話：0985-29-5286

子宮頸がん検診の受け方

①別紙(子宮がん検診が受けられるところ)を参考に、受付方法と場所を決めて電話をする。

電話をかけたら、「貴婦人の受診券を返して、子宮がん検診を受けたいです。」と伝えましょう。受付の方に受診や誕生日を伝え、検診に行く日を決めます。



④検査が始まります。(履服をとる経過)

「ウズコ」という履服を脱い、履を広げます。そこに小さなブラシをいれ、少しこすって腫瘍をとります。痛いときは我慢せずに先生に伝えてくださいわ。



②受診券と受診券を持って予約先へ行きます。

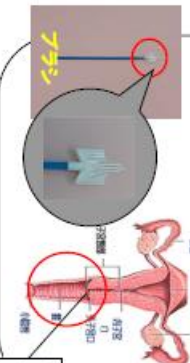
受診券がなければ再発行できますので、保険所へお電話(29-5226)くださいわね。

スカートを開いていくとスムーズに検診ができますよ！(ズボンでもOK)



⑤検査が始まります。(指をいれる経過)

内診をします。腫に先生が指を入れ、子宮が腫れていないか、異常がないかを調べます。



③受付後、同席と書替えをし、内診台に座ります。

同席は看護士さんのおしやべりを楽しみましょう。その後、検診部屋を移動し、下着を開いて内診台に座ります。(検査室に着替えることもあります。)



⑥おしまじ

検査はおしまいです。結果は約2週間くらいで、自宅に郵送で届くか、直接病院に届きに行きます。クーポン券を返して受診したので、無料ですね♪

検診は30分ちあれば終わりますよ♪



(裏)

今年21歳になるあなたへ 子宮頸がん検診を受けましたか？

あなたは、今年度のみ無料で受診できます！！

受診券と無料クーポン券を持って、受診しよう。

あなたの子宮頸がん検診無料クーポン券は、平成30年3月までしか使えません。無料はもうないかも！このチャンスをお見逃さないで！
※5月末頃に、受診券とクーポン券を郵送しています。
→見当たらない場合は、再交付ができますのでお電話くださいわ。



受診の際は、必ず、事前予約が必要ですが、同封の「子宮がん検診が受けられるところ」をみてくださいわ。

良<聞かれる質問

Q.まだ若いし、セックスも1回しかしたことないし、子宮頸がん検診を受けなくても大丈夫でしょ？

A.年齢や回数に関係ありません！！
子宮頸がんは主にセックスで感染します。原因は「ヒトパピローウイルス(HPV)」と呼ばれるウイルスで、セックスをしたことがある女性の8割が一生涯のうちには一回は感染すると言われています。ほとんどは自分の免疫で治すことができますが、残っていたり、生活習慣が乱れていたりと、HPVがなかなか消えず(持続感染)、感染した細胞が子宮頸がんに行進します。つまり、「がん」になってしまいます。

(表)

Q.社会人になって仕事を始めたから、今はまだ大丈夫。A.時間のある今がチャンスです！

今はバイト、勉強、サークル活動や部活動で忙しいですが、でも、社会人1年目は新しいこと・覚えたいことたくさんあるので、検診を受ける余裕がないかもしれません。そして、詳しい検査をしましょう。1と云われたら、詳しい検査を受けるのに1日、結果を聞きくのに半日、更に詳しい検査に1日...と時間がかります。
しかも！子宮頸がんは20代に急増しています。もし、検診受診が遅れ、がんになってしまったら...、仕事を休んで体んだり、結婚ができなくなったり...あなたの人生設計を狂わせてしまうかもしれません。

そうなるまえに、
子宮頸がん検診を受けましょう！

子宮頸がん	
部位	子宮頸部(子宮の入り口)
発症年齢	主に30~40代(20~50代に急増中)
原因	ヒトパピローウイルス(HPV)

分からないことがあれば、お電話くださいわ。

< 宮崎市保健所 健康支援課 >
(電話)29-5226 (mail:10zoushin@city.miyazaki.miyazaki.jp)
「子宮頸がん検診の相談です。」と電話に出た人に伝えてください。
メールの場合は題名を「子宮頸がん検診について」で送ってください

(裏面もあります)

(表)

子宮頸がんの原因 ヒトパピローマウイルス(HPV)検査を 受けましょう

子宮頸がん とヒトパピローマウイルス (HPV)

子宮頸がんは、主に性交渉により HPV が感染することで発症します。
近年、**1000人に1~2人**の割合で子宮頸がんになる人がいます。
HPV 感染者の子宮頸がん発症リスクは HPV 非感染者の**400倍以上**とされています。
* 喫煙者の肺がん発症リスクは非喫煙者の4倍

HPV 感染から 5~10 年以上かけて、一部ががんへと移行します。



細胞診

子宮頸部から採取した細胞の「形」を顕微鏡で調べます。
がんの発見率は高いですが、前がん病変の発見は**約30%の見逃し**があると言われています。

HPV 検査

HPV 検査は、ウイルス感染の有無を判定します。
採取した細胞中の HPV の存在を直接調べるため非常に精度が高い検査です。

細胞診とHPV検査を併用するメリット

- ① **がんになる前(前がん病変)**の段階でほぼ**確実**に見つけることができます。
- ② 前がん病変で見つけることができれば、**子宮を残して**治すことができます。
- ③ 将来がんになる**リスクも**分かります。

HPV 検査は世界中の子宮頸がん検診で行われており、日本産婦人科医会からも細胞診と HPV 検査を併用することが推奨されています。

細胞診と HPV 検査の両方を受けた場合、約13,000円の検査費用が宮崎市民の方は**自己負担金 2,500円**で受診できます!!

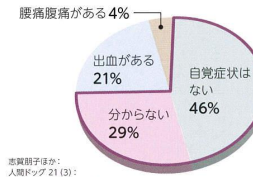
裏面「子宮頸がん」をもっと知っていただくために、もご覧ください。

(裏)

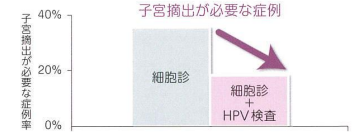
すべての年代の方へ 「子宮頸がん」をもっと知っていただくために



子宮頸がんになっても**自覚症状はほとんどありません**



HPV 検査を受け早期発見できたことで子宮を摘出する人数が**半減**しました

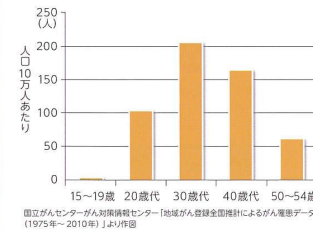


細胞診、HPV 検査両方陰性の場合子宮頸がんになるリスクは**きわめて低く**なります

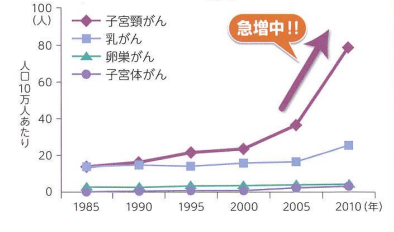
掲載 池 第56回婦人科腫瘍学会(2014年)シンポジウム発表資料より作成

20~30代の方へ

30代の女性を中心に多発しています



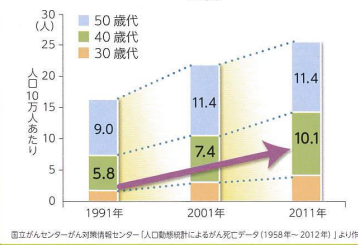
女性特有のがんで第1位、**近年急増**しています



早期発見できれば子宮を残して完治し、妊娠出産も望めます

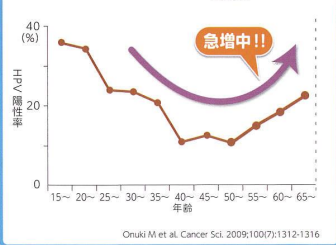
40代の方へ

40代の女性の死亡率は**2倍**に増えています



50代以降の方へ

50代以降で HPV 陽性者が**増加**しています



健康戦隊カイゼンジャー



宮崎市

平成29年11月21日

子宮頸がん検診対象者各位

宮崎市長 戸敷 正
(公印省略)

平成29年度子宮頸がん検診の受診について（お知らせ）〈第2回目〉

本市では、みなさまの健康づくりをサポートするため、がん検診を受けていただくよう個別のご案内をいたします。

すでに子宮頸がん検診を受診済みの方にも、本案内が送付されることがありますが、ご容赦ください。

1. 対象者

宮崎市に住居票があり下記の年齢に該当し、かつ、今年度、市の実施する子宮頸がん検診を未受診の女性。

※受診できる期間：平成29年6月1日～平成30年3月31日まで

①21歳（生年月日：平成8年4月1日～平成9年3月31日）

②25歳（生年月日：平成4年4月1日～平成5年3月31日）

③28歳（生年月日：平成元年4月1日～平成2年3月31日）

2. 方法

公益財団法人宮崎県健康づくり協会から、文書やリーフレットをお送りします。

3. その他

本市では個別健診（病院）と集団健診を行っています。費用が、個別健診（病院）と集団健診とで異なりますので、詳細は「平成29年度宮崎市健康診査受診券」（みず色）をご確認ください。受診券は、再交付ができますので、紛失などの際は、下記お問い合わせへお電話ください。

個別、集団どちらの場合でも、検診前にお申込みが必要です。別紙の《子宮がん検診が受けられるところ》を参考にしてください。集団健診は、申込み期限（検診日の6週間前）がありますのでご注意ください。

※公益財団法人宮崎県健康づくり協会は宮崎県の委託を受け、宮崎市と連携してがん検診の受診勧奨等を行っています。

【お問い合わせ】

宮崎市健康支援課 からだの健康係
電話：0985-29-5286

《子宮がん検診が受けられるところ》 ①病院で受診 ②集団健診で受診

① 病院で検診を受けたい場合：指定医療機関一覧表（平成29年11月1日現在）

地区	指定医療機関	住所	電話	子宮頸がん (細胞診・HPV)	子宮体がん
檣	井之上産婦人科小児科医院	吉村町	26-4184	○	—
	宮崎善仁会病院	新別府町	26-1599	○	○
中央東	いまむらウイメンズクリニック	高千穂通2丁目	31-3908	○	○
	うえやま貴子クリニック	松山2丁目	60-6676	○	○
	大淵クリニック	橋通東1丁目	24-3808	○	○
	下村産婦人科医院	青葉町	27-0341	○	○
	とえだウイメンズクリニック	高千穂通2丁目	32-0511	○	○
	永迫クリニック	橋通東3丁目	23-9362	○	○
中央西	ひろしま通りウイメンズクリニック	広島1丁目	60-7807	○	○
	はた産婦人科医院	和知川原1丁目	28-3511	○	○
小戸	宮崎県健康づくり協会	霧島1丁目	38-5540	○	—
	たにぐちレディースクリニック	上野町	22-1103	○	○
大宮	古賀総合病院	池内町	39-8888	○	○
	花ヶ島ウイメンズクリニック	花ヶ島町	25-8883	○	○
	細川レディースクリニック	下北方町	22-7313	○	○
住吉	東大宮松村産婦人科医院	大島町	22-4633	○	○
	市民の森病院	大字塩路	37-1111	○	—
生目	はまだレディースクリニック	大字島之内	39-0087	○	○
	産婦人科いきめの杜クリニック	大字柏原	74-7400	○	○
大塚	まつ婦人科クリニック	大字生目	62-3555	○	○
	産科・婦人科クリニック おおつか	大塚町	50-0003	○	○
大淀	JCHO宮崎江南病院健康管理センター	大坪町	53-8928	○	—
	三原内科	源藤町	53-6226	○	—
	宮崎市郡医師会成人病検診センター	大坪西1丁目	52-5111	○	—
赤江	木佐貴産婦人科医院	大字恒久	52-3231	○	○
	神尊（こうそ）産婦人科	大字恒久	59-3311	○	○
佐土原	谷山産婦人科医院	上田島	74-0078	○	○
清武	小池レディースクリニック	船引	85-7111	○	○

※事前に必ず電話での予約が必要です。検診を希望する病院に直接お電話して申し込んでください。
※子宮体がん検診は、医師の判断に応じて実施されます(1,000円の自己負担追加あり)

② 集団健診会場で受けたい場合 申込み：TEL25-2111(宮崎市コールセンター)

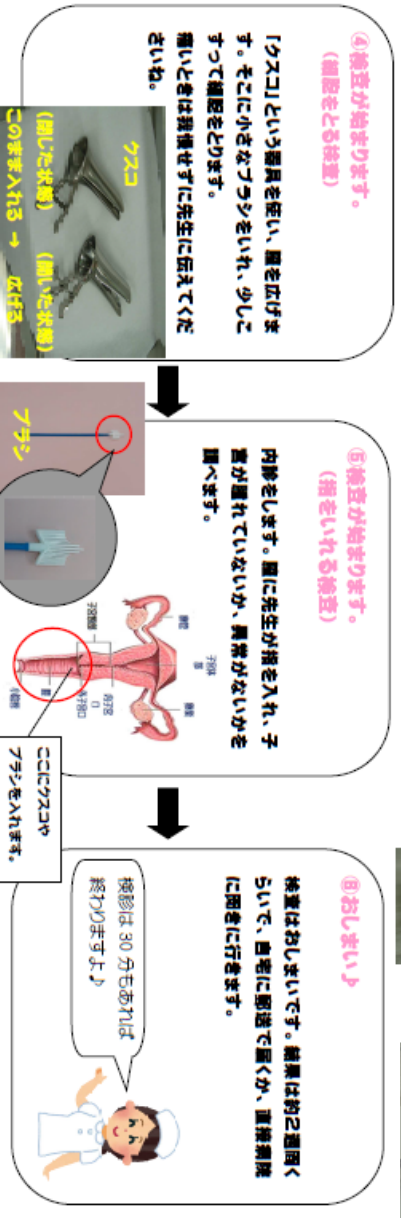
	場所	日程(午前中)
集団健診	市保健所（JR宮崎駅東側）	1/11(木)、1/16(火)、1/27(土)、2/6(火) 2/7(水)、2/18(日)、2/19(月)、2/23(金) 2/24(土)、3/6(火)、3/8(木)、3/13(火)
	市総合福祉保健センター	1/17(水)、1/23(火)、1/26(金)、2/22(木)
	清武保健センター	1/22(月)

※事前に必ず電話での予約が必要です。コールセンター(TEL:25-2111)へ申込みください。

※検診日の6週間前までにお申し込みください。定員数に限りがあります。

※集団健診では子宮体がん検診は行いません。

子宮頸がん検診の受け方



(表)

分からぬことがあれば、お電話くださいわ。宮崎市健康支援課 (電話29-5286) (mail:10zousin@city.miyazaki.miyazaki.jp)
「子宮頸がん検診の相談です。」と電話に出た人に伝えてくださいわ。メールの場合は様子を「子宮頸がん検診に」で送ってくださいわ!

子宮頸がん検診のお知らせ

今年2回目のご案内です

ご存知でしたか?

子宮頸がんの原因は、実は
ウイルスなんです。
(HPV:ヒトパピローウイルス)



検診を受ける際には、「宮崎市健康診査受診券(左参照)」が必要です。
★予約が必要です。
★紛失などの場合、再交付ができますので、健康支援課へお電話くださいわ。



超ラッキーです!! 今年度、あなたは、**HPV検査が受けられます**(25歳から3歳刻みで受けられます)。通常、細胞診とHPV検査の両方を受けた場合、約13,000円の検査費用がかかります。しかし、宮崎市民の方は、自己負担金2,000円(集団健診)～2,500円(個別医療機関)で受診できます。

細胞診とHPV検査を両方受けるメリット

- ① がんになる前(前がん病変)の段階でほぼ確実にがんを見つけることができる。
- ② 前がん病変で見つけることができれば、子宮を摘出して治すことができる(出産可能)。
- ③ 将来がんになるリスクをわかる。

※子宮頸がん検診に関するご質問など、お気軽に宮崎市健康支援課(TEL:29-5286)へお問合せくださいわ。

(表)



受診の際は、必ず、事前予約が必要です。
同封の《子宮がん検診が受けられるところ》

- ◎病院で受けたい場合 ⇒ ①
- ◎集団健診会場で受けたい場合 ⇒ ②

宮崎市健康診査受診券と無料クーポン券が必要です。

※5月末頃に、ご自宅に郵送しています。

なくちゃっても心配ご無用！

電話 1本で再交付できます。



※既に子宮頸がん検診を受診済みの方は該当しませんのでご注意ください。

なんでも気軽に電話してくださいね。

＜ 宮崎市健康支援課 ＞

直通TEL:29-5286 ⇒ 「子宮頸がん検診の相談です。」「受診券なくしました。」…と伝えてください。

mail:10zousin@city.miyazaki.miyazaki.jp ⇒ 件名は「子宮頸がん検診について」で」

(裏)

今年2回目の
ご案内です

今年度21歳になるあなたへ

子宮頸がん検診受けましたか？

もったいないと思いませんか？

子宮頸がん検診が、

無料

で受けられます！

GO!
GO!!

今年度21歳になる方だけが対象です。

平成30年3月31日まで受けられます。



※子宮頸がん検診の申し込み方法と、必要なものは、裏面にあります。

(表)

平成 29 年 9 月 12 日

市のがん検診を受診されていない皆様へ

延岡市健康増進課長
(公印省略)

がん検診の受診のお願い (集団検診)

初秋の候、いかにお過ごしでしょうか。

このたび、年度末年齢 40、42、44、46、48 歳の女性の方で、大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん検診がお済みでない方に検診のご案内をさせていただきました。

別紙に集団検診の日程を記載しております。ぜひ、お早めに受診していただきますようお願いいたします。

記

1. 検診の申込み

詳細は、別紙検診日程の【お問合せ】電話までお願いします。

なお、集団検診は定員になり次第、予約を締め切らせていただきます。お早めにご予約・ご受診ください。

2. 検診の対象者

- ・大腸がん・肺がん検診：40歳以上の方
- ・乳がん検診：40歳以上で年度末年齢が偶数の方
- ・子宮頸がん検診：20歳以上で年度末年齢が偶数の方

※平成 29 年 7 月末時点で、いずれかのがん検診を受診していない方にご案内しています。

3. その他

- ・すでに職場等で受診されている場合や、行き違いでご予約されている場合はご容赦ください。
- ・医療機関での受診をご希望の方は、健診ガイドに記載のある医療機関に直接お問い合わせください。



減塩大使のぼろくん

自分のため、家族のために
がん検診を受けましょう

<文書取扱>

延岡市健康増進課 健康づくり第1係 担当：日高 TEL：22-7014

公益財団法人宮崎県健康づくり協会は、県の委託を受けて延岡市とともにがん検診受診勧奨を行っています。

(表)

平成29年度 集団検診の日程

資料3-2

大腸がん・肺がん検診日程

(別紙)

日程	受付開始	受付終了	会場	町名	大腸がん	肺がん
9月14日(木)	8:45	9:00	南久保山公民館	北方町	○	○
	10:00	10:30	下曾木公民館	北方町	○	○
9月15日(金)	8:30	9:30	東海コミュニティセンター	大門町	○	○
9月16日(土)	8:30	10:00	市役所正面玄関前	東本小路	○	○
9月19日(火)	8:45	9:00	早日渡営農研修館	北方町	○	○
	10:00	10:15	上崎営農研修館	北方町	○	○
	10:45	11:00	角田多目的研修館	北方町	○	○
9月21日(木)	9:00	10:00	北方コミュニティセンター	北方町	○	○
	13:00	14:00	北方コミュニティセンター	北方町	○	○
9月25日(月)	8:30	9:30	高野営農集会所	高野町	○	
9月28日(木)	8:30	10:30	南方東コミュニティセンター	西階町	○	○
10月1日(日)	8:30	10:30	東海コミュニティセンター	大門町	○	○
10月13日(金)	9:00	10:00	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡	○	○
10月17日(火)	8:30	9:30	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡	○	
10月19日(木)	8:30	9:30	富美山地区福祉交流センター	富美山町	○	
10月22日(日)	8:30	10:30	延岡市保健センター(市役所)	東本小路	○	○
10月25日(水)	9:00	10:00	塩浜公民館	塩浜町	○	○
10月27日(金)	8:30	9:30	夏田公民館	夏田町	○	
11月1日(水)	8:30	9:30	旭化成アープロス	共栄町	○	
11月7日(火)	8:30	9:30	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡	○	
11月8日(水)	8:30	9:30	南老人福祉センター	平原町	○	
11月9日(木)	8:30	9:30	卸商業センター	卸本町	○	
11月12日(日)	8:30	10:30	延岡市職業訓練支援センター	土々呂町	○	○
11月16日(木)	8:30	9:30	塩浜公民館	塩浜町	○	
11月17日(金)	8:30	9:30	JA延岡本店	川原崎町	○	
11月19日(日)	8:30	10:00	市役所正面玄関前	東本小路	○	○
11月21日(火)	8:30	9:30	東海コミュニティセンター	大門町	○	○
11月30日(木)	9:00	10:00	旭中学校多目的室	富美山町	○	○
12月5日(火)	8:30	9:30	南老人福祉センター	平原町	○	
12月11日(月)	8:30	9:30	富美山地区福祉交流センター	富美山町	○	
12月12日(火)	9:00	10:00	南老人福祉センター	平原町	○	○
12月14日(木)	9:00	10:00	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡	○	○
12月17日(日)	8:30	10:30	延岡市保健センター(市役所)	東本小路	○	○
12月20日(水)	8:30	9:30	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡	○	
1月14日(日)	8:30	10:30	東海コミュニティセンター	大門町	○	○
1月21日(日)	8:30	9:30	南方東コミュニティセンター	西階町	○	○
1月26日(金)	8:30	9:30	延岡市職業訓練支援センター	土々呂町	○	○
1月28日(日)	8:30	10:30	延岡市保健センター(市役所)	東本小路	○	○

- 上記日程以外の結核・肺がん検診もあります。健診ガイドをご覧ください。

【お問合せ】 予約申込み電話：29-2217 延岡市健康増進課：22-7014

乳がん検診日程

(別紙)

日	受付開始	受付終了	会場	町名
9月19日(火)	9:00	11:30	延岡市民体育館	大貴町
	13:00	15:30		
9月20日(水)	9:00	11:30	延岡市民体育館	大貴町
	13:00	15:30		
9月21日(木)	9:00	11:30	延岡市民体育館	大貴町
	13:00	15:30		
10月15日(日)	9:00	11:30	市役所正面玄関前	東本小路
	13:00	15:30		
10月18日(水)	9:00	11:30	延岡市民体育館	大貴町
	13:00	15:30		
10月19日(木)	9:00	11:30	延岡市民体育館	大貴町
	13:00	15:30		
11月14日(火)	9:00	11:30	延岡市民体育館	大貴町
	13:00	15:30		
11月15日(水)	9:00	11:30	延岡市民体育館	大貴町
	13:00	15:30		
12月7日(木)	9:00	11:30	東海コミュニティセンター	大門町
	13:00	15:30		
12月8日(金)	9:00	11:30	延岡市民体育館	大貴町
	13:00	15:30		

子宮頸がん検診日程

日	受付開始	受付終了	会場	町名
9月15日(金)	9:00	11:00	卸商業センター	卸本町
	13:30	15:30	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡
10月15日(日)	9:00	11:00	市役所正面玄関前	東本小路
	13:30	15:30		
11月1日(水)	9:00	11:00	延岡市民体育館	大貴町
	13:30	15:30		
11月27日(月)	9:00	11:00	旭化成アープロス	共栄町
	13:30	15:30	東海コミュニティセンター	大門町
12月8日(金)	9:00	11:00	延岡市民体育館	大貴町
	13:30	15:30		

●12月9日以降の日程については、健診ガイドをご覧くださいか、下記までお問い合わせください。

【お問合せ】 予約申込み電話:29-2217 延岡市健康増進課:22-7014

▼A3 サイズ (二つ折り) (表面)

+ 受けて下さい、命を守る大切な検診。

市区町村が実施するがん検診は、実際にかかる費用(乳がんの場合1万円前後)よりも安く受けることができます。お年寄や自己負担額は、市区町村によって異なります。

+ 検診内容

乳がん

子宮頸がん

検診内容	対象年齢	自己負担	検診期間
<p>大腸がん</p> <p>1. 便潜血検査 2. 便を容器に取る 3. 検診票に貼出す だけの簡単な検査</p>	40歳以上	無料	平成29年 6月6日 平成30年 1月28日
<p>肺がん</p> <p>1. 低線量の撮影 2. 肺のレントゲンの撮影 3. 腫瘍を診断する検査 肺がんを早期に発見し、治療を受けることが可能。</p>	40歳以上	無料	平成29年 5月6日 平成30年 1月28日
<p>乳がん</p> <p>1. 問診 2. マンモグラフィ マンモグラフィで 1cm以内の小さな腫瘍を 発見することがあります。</p>	40歳以上 女性	無料	平成29年 5月6日 平成30年 1月28日
<p>子宮頸がん</p> <p>検査方法は1分程度、 痛みはあまりありません。 1. 医師による診察 2. 検診票 3. 子宮のAVI口を拡大して 観察する検査 4. 異常な細胞を 採取する検査 5. 検査結果を 医師から説明</p>	20歳以上 女性	無料	平成29年 5月6日 平成30年 1月28日

延岡市がん検診の検査方法は、申し込み済みの検診について延岡市健診ガイドをご覧ください

がんは、早期発見すれば
90%以上が治ります。

ぜひ、この機会にお受けください。

あなたが受けるべきがん検診がわかります。
該当する年代をご覧ください。

平成29年度 延岡市健康増進課

延岡市健康増進課長
(公印省略)

がん検診の受診のお願い (集団検診)

平成 29 年 11 月 28 日
市のがん検診を受診されていない皆様へ

初冬の候、いかがお過ごしでしょうか。
9 月中旬に標記のご案内をしましたが、まだ受診がお済みでない方に再度検診のご案内をさせていただきます。
別紙に集団検診の日程を記載しております。予約枠が決まっておりますので、ぜひ、お早めに受診していただきますようお願いいたします。

記

1. 検診の申込み

詳細は、別紙検診日程の【お問合せ】電話までお願いします。

なお、集団検診は定員になり次第、予約を締め切らせていただきます。お早めにご予約・ご受診ください。

2. 検診の対象者

- ・大腸がん・肺がん検診：40 歳以上の方
- ・乳がん検診：40 歳以上で年度末年齢が偶数の方
- ・子宮頸がん検診：20 歳以上で年度末年齢が偶数の方

※平成 29 年 10 月末時点で、いずれかのがん検診を受診・予約していない方にご案内いたします。

3. その他

- ・すでに職場等で受診されている場合や、行き違いでご予約されている場合はご容赦ください。
- ・医療機関での受診をご希望の方は、健診ガイドまたは同封のリーフレットに記載のある医療機関に直接お問い合わせください。

自分のため、家族のために
がん検診を受けましょう



<文書取扱>

延岡市健康増進課 健康づくり第 1 係 担当：日高 TEL：22-7014

公益財団法人宮崎県健康づくり協会は、県の委託を受けて延岡市とともにがん検診受診勧奨を行っています。

▼A3 サイズ (二つ折り) (中面)

♂ 男性の方へ

40代

40代男性死亡原因 1 位が、**がん**になりました。
がんは高齢者だけの病気ではありません。
40代がんが増え始める年代で、検診によって早期発見することが大切です。

1 大腸がん 2 胃がん(十二指腸がん) 3 肺がん

40代男性の癌による5年生存率
(1歳以上の年齢別)**

1位 大腸	91.100%
2位 胃	91.000%
3位 肺	90.900%
4位 肝臓	90.800%
5位 膵臓	90.700%

50代

50代はともそろそろ「がん年齢」。
でも、定期的な検診受診で、**自然治癒**が出る前に**がんは早期に発見**できます。
大腸がん、胃がん、肺がんは、早期発見によって90%以上が治癒します**。

1 大腸がん 2 胃がん(十二指腸がん) 3 肺がん

50代男性の癌による5年生存率
(1歳以上の年齢別)**

1位 大腸	99.0%
2位 胃	98.9%
3位 肺	98.8%
4位 肝臓	98.7%
5位 膵臓	98.6%

60歳以上

60歳を過ぎると、がんになる人は**激増**。
毎年、約**14万人**の**60代男性**が、**がん**になっています*。
60代以上の自然治癒が出ない癌、検診を受けないと見つからず、だから、検診による早期発見が大切。

1 胃がん(十二指腸がん) 2 大腸がん 3 肺がん

60代以上の癌による5年生存率
(1歳以上の年齢別)**

1位 胃	99.0%
2位 大腸	98.9%
3位 肺	98.8%
4位 肝臓	98.7%
5位 膵臓	98.6%

タバコを吸う方へ

タバコを吸う人は吸わない人にならべて、**男性**でおおよそ**4.4倍**、**女性**の場合は約**2.8倍**、**肺がん**になりやすいことがわかっています*。
自身の身を守るため、禁煙している人は必ずがん検診を受診しましょう。

♀ 女性の方へ

20代
30代

20歳を過ぎたら**2年に一度**、必ず**子宮頸がん検診**を受診して下さい。
子宮頸がんは、早期発見・早期治療で治癒率が高い癌。検診によって早期発見すれば、子宮頸がん検診は、あなたの命と子宮を守るための検診です。

1 子宮頸がん 2 大腸がん 3 乳がん 4 胃がん 5 膵臓がん

20代女性の癌による5年生存率
(1歳以上の年齢別)**

1位 子宮頸	99.9%
2位 大腸	99.8%
3位 乳	99.7%
4位 胃	99.6%
5位 膵臓	99.5%

40代

40代女性の約**2人**に**1人**が、**乳がん**検診を受診していません*。でも、**乳がん**の約**8割**を早期に発見すれば**いけなががん**があるまで早期発見ですか？
子宮頸がん、大腸がん、胃がん、肺がんといった、乳がん以外のがんにも、毎年約7万人の40代の女性がなっています*。

1 乳がん 2 子宮頸がん 3 大腸がん 4 胃がん 5 膵臓がん

40代女性の癌による5年生存率
(1歳以上の年齢別)**

1位 乳	99.9%
2位 子宮頸	99.8%
3位 大腸	99.7%
4位 胃	99.6%
5位 膵臓	99.5%

50代

50代は、女性の身体が大きく変わる年代。
がんで**死亡する人の数も大きく増加**します。
乳がん、大腸がん、胃がん、肺がん、子宮頸がんといったがんは、早期発見で80%以上が治癒します*。しかし、検診のうち自然治癒が出ない癌、検診を受けないと見つからず、80%以上の治癒します*。

1 乳がん 2 大腸がん 3 肺がん 4 胃がん 5 子宮頸がん

50代女性の癌による5年生存率
(1歳以上の年齢別)**

1位 乳	99.0%
2位 大腸	98.9%
3位 肺	98.8%
4位 胃	98.7%
5位 膵臓	98.6%

60歳以上

がんになつたら知らないと、そう思っている人か？
がん検診を対策者が**6万7千人**の**命**が救われます*。
毎年日本全国で約**6万7千人**の**命**が救われます*。
女性になりやすい5つのがんは、検診による早期発見で80%以上の治癒します*。

1 大腸がん 2 胃がん 3 肺がん 4 膵臓がん 5 子宮頸がん

60歳以上の癌による5年生存率
(1歳以上の年齢別)**

1位 大腸	99.0%
2位 胃	98.9%
3位 肺	98.8%
4位 膵臓	98.7%
5位 子宮頸	98.6%

(表)

平成29年度 集団検診の日程

<乳がん検診> 受付時間：9：00～15：30

日程	会場	町名
1月14日(日)	市役所正面(南)玄関前	東本小路
1月15日(月)	延岡市民体育館	大貫町
2月15日(木)		
2月16日(金)		
2月22日(木)		
2月23日(金)	市役所正面(南)玄関前	東本小路
2月24日(土)		

子育て世代、働き盛りの皆さんへ
乳がん検診は、2年に1回、
40歳から受けられます



<子宮頸がん検診>

日程	受付時間	会場	町名
12月8日(金)	9：00～15：30	延岡市民体育館	大貫町
1月13日(土)	9：00～15：30	市役所正面(南)玄関前	東本小路
2月9日(金)	9：00～11：00	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡
	13：30～15：30	延岡市職業訓練支援センター	土々呂町
2月28日(水)	9：00～15：30	延岡市民体育館	東本小路

★ 医療機関でも1月31日(水)まで検診実施中 ★

詳しくは各医療機関へお問い合わせください

(同封のリーフレットを参照ください)

集団検診のお申し込み・お問い合わせは延岡市健康増進課へ

延岡市 健康増進課

検診申込み：29-2217 お問い合わせ：22-7014

※定員になり次第、締め切らせていただきます。



裏面もご覧ください

<大腸がん・肺がん検診>

(大腸がん検診は予約が必要です)

日程	受付時間	会場	町名	大腸がん	肺がん
11月30日(木)	9:00 ~ 10:00	旭中学校多目的室	富美山町	○	○
12月5日(火)	8:30 ~ 9:30	南老人福祉センター	平原町	○	
12月11日(月)	8:30 ~ 9:30	富美山地区福祉交流センター	富美山町	○	
12月12日(火)	9:00 ~ 10:00	南老人福祉センター	平原町	○	○
12月14日(木)	9:00 ~ 10:00	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡	○	○
12月17日(日)	8:30 ~ 10:30	延岡市保健センター(市役所)	東本小路	○	○
12月20日(水)	8:30 ~ 9:30	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡	○	
1月14日(日)	8:30 ~ 10:30	東海コミュニティセンター	大門町	○	○
1月21日(日)	8:30 ~ 9:30	南方東コミュニティセンター	西階町	○	○
1月26日(金)	8:30 ~ 9:30	延岡市職業訓練支援センター	土々呂町	○	○
1月28日(日)	8:30 ~ 10:30	延岡市保健センター(市役所)	東本小路	○	○

<肺がん検診のみ>

(肺がん検診は予約不要)

日程	受付時間	会場	町名
12月6日(水)	9:20 ~ 9:40	妙見町港区公民館	妙見町
	10:00 ~ 10:20	鯛名漁港	鯛名町
	10:40 ~ 11:00	元日高組前	赤水町
	11:20 ~ 11:40	赤水消防車庫前駐車場	赤水町
12月7日(木)	13:30 ~ 13:50	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡
	9:00 ~ 9:20	小野宮農集会所	小野町
	9:40 ~ 10:10	法明寺	三須町
	10:30 ~ 10:50	三須工務店	古城町
	13:30 ~ 13:50	光明寺	古城町
	14:10 ~ 14:30	共栄マリン(株)駐車場	愛宕町
12月8日(金)	14:50 ~ 15:10	JA延岡恒富支店	伊達町
	9:00 ~ 9:20	出口公民館	出口町
	9:40 ~ 10:20	恒富公民館	恒富町
	10:40 ~ 11:00	山口獣医前	新小路
	11:20 ~ 12:00	惣領公民館	惣領町
	14:00 ~ 14:20	中島区駐車場	中島町
12月15日(金)	14:40 ~ 15:00	社会福祉センター	三ツ瀬町
	15:20 ~ 15:50	宮崎太陽銀行出北支店	出北
	9:00 ~ 9:40	旭ヶ丘公民館	旭ヶ丘
	10:00 ~ 10:40	一ヶ岡北区公民館	北一ヶ岡
	11:00 ~ 11:20	県営一ヶ岡団地(北)集会所	北一ヶ岡
	13:30 ~ 14:10	松原公民館	松原町
12月15日(金)	14:30 ~ 14:50	土々呂小学校体育館前	土々呂町
	15:10 ~ 15:40	一ヶ岡コミュニティセンター	南一ヶ岡

延岡市 健康増進課 検診申込み：29-2217 お問い合わせ：22-7014

▼A4 サイズ（三巻折）（中面）



**齋藤 医師に
大腸がん**
国立がん研究センター 社会と健康政策センター
消化器内科 齋藤 伸也 医師

聞きました。 3つのポイント

POINT 01 「早く見つけて、早く治す」
 ことが大切。早期のうちに治療すれば**90%以上**が治癒します*1

大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術で治療が可能です。入院は2-3日、または必要ない方もいらっしゃるしやいます。大腸がんの発見と治療は、早ければ早いほど負担は少なくて済みます。しかし、進行してがんが筋などに浸潤転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。

POINT 02 「自宅で簡単にできる」
 大腸がん検診は**便検査**です。大腸がん検診は自宅で簡単にできる便検査です。内視鏡ではないですよ。

「大腸がんで、お尻からカメラを入れるやつでしょ」と誤解している方もいます。最初の「大腸がん検診は自宅で簡単にできる検査です。トイレで便を2日間採取して医療機関に提出するだけ、それで異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡の検査をするんですよ。」



検査キット → 容器のフタについた便で便の断面を採取

① 便のフタを2回だけ「お尻」に挿入し、お尻から出る便を容器のフタに採取し、フタを閉じます。この「お尻」に挿入する時間は検査キットに付属の「お尻」のフタの裏面に記載されています。

POINT 03 「自覚症状がありません」
 ほとんどの大腸がんは**早期のうち**は「自覚症状がありません」とか「異常を感じたら」病院に行こうっておっしゃるんですが、大腸がんは、**早期には自覚症状がありません**です。


日本では毎年約12万5千人が大腸がんにかかり、4万8千人が命を落とされています*2。早期には自覚症状がありませんので、「異常を感じたら」では、手遅れになる場合があります。健康だと思っても、毎年定期的に検診を受けなければ、早期発見はできませんよ。

大腸がんは、女性の癌別別がん死に数第1位、男性でも癌別がん死に数第2位で、50歳以上では癌死の数が多くなっています。お守りください。

大腸がん検診を必ず受け下さい。

*1 国立がん研究センター
がん検診センター
大腸がん検診実施ガイドライン
がん検診ガイド
（1995-2018）
*2 国立がん研究センター
がん検診センター
大腸がん検診実施ガイドライン
がん検診ガイド
（1995-2018）

▼A4 サイズ（三巻折）（表面）



**齋藤 医師に
大腸がん**
国立がん研究センター 社会と健康政策センター
消化器内科 齋藤 伸也 医師


聞きました。 3つのポイント

POINT 01 「早く見つけて、早く治す」
 ことが大切。早期のうちに治療すれば**90%以上**が治癒します*1

大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術で治療が可能です。入院は2-3日、または必要ない方もいらっしゃるしやいます。大腸がんの発見と治療は、早ければ早いほど負担は少なくて済みます。しかし、進行してがんが筋などに浸潤転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。

POINT 02 「自宅で簡単にできる」
 大腸がん検診は**便検査**です。大腸がん検診は自宅で簡単にできる便検査です。内視鏡ではないですよ。

「大腸がんで、お尻からカメラを入れるやつでしょ」と誤解している方もいます。最初の「大腸がん検診は自宅で簡単にできる検査です。トイレで便を2日間採取して医療機関に提出するだけ、それで異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡の検査をするんですよ。」



検査キット → 容器のフタについた便で便の断面を採取

① 便のフタを2回だけ「お尻」に挿入し、お尻から出る便を容器のフタに採取し、フタを閉じます。この「お尻」に挿入する時間は検査キットに付属の「お尻」のフタの裏面に記載されています。

POINT 03 「自覚症状がありません」
 ほとんどの大腸がんは**早期のうち**は「自覚症状がありません」とか「異常を感じたら」病院に行こうっておっしゃるんですが、大腸がんは、**早期には自覚症状がありません**です。

日本では毎年約12万5千人が大腸がんにかかり、4万8千人が命を落とされています*2。早期には自覚症状がありませんので、「異常を感じたら」では、手遅れになる場合があります。健康だと思っても、毎年定期的に検診を受けなければ、早期発見はできませんよ。

大腸がんは、女性の癌別別がん死に数第1位、男性でも癌別がん死に数第2位で、50歳以上では癌死の数が多くなっています。お守りください。

大腸がん検診を必ず受け下さい。

*1 国立がん研究センター
がん検診センター
大腸がん検診実施ガイドライン
がん検診ガイド
（1995-2018）
*2 国立がん研究センター
がん検診センター
大腸がん検診実施ガイドライン
がん検診ガイド
（1995-2018）

**延岡市より
約3,400円の助成があります。**

大腸がん検診（便検査）は個人診療の場合、4千円程度かかる検査ですが、40歳以上の方（昭和53年3月31日までで生まれた方）が市の検診を受けると、市から約3,400円の助成を受けていることになります。（自己負担600円）

* 現時点で支給対象は60歳未満の方です。

検査費用 約4,000円
自己負担金 600円※

※ 市医師会協賛事業。生活保護の方は対象外です。

集団検診の受診期間は、
平成30年1月28日

昨年、受診期間が短く大変混み合いました。
お早めにご予約・ご受診ください。

大腸がん検診（集団検診）の流れ

1. 受診場所を選び、健康増進課へ予約
同封のチラシから検診日程をお選びください。
2. 1週間前に検査器具と問診票が届く
3. 自宅で便を2日間採取
4. 検査器具と問診票を検診会場に提出
5. 検査の結果
約3週間後に結果を郵送します。
検査結果を確認してください。
「要精密検査」という結果が出た場合は、必ず医療機関で精密検査を受けてください。

平成29年度 延岡市

**大腸がん
検診の
お知らせ**

大事な検診、
必ず受けて下さい




国立がん研究センター
社会と健康政策センター
消化器内科 齋藤 伸也 医師

▼A4 サイズ（三巻折）（中面）

初期には自覚症状がほとんどないのが、肺がんの怖さです。

とくに肺の奥にできるがんほど、咳や痰などの症状が出にくく、気づきにくいのが特徴です。自覚症状がないので、初期の肺がんは検診でなければほとんど見つかりません。



早期に発見すれば、生存率が高いがんです。*

早期に発見した
場合（早期）の生存率

82.9%

早期に発見
できなかった場合
（中期）の生存率

4.9%

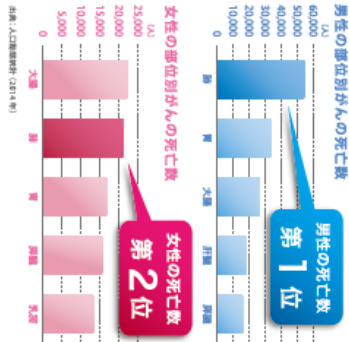
早期に発見するため、自覚症状がなくても検診を受けることを強くお勧めします。

*ここで示している「生存率」は、1種類のがんの5年総生存率です。肺がんの生存率は、がんの種類や発生する人の年齢や性別、がんの種類、病期、がんの転移の有無、治療法、がんの種類別の標準治療期間（2014～2017年）を基準とします。

肺がんは、死亡数が男女合わせていちばん多いがんです。

男性の死亡数 **第1位**

女性の死亡数 **第2位**



肺がん死の2人にひとり、喫煙者でも受動喫煙者でもありません。 ※肺がん死の原因（男女）

女性だけでは...

受動喫煙 37%
たばこが原因 63%

喫煙者、受動喫煙 60%
たばこが原因 40%

*本発表は、国立がん研究センターがん対策情報センターの「がん対策情報センターがん対策報告書2019」を基に作成されています。このグラフは、肺がん検診センター「延岡市健康増進課」が作成しました。

検診の流れ

1. 受診場所・受診日を選ぶ
同封のチラシをご覧ください。
2. 受診
自己負担金はありません。
■ 受診内容
・問診 ・胸のレントゲン撮影
・検診（がんの早期発見）（医師により必要な方のみ）
3. 結果
約3週間後に自宅に郵送されます。
検査結果を確認してください。

■対象者：延岡市在住の40歳以上の方
■受診期間：平成29年6月6日～平成30年1月28日まで

肺がん検診は初費用がない場合5,000円程度がかかりますが、市から助産が出るため、自己負担なしで受診できます。

検査費用 約5,000円
- 初回検査 約5,000円
自己負担金 **0円**

お問い合わせ先
延岡市 健康増進課
〒832-8566 延岡市東本町路2番地1
電話 | 0982-22-7014 FAX | 0982-22-1347

▼A4 サイズ（三巻折）（表面）

肺がん検診では、二重読影が国の基準で定められています。*

2人の医師が、別々に手エック。胸部レントゲンのフィルムは、2人の医師がじっくり観ることになっています。これが、肺がんの形を見逃さないために、国の基準で定められた、二重読影です。



*ここで示している「生存率」は、1種類のがんの5年総生存率です。肺がんの生存率は、がんの種類や発生する人の年齢や性別、がんの種類、病期、がんの転移の有無、治療法、がんの種類別の標準治療期間（2014～2017年）を基準とします。

延岡市から肺がん検診のお知らせ

肺がん死の2人にひとり、たばこが原因とはいえません。



たばこを吸わなくても、肺がん検診を。検診料は無料です。

延岡市から肺がん検診のお知らせ

一年に**5分**ください。



二人の医師が、じっくり診ます。

*ここで示している「生存率」は、1種類のがんの5年総生存率です。

▼A4 サイズ（三巻折）（中面）

近年、日本人女性の 12人に1人が乳がんにかかると言われています。^{※1}

もう他人事とは思えない！乳がんは女性が一生のうちで一番かかりやすいがんです。

乳がんは40～50代女性の がん死亡原因ナンバーワン^{※2}

日本では、年間1万人以上の女性が乳がんにかかることで、40代と50代はとくに乳がんにかかりやすい年齢です。

誰がなってもおかしくない
自分もチェック
はじめてみる...



自己検診では 見つからないケースがある

乳がんは自己検診だけでは見つかることが多く、早期発見のためにはマンモグラフィによる検査を定期的に行うことが大切です。

※1 出典：国立がん研究センターがん情報サービス
※2 出典：がん研究センターがん情報サービス（1979～2011年）
※3 出典：がん研究センターがん情報サービス（1979～2011年）

マンモグラフィは こんな検査です。

乳がん検診のマンモグラフィっていったいなにをするの、不安に思っていますよね。
実際にどんな検査なのかを知っておけば、検診に行く時も安心！

マンモグラフィは、 いわゆるおっぱいの レントゲン

マンモグラフィは乳房X線とも呼ばれる、おっぱいのレントゲンです。
乳房を横断からレントゲンを通して撮影し、50～51センチメートル程度の厚さのフィルムに写ります。



1cm以下のがんも 見つけれられる 優れた画像検査法

マンモグラフィは、乳がん検診方法として効果があがることで話題がされている検査法で、早期乳がんの検出に有用です。



この1センチメートルは、乳がん検診でがんが見つかる可能性が約10倍高くなる。

乳がんは早期発見で 治癒します。^{※3}

乳がんは早期に発見して治療すれば95%以上が治癒します。正しい知識を持って、専門の先生と一緒に定期的にチェックしていくことが大切です。

5年相対生存率

早期発見した場合 (1期)	99.9%
発見が遅れた場合(3期)	32.6%

乳がん検診は2年に1度 必ず受診して下さい

多くの乳がんは、2年1度の検診で早期発見できます。ただし、中には検診に気づく前にもあるため、もし異常を感じたら病院へ行きましょう。



※3 2017年1月～12月（1期）以上の、乳がんがんがんと診断された患者のうち、5年以内に再発や転移を繰り返さずに生存している患者の割合です。出典：がん研究センターがん情報サービス（2004～2017年全患者）

▼A4 サイズ（三巻折）（表面）

今年度は、延岡市より 約7,200円の助成が あります！

延岡市在住の40歳以上の女性には、2年に1度、約7,200円の助成があるため、自己負担金2,800円（検診は2,500円）で乳がん検診が受けられます（減免措置あり）。

今年度の助成対象の方（下記のみ、すれがみに該当する方）

- ①今年度個数年齢になる方
- ②昨年度受けていない方
- ③無料クーポン券が画いた方

乳がん検診（マンモグラフィ）は助成がない場合、約1万円という高価な検査です。ぜひこの機会に受診しましょう。

検査費用 約10,000円 -助成金 約7,200円 自己負担金 2,800円

※4 検診の予約は各検診センターで行われます。

今年度の受診期間は
平成30年1月31日まで
(薬用検査は平成30年2月24日まで)

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。
お早めにご予約・ご受診ください。

乳がん検診の流れ

Step1. 実施医療機関または 市健康増進課に予約

以下リストをご覧下さい。
受診曜日や時間帯など、詳細は各医療機関または市健康増進課にお問い合わせ下さい。

Step2. 受診

受付で、保険証を提示、受診費用を支払い、受診。
【医師】
自覚症状等についてお聞きします。
【マンモグラフィ】
乳房のレントゲンを撮ります。

Step3. 結果を確認する

●個別検診をご希望の場合

延岡市健康増進課	中川通り	☎33-1360
延岡市検診センター	延岡市検診センター	☎21-1313

●集団検診をご希望の場合

下記連絡先にお問い合わせください。
集団検診の日程については、個別しているチラシをご覧ください。

延岡市健康増進課
☎33-8686 延岡市健康増進課2番地1
☎0982-22-7014 FAX | 0982-22-1347

40歳を過ぎたら 乳がん検診

マンモグラフィから自己検診では
みつからないがんも見つかる



延岡市健康増進課

▼A4 三巻折(表面)

延岡市にお住まいの女性の方へ

子宮頸がん検診のお知らせ



延岡市 健康推進課

子宮頸がん検診の流れ

- Step 1** **実施医療機関または市健康増進課に予約**
右記リストをご覧下さい。
※子宮頸がん検診は、生検日以外で実施して下さい。
- Step 2** **受診**
受付で、保険証を提示、受診費用を支払い、受診。
検査時間は15分程度、痛みはあまりありません。
1. 医師による診察(内診)
2. 細胞診(子宮の入り口を軽くこすって細胞を取り、異常な細胞がないかを調べる)
- Step 3** **結果を確認する**

受診曜日や時間等に応じて、詳細は各実施医療機関または市健康増進課にお問い合わせの上、ご予約ください。

●個別検診もご希望の場合

実施医療機関一覧	曜日	電話番号
大東産婦人科医療	水曜日	0982-2300
風波産科	水曜日	0982-7311
井上産科	水曜日	0982-4515
中央産婦人科医療	水曜日	0982-5141
山平産婦人科医療	水曜日	0982-3610

●集団検診もご希望の場合

下記連絡先にお問い合わせください。
集団検診の日時については、最新しているチラシをご覧ください。

延岡市 健康増進課
〒882-8686 延岡市東本小路2番地1
電話 | 0982-22-7014 FAX | 0982-22-1347

今年度は、延岡市より約5,800円の助成^{※1}があります!

延岡市在住の20歳以上の女性には、2年に1度、約6,000円の助成がため、自己負担金2,200円(集団検診は1,200円)で子宮頸がん検診が受けられます(減免措置あり)。

- 今年度の助成対象の方(下記のいずれかに該当する方)
- ①今年度満年齢になる方
 - ②昨年年度受けていない方
 - ③無料クーポン券が届いた方

子宮頸がん検診は実施がない場合、約6,000円という検診料が戻ります。ぜひこの機会に受診しましょう。

検査費用	約8,000円
一助成金	約5,800円
自己負担金	2,200円

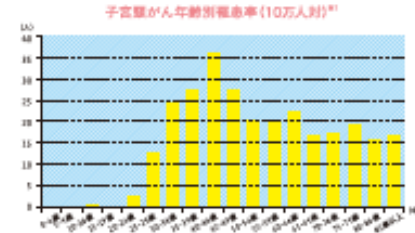
※1 助成が実施されない場合があります。

今年度の受診期限は
平成30年1月31日まで
(集団検診は平成30年2月28日まで)

新年、健康増進が促すため実施期間が延長です。お早めにご予約ください。

▼A4 三巻折(中面)

子宮頸がんは、20代後半以降から増えるがんです。



早期のうちほとんど自覚症状がありません。

「特に異常はないから大丈夫」そう思っていないですか?
子宮頸がんは癌腫から発症まで、平均5-10年かかり、早期には自覚症状がないため、「異常を感じたら」では手遅れになる場合があります。

※1 出典 | 国立がん研究センターがん情報サービス がん登録・がん診断・がん治療データベース (1997-2014年)

子宮頸がん検診ってどんな検査?

検査時間は15分程度、痛みはそれほどありません。

1. 医師による診察
2. 細胞診



子宮頸がんはHPV(ヒューマンパピロマウイルス)への感染がきっかけとなります。感染してもほとんどの場合は一過性ですが、ごく一部の人で感染が持続し、長期間を経てがんになることがあります。
※1 HPVは、一度でも感染した状態であれば継続している可能性があります。

子宮頸がんは、早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒します。^{※2}

子宮頸がんが進行すると、子宮摘出手術が必要となる場合もありますが、早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治療できるため、妊娠・出産も可能です。



※2 ここでいう「癌腫(=がん)」とは、発症からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の割合を除外した指標です。出典 | がん登録・がん診断・がん治療データベース (1997-2014年現在)



このウェブサイトは、国立がん研究センターがん情報サービスが作成しました。

平成29年12月6日

大腸がん検診対象者のみなさま

日南市健康増進課
健康推進係

大腸がん検診のお知らせ

初冬の候、みなさまいかがお過ごしでしょうか。
このたび、日南市健康増進課では、健康づくりをサポートするため、下記のとおり、
がん検診を受けていただけるよう、個別のご案内をいたします。

記

1. 対象者
日南市の45・50・55・60・65歳の方（基準日：平成29年4月1日）で、
今年度の大腸がん検診を受診されていない方
2. 方法
大腸がん検診を受けていただけるよう、宮崎県健康づくり協会（※）から、
パンフレットの送付や、電話でご連絡をいたします。

（※）宮崎県健康づくり協会は、宮崎県の委託を受け、日南市と連携して
がん検診の受診勧奨を担当いたします。ご理解をお願いいたします。
3. 案内の時期
12月～来年1月

問い合わせ先 日南市健康増進課（電話31-1129）



平成29年度 日南市 大腸がん検診のお知らせ

今回がラストチャンスです。ぜひ受診してください。

1. 検診（検体提出）日程

※大腸がん検診検体回収のみを行うため、待ち時間が比較的短いです！

月 日	受付時間	場 所	便を採る日程 ※3日間のうち2日分の便を採る
1月22日（月）	17:30～18:30	ふれあい健やか センター1階 （市役所となり）	20日・21日・22日の朝
1月29日（月）			27日・28日・29日の朝

2. 持っていくもの

- ①受診票（問診を記入してください。）
- ②検体容器
- ③検診料金
- ④健康手帳（会場でも交付できます。）

※①②③が揃っていれば代理の方の
提出もできます。

区 分	料 金
40～69歳	500円
70歳以上	200円
65歳以上で後期高齢者医療保険に 加入されている方 （保険証を掲示してください。）	
生活保護受給者 （保護証明書を掲示してください。）	無 料

3. 検診結果

異常なしの方・・・受診後約1ヶ月後に郵送します。
精密検査が必要な方・・・受診後約1ヶ月後に電話、郵送、訪問いずれかの方法でお知らせします。
精密検査が必要な方は、必ず早めに精密検査実施医療機関を受診しましょう。

お願い

未使用の検体容器がありましたら、健康増進課またはお近くの支所、出張所に返却していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

日南市では他のがん検診も実地しています。
来年度のがん検診予約票は、2月頃にお送りします。

お問い合わせ
日南市健康増進課 健康推進係 電話31-1129



▼A4 サイズ (三巻折) (中面)



齋藤 医師に 大腸がんについて、3つのポイント

国立がん研究センター 社会と健康政策センター
消化器内科 齋藤 隆幸 先生

POINT 01 「早く見つけて、早く治す」
 ことが大切。早期のうちに治療すれば90%以上が治癒します*1

大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術で治療が可能です。入院は2-3日、または必要ない方もいらっしゃるやいます。大腸がんの発見と治療は、早ければ早いほど負担は少なくて済みます。しかし、進行してがんが筋などに浸潤転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。

POINT 02 「自宅で簡単にできる」
 大腸がん検診は自宅でも簡単にできる便検査です。内視鏡ではないですよ。

「大腸がんで、お尻からカメラを入れるやつでしょ」と誤解している方も多いんです。最初の「大腸がん検診は自宅で簡単にできる検便です。トイレで便を2日間採取して医療機関に提出するだけ、それで異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡の検査をするんですよ。」



検査キット → 検便のフタについた便で便の表面を採取

※2 医師の処方する便検査キットは、お尻からカメラを入れるのではなく、便の表面を採取するんですよ。お尻からカメラを入れるのは、内視鏡検査です。便検査キットは、お尻からカメラを入れるのではなく、便の表面を採取するんですよ。お尻からカメラを入れるのは、内視鏡検査です。便検査キットは、お尻からカメラを入れるのではなく、便の表面を採取するんですよ。

POINT 03 「自覚症状がありません」
 ほとんどの大腸がんは**早期のうちには自覚症状がありません**

みなさん「血便がでたら」とか「異常を感じたら」病院に行こうっておっしゃるんですが、大腸がんは、**早期には自覚症状がありません**です。

日本では毎年約12万5千人が大腸がんにかかり、4万8千人が命を落とされています*2。早期には自覚症状がないので、「異常を感じたら」では、手遅れになる場合があります。健康だと思っても、毎年定期的に検診を受けなければ、早期発見はできませんよ。

大腸がんは、女性の腸癌別がんに第1位、男性で腸癌がん別がんに2位、55歳以上で死亡者数が多い病気です。お命を守りため、大腸がん検診を必ず受けて下さい。

※2 国立がん研究センター
がん統計リーフレット
がん検診リーフレット
がん検診ガイドブック
がん検診ガイドブック
1195-10118
※3 国立がん研究センター
がん統計リーフレット
がん検診リーフレット
がん検診ガイドブック
がん検診ガイドブック
1195-10118

▼A4 サイズ (三巻折) (表面)

日南市より 約1,000円の助成があります。

大腸がん検診(便検査)は個人診療の場合、4千円程度かかる検査ですが、40歳以上(平成30年3月31日現在の年齢)の方が市の検診(検査費用2,100円)を受けると、市から約1,600円の助成を受けることになります。(自己負担500円)

検査費用
 約2,100円

助成金
 - 約1,600円

自己負担金
 500円

※助成金が実施されるわけではありません。

今年のお知らせが、今年度要診のラストチャンスです!

9月、要診期限が近づくと大変お悩みます。お早めにご予約・ご受診ください。

大腸がん検診の流れ

1. 受診日(検便提出日)を決める
 同封の案内チラシをご覧ください。
2. 受診票・検査容器があるかを確認
 ない場合は下記までご連絡ください。
3. 自宅で便を2日間採取
4. 受診票と検査容器を検診日に提出
 全て揃っていただければ、代理の方の提出もできます。
5. 検査の結果
 約3~4週間程で結果が出ます。
 検査結果を確認してください。
 「要精密検査」という結果が出た場合は、必ず医療機関で精密検査を受けてください。

日南市 健康増進課
 〒887-8585 日南市中央通り一丁目1-1
 TEL 0987-31-1129 FAX 0987-31-1966

平成29年度 日南市

大腸がん 検診のお知らせ

大事な検診、必ず受けて下さい



国立がん研究センター
 社会と健康政策センター
 消化器内科 齋藤 隆幸 先生

対象者の皆様へ

日向市いきいき健康課

がん検診のお知らせ（受診勧奨）

いまだ暑さが残ります今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。

このたび、市では、皆様の健康づくりをサポートするため、がん検診の案内を送付することになりました。つきましては、主旨を御理解いただき、是非この機会に受診いただきますようお願いいたします。

記

1. 対象者

40歳及び56～62歳の方で、大腸がん検診を過去5年間（H24～H28）受けていない方
（年齢は平成30年3月31日時点）

※今年度、既に市の大腸がん検診を受けた方、また検診を予定されている方に届いた場合は、ご了承ください。

2. 方法

大腸がん検診を受けていない方へ公益財団法人宮崎県健康づくり協会より、各種がん検診のリーフレットの郵送や電話によるがん検診の案内をいたします。なお、今回はリーフレットとがん検診の案内を郵送させていただきました。

3. 今後のご案内（予定）

検診を受けていない方には1月下旬に電話での受診勧奨を行います。

※健康づくり協会（0985-27-2684または携帯電話）からご案内いたします。

※ 公益財団法人宮崎県健康づくり協会は、県の委託を受けて日向市とともにがん検診受診促進を行っています。



健康ひょうが21計画
イメージキャラクター ひむかちゃん

【問い合わせ先】

日向市いきいき健康課

電話：52-2111

（内線2152）

このご案内は、40歳、56～62歳で過去5年間に大腸がん検診未受診の方へお送りしています。

平成29年度

♪がん検診のご案内♪ (集団検診)

★肺がん検診 (レントゲン検査)

【対象】40歳以上男女
【内容】レントゲン検査
【時間】約3分

自己負担金

無料

約2,000円お得
(市が補助します)

肺がんCT検査を受けていない人のみ対象

★大腸がん検診

【対象】30歳以上男女
【内容】便潜血検査
(2日分を提出)

自己負担金

400円

約1,000円お得
(市が補助します)

★乳がん検診

【対象】30歳以上女性
【内容】マンモグラフィー(乳房X線)
超音波検査(エコー)
【時間】約10分

自己負担金

2,000円

約7,000円お得
(市が補助します)

★子宮がん検診

【対象】20歳以上
【内容】子宮頸部細胞採取による検査
【時間】約10分

自己負担金

1,400円

約3,500円お得
(市が補助します)

※医療機関での検診を希望する方は
直接病院へお申し込みください。

乳がん検診日程

10月12日(木)	午後	JA日向美々津支店	11月16日(木)	夕方	日知屋公民館
10月13日(金)	午後	牧水公園ふるさとの家	11月17日(金)	午後	東郷公民館さくら館
10月14日(土)	午後	中央公民館	11月27日(月)	夕方	中央公民館
10月15日(日)	午前 午後	日知屋公民館	11月28日(火)	午前	庄手公民館
11月6日(月)	午後	細島公民館	11月29日(水)	午前 午後	日知屋公民館
11月11日(土)	午前 午後	日知屋公民館	11月30日(木)	午後	美々津老人福祉センター
11月12日(日)	午前 午後	中央公民館	12月1日(金)	午前	切島山1区公民館

子宮がん検診日程

10月6日(金)	午後	切島山1区公民館
10月7日(土)	午後	日知屋公民館
10月18日(水)	午後	やすらぎ館
10月27日(金)	午前・午後	中央公民館
11月26日(日)	午前・午後	中央公民館

検診の申込み・お問い合わせ

日向市 いきいき健康課 健康づくり係

電話：0982-52-2111 (内線2152)

メール：ikiken@hyugacity.jp

肺がん検診と
大腸がん検診の
日程は裏に
あります!!

肺がん検診・大腸がん検診日程

提出日	提出場所	提出時間
9月14日(木)	牧水公園 ふるさとの家	(午前) 8:00~8:30
	やすらぎ館	(午前) 10:00~10:30
9月22日(金)	南日向コミュニティセンター	(午前) 8:00~9:30
	多武ノ木 富山さん宅前	(午前) 9:00~9:20
9月28日(木)	市営住宅 本村団地	(午前) 9:40~10:10
	仲深区公民館	(午前) 10:30~10:50
	羽坂区公民館	(午前) 11:10~11:30
	八重原区公民館	(午後) 1:00~1:20
	迫野内区公民館	(午後) 1:40~2:10
	東郷公民館 さくら館	(午後) 2:30~2:50
	旧 東郷A-COOP 駐車場	(午後) 3:05~3:25
	やすらぎ館	(午後) 3:40~4:00
	下渡川 丁字路付近	(午前) 9:30~9:50
	越表体育館	(午前) 10:10~10:30
9月29日(金)	児洗公民館	(午前) 10:50~11:10
	田野区公民館	(午後) 1:00~1:20
	市営住宅 中野原団地	(午後) 1:40~2:00
	福瀬区公民館	(午後) 2:20~2:50
	広瀬生活改善センター	(午後) 3:10~3:30
	天領うどん新生町店駐車場	(午前) 8:30~9:30
	公園通り区公民館	(午前) 9:50~10:30
10月2日(月)	長江区公民館	(午前) 10:50~11:30
	遠見区公民館	(午後) 1:00~1:20
	新町区公民館	(午後) 1:40~2:00
	駒瀬区公民館	(午後) 2:20~2:40
	美々津公民館(支所)	(午後) 3:00~3:20
10月3日(火)	コメリ日向店駐車場(財光寺)	(午前) 9:00~9:20
	市営美砂住宅	(午前) 9:40~10:00
	金ヶ浜地区集落センター	(午前) 10:20~10:40
	日向郵便局駐車場	(午後) 1:00~1:40
	梶木公民館	(午後) 2:00~2:30
	幡浦公民館	(午後) 2:50~3:20

提出日	提出場所	提出時間
10月4日(水)	日向市民健康管理センター	(午前) 8:00~9:00
	農村交流館(塩見)	(午前) 9:20~9:50
	新財市区公民館	(午前) 10:00~10:15
	大王谷コミュニティセンター	(午前) 10:35~11:00
	西草場区公民館	(午後) 1:00~1:20
	山下区公民館	(午後) 1:35~1:55
10月5日(木)	切島山1区公民館	(午後) 2:15~2:45
	花ヶ丘公民館	(午前) 9:00~9:40
	日向市初期救急診療所	(午前) 10:00~10:30
	迎洋園1号街区公園	(午前) 10:50~11:30
	庭田公民館	(午後) 1:30~1:50
	高松公民館	(午後) 2:10~2:30
	下落鹿公民館	(午後) 2:50~3:10
	細島公民館(支所)	(午前) 9:00~9:40
	曾根公民館	(午前) 10:00~11:10
	10月6日(金)	日向市漁協 幸臨支所構内
飯谷地区集落センター		(午後) 2:10~2:30
別府営農研修センター		(午後) 2:50~3:10
日向看護高等学校		(午前) 9:00~9:30
市営新財市住宅16棟西側		(午前) 9:50~10:10
大腸がん検診のみ		切島山1区公民館
10月10日(火)	高砂区公民館	(午後) 1:00~1:40
	永江公民館	(午後) 2:00~3:00
	南日向コミュニティセンター	(午前) 8:30~9:10
	立縫区公民館	(午前) 9:30~9:50
10月20日(金)	美々津老人福祉センター	(午前) 10:10~10:40
	宮の下区公民館	(午後) 1:00~1:20
	寺迫区公民館	(午後) 1:40~2:10
	中央公民館	(午前) 8:00~9:30
10月23日(月)	東草場区公民館	(午前) 9:50~10:10
	日向台公民館	(午前) 10:30~10:50
	下原町コミュニティセンター	(午後) 1:00~1:30
	向江町区公民館	(午後) 1:50~2:10
	細島コミュニティセンター	(午後) 2:30~2:50
	細島東部地区	
	まちづくり事務所集会所(宮の上)	(午後) 3:10~3:30

提出日	提出場所	提出時間
11月2日(木)	堀一方区集会所	(午前) 9:00~10:30
	平野街区公園	(午前) 10:50~11:20
	永田集落センター	(午後) 1:00~1:30
	奥野集落センター	(午後) 1:50~2:30
	日向市総合福祉センター	(午後) 2:50~3:30
11月6日(月)	亀崎中区公民館	(午前) 9:00~9:40
	庄手公民館	(午前) 10:00~10:40
	川路集会所	(午後) 1:00~1:40
	比良コミュニティセンター	(午後) 2:00~3:00
11月7日(火)	切島山2区公民館	(午前) 9:00~9:40
	松原区公民館	(午前) 10:00~11:10
	大王谷区公民館	(午後) 1:00~2:00
11月9日(木)	はせがわだんご駐車場(不動寺)	(午後) 2:20~3:30
	曾根おいでや	(午前) 9:00~9:40
	亀崎汚水中継ポンプ場	(午前) 10:00~11:00
	粗木地区集落センター	(午後) 1:30~1:50
	幸福寺第2駐車場(平岩)	(午後) 2:10~2:30
	曙地区集落センター	(午後) 2:50~3:10
11月10日(金)	長野精米所前(余瀬)	(午前) 9:00~9:15
	田の原消防機庫前	(午前) 9:40~9:55
	鶴毛公民館	(午前) 10:25~10:45
	ホームワイド財光寺店駐車場	(午後) 1:00~2:30
	五十猛神社	(午後) 2:50~3:30
11月20日(月)	コープみやざき財光寺店駐車場	(午前) 9:00~10:00
	向洋台区公民館	(午前) 10:20~10:35
	秋山地区営農研修センター	(午前) 10:50~11:10
	新財市 大村さん宅前(公民館上)	(午後) 1:00~1:20
	権現原集落センター	(午後) 1:40~2:00
	日向市民健康管理センター	(午後) 6:00~7:00
	本谷営農研修センター	(午前) 9:00~9:30
11月21日(火)	西川内営農研修センター	(午前) 9:50~10:10
	善原町県共済住宅	(午前) 10:30~11:00
	江島近隣公園	(午後) 1:30~2:00
	日知屋公民館	(午後) 2:20~3:30

※当日は、同会場で大腸がん検診、肺がん検診を実施いたします。

10月4日(水)・20日(金)・23日(月)は大腸がん検診のみの実施となります。

▼A3 サイズ (二つ折り) (中面)

男性の方へ

40代

40代男性死亡原因1位が、**がん**になりました。
がんは高齢者だけの病気ではありません。
40代がんが増え始める年代。年齢によって
原因異なります。ご家族がご心配です。

がんの種類 (がんの種類) ……………

1 大腸がん 2 胃がん(十二指腸) 3 肺がん

50代

50代はともなう「がん年齢」
でも、定期的検診受診で、**自然治癒**が出る前に
がんは早期に発見できます。
不慮がんに「胃がん、肺がん」は、早期発見による早期発見が大切。
認識しましょう。

がんの種類 (がんの種類) ……………

1 大腸がん 2 胃がん(十二指腸) 3 肺がん

がん検診による5年生存率
(1,000人のうち何人か)*

がんの種類	検診の有無	5年生存率
大腸がん	検診あり	99.0%
	検診なし	18.1%

60歳以上

60歳を過ぎると、がんになる人は**激増**。
毎年、約**14万人**の**60代男性**が、**がん**に
なっています*。
原因の5割は自然治癒がなかったがん。検診を受けないと
見つかりません。だから、検診による早期発見が大切。
がんの種類 (がんの種類) ……………

1 胃がん(十二指腸) 2 大腸がん 3 肺がん

がん検診による5年生存率
(1,000人のうち何人か)*

がんの種類	検診の有無	5年生存率
大腸がん	検診あり	99.0%
	検診なし	18.1%

女性の方へ

20代30代

20歳を過ぎたら2年以内、**必ず子宮頸がん検診**を受診して下さい。
子宮頸がん検診は、あなたの命と子宮を守るための検診です。
がんの種類 (がんの種類) ……………

1 子宮頸がん 2 大腸がん 3 乳がん 4 肺がん 5 子宮体がん

40代

40代女性の約**2人**に**1人**が、**乳がん**検診を受診
していません。でも、**乳がん**の他にも気づかなければ
いけない**がん**があるのをご存知ですか？
子宮頸がん、大腸がん、胃がん、肺がんといった、乳がん以外の
がんにも、毎年約7万人の40代の女性が亡くなっています*。

がんの種類 (がんの種類) ……………

1 乳がん 2 子宮頸がん 3 大腸がん 4 肺がん 5 子宮体がん

がん検診による5年生存率
(1,000人のうち何人か)*

がんの種類	検診の有無	5年生存率
乳がん	検診あり	99.0%
	検診なし	18.1%

50代

50代は、女性の身体が大きく変わる年代。
がんで死亡する人の数も大きく増加します。
がんは、大腸がん、胃がん、肺がん、子宮頸がんといったがんは、
早期発見で80%以上生存率があります*。しかし、早期のうちには
自然治癒が難しいがん。検診を受けないと見つかりません。
がんの種類 (がんの種類) ……………

1 乳がん 2 大腸がん 3 胃がん 4 肺がん 5 子宮頸がん

がん検診による5年生存率
(1,000人のうち何人か)*

がんの種類	検診の有無	5年生存率
乳がん	検診あり	99.0%
	検診なし	18.1%

60歳以上

がんにまつたら知らない、そう思っているせんか？
がん検診を対策がまだ正しく受けてると、
毎年日本全国で約**6万7千人**の**命**が救われます*。
がんの種類 (がんの種類) ……………

1 大腸がん 2 胃がん 3 乳がん 4 肺がん 5 子宮頸がん

がん検診による5年生存率
(1,000人のうち何人か)*

がんの種類	検診の有無	5年生存率
大腸がん	検診あり	99.0%
	検診なし	18.1%

※1 がんの種類 (がんの種類) ……………

※2 がんの種類 (がんの種類) ……………

※3 がんの種類 (がんの種類) ……………

※4 がんの種類 (がんの種類) ……………

※5 がんの種類 (がんの種類) ……………

▼A3 サイズ (二つ折り) (表面)

+ 受けて下さい、命を守る大切な検診。 +

市区町村が実施するがん検診は、費用にかかわらず費用1万円(円折後)よりも
安く受けることができます。対象年齢や自己負担額は、市区町村によって異なります。
※下記の検診はがん検診で受けるがん検診について記載しています。但し、がん検診は自治体によって異なります。

がんの種類	対象内容	対象年齢	自己負担	実施時期
大腸がん	1. 便便検査をもらう 2. 便を容器に入れる 自分で便を取って提出する だけの検診は検査	30歳以上 男女 受診日: 4月1日 2月28日	1,000円 (4,500円)	平成29年 5月1日 平成30年 2月28日
肺がん (※肺がん検診は、がん検診)	1. 胸部レントゲン撮影 2. 胸部レントゲンの撮影 3. 結果(がん)の有無を医師から説明を受ける	40歳以上 男女 受診日: 4月1日 2月18日	無料 (2,100円)	平成29年 6月28日 平成30年 2月18日
胃がん	1. 自然治癒などの確認 レントゲンでの胃がん 検査も受ける検査	40歳以上 男女 受診日: 4月1日 2月28日	2,400円 (13,000円)	平成29年 5月1日 平成30年 2月28日
乳がん	1. 医師による触診 2. マモグラフィ	30歳以上 女性 受診日: 4月1日 2月28日	2,000円 (8,500円)	平成29年 5月1日 平成30年 2月28日
子宮頸がん	1. 医師による触診 2. 細胞診 (※がん検診で実施する がん検診は、がん検診で実施する がん検診で実施する)	20歳以上 女性 受診日: 4月1日 2月28日	1,400円 (7,000円)	平成29年 5月1日 平成30年 2月28日

日南市がん検診の、公民館等で受ける集団検診についての要診方法・申し込み方法は、
別紙「がん検診のご案内」をご確認ください。

平成29年度 日南市 いよいよ検診開始



がんは、早期発見すれば
90%以上が治ります。

ぜひ、この機会にお受けください。

あなたが受けるべきがん検診がわかります。
該当する年代をご覧ください。

がん検診対象者の皆様

各種検診のご案内

今年度も、各種がん検診を下記のとおり実施いたします。

串間市は、公益財団法人 宮崎県健康づくり協会と協定を結び、ぜひ検診を受けていただきたい対象者の皆様に、再勧奨を実施しております。

なお、すでに他の医療機関で受診済みの方や電話勧奨の際にお断りいただいた方へ、本通知が届いた場合はご了承ください。

他の医療機関での受診がお済みの方は下記お問い合わせ先までご連絡いただくと幸いです。



**あら、まだやった!というあなた
安心して下さい。間に合いますよ!**

胃がん・大腸がん検診

対象：40歳以上の串間市民

時間：8時～11時半 完全予約制

日時：下記日程表を参照

料金：胃がん検診 1,200円 大腸がん検診 800円

* 5月に配布したクーポン券の対象者は無料です。

* 国保の方は、同日に国保の特定健診も受診できます(要予約)。
1,300円です。

日付	会場	日付	会場
8月6日(日) ※特定健診同日開催	串間市総合保健福祉センター	8月29日(日)	大東公民館
8月8日(火)	ゆうゆうの森	9月3日(日)	串間市総合保健福祉センター
8月10日(木)	金谷公民館 今町公民館	9月20日(水)	串間市総合保健福祉センター
8月16日(水)	都井地区基幹集落センター	9月28日(木)	市木中央公民館
8月21日(月)	串間市総合保健福祉センター	10月29日(日) ※特定健診同日開催	串間市総合保健福祉センター
8月27日(日)	串間市総合保健福祉センター	12月10日(日) ※特定健診同日開催	串間市総合保健福祉センター

お問い合わせ先・乳がん・子宮頸がん検診については裏面へ!!



乳がん検診

対 象：40歳以上の串間市民
日 時：平成29年6月1日～平成30年3月31日まで
詳 細：下記一覧表参照

※昭和51年4月2日～昭和52年4月1日生まれの方は無料です。
必ず串間市が発行するがん検診受診券及び無料クーポン券が必要となります。
再発行もできますので、下記お問合せ先までご連絡ください。

医療機関名	連絡先	予約	料金	備考
健康づくり協会 (バス検診)	串間市 医療介護課 健康増進係	要予約	40～49歳 1,200円 50～69歳 800円	年齢により料金が 異なりますのでご 注意ください。
串間市民病院	72-1234	要予約	1,200円	直接病院へお問い 合わせください。
百瀬病院	64-0305	要予約	1,200円	直接病院へお問い 合わせください。

子宮頸がん検診

対 象：20歳以上の串間市民
日 時：平成29年6月1日～平成30年3月31日まで
詳 細：下記一覧表参照

※平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれの方は無料です。
必ず串間市が発行するがん検診受診券及び無料クーポン券が必要となります。
再発行もできますので、下記お問合せ先までご連絡ください。

医療機関名	連絡先	予約	料金	備考
健康づくり協会 (バス検診)	串間市 医療介護課 健康増進係	要予約	1,000円	直接病院へお問い 合わせください。
串間市民病院	72-1234	要予約		
産科・婦人科 うちむらクリニック	32-1230	要予約		
医療法人社団 トータルライフ 産婦人科 たなかクリニック	23-1551	予約 不要		

お問い合わせ先：串間市役所 医療介護課 健康増進係

電話番号：0987-72-0333

☑ zoushin@city.kushima.lg.jp

電話かメールで
ご予約を!!



POSTCARD

串間市より

検診受診料の助成*があります。

胃がん検診は費用が高い場合5,000円程度かかりますが、市から助成が出るため、自己負担1,200円で受診できます。

■対象者：串間市在住の40歳以上の方

■受診期間：平成29年10月29日(日)
平成29年12月10日(日)のみ

※年・年齢制限等は受付のご案内をご覧ください。お母様に2名様ご受診ください。

検査費用 約5,000円

— 助成金 約3,800円

自己負担金 1,200円

※助成金が完結したおかげではあるが、

お問い合わせ先
串間市 医療介護課 健康増進係
〒888-0001 串間市大字間方5965番地8
TEL 0987-72-0333 FAX 0987-72-0310

胃がん検診は、バリウムによるX線検査です。10分ちよっとで終わります。

X線を通さない物質であるバリウムを胃を膨らませるための造影剤を飲んで、胃の微細な変化や異常をX線により映し出します。

検査にかかる時間はおよそ10～15分くらいです。異常が見つかった場合は、内視鏡（胃カメラ）で精確検査をします。

現代

（150～200ml程度） 花栗の葉

胃がん検診についてでは、上記のお問い合わせ先にお知らせします。

胃がん検診は、見つけれられるのは、専門家だけです。

“自分ではまず気づきません。”

胃がんは“なりやすい”がんですが、“治しやすい”がんでもあります。^{※1} 早期に見つければ、97.2%治ります。^{※2}

Ⅰ期（早期がん）

生存率 97.2%

Ⅳ期（進行がん）

生存率 7.2%

※1 胃はがんの種類にもよりますが、増殖が速く、100種類を超えています。胃がんは27種類を超えており、がん検診で「早期がん」を発見し、治療すれば生存率が高くなる場合があります。 ※2 2777人の胃がん患者を対象とした、集積的がん登録研究の結果です。治療を受けるがん患者の約20%は早期がんの発見で治療を受けています。出典：全がんがん登録研究の生存率と治療法（2014～2017年集計結果）

胃がん検診の流れ

料金：40歳以上 自己負担金1,200円

1. 受診場所・受診日を選ぶ			
日付	時間	会場	
10月29日(日)	8:00	串間市総合保健福祉センター	
12月10日(日)	11:30	福祉センター	

※前日に開票の日は特定検診も受診できます。TEL: 0987-72-0333

2. 健康増進係に直接予約する
3. 受診する
 - 自己負担金1,200円を現金払い受診してください。
 - 受診内容は「胃診・バリウムによるX線検査」
4. 結果
 - 約2～3週間後に自分に郵送されます。
 - 検査結果を確認してください。

▼圧着はがき(中面)

料金後納郵便

発送不要

最後に「胃がん検診」を受けたのは、何年前ですか？

安心のために、毎年胃がん検診を受けましょう

串間市 医療介護課 健康増進係

胃がんが見つかっても、早期なら胃を取らずに、内視鏡でがん細胞だけはぎ取れます。

がんにつけて

胃んを浮か上げらせ

切り目を

がんをはぎ取ります

術後の生活も今ままでと変わリません。

健康増進係の胃がん検診センターから検診カードが届きます。この検診カードは、健康増進係の胃がん検診センターへ郵送させていただきます。

胃がん検診の流れ

料金：40歳以上 自己負担金1,200円

1. 受診場所・受診日を選ぶ			
日付	時間	会場	
10月29日(日)	8:00	串間市総合保健福祉センター	
12月10日(日)	11:30	福祉センター	

※前日に開票の日は特定検診も受診できます。TEL: 0987-72-0333

2. 健康増進係に直接予約する
3. 受診する
 - 自己負担金1,200円を現金払い受診してください。
 - 受診内容は「胃診・バリウムによるX線検査」
4. 結果
 - 約2～3週間後に自分に郵送されます。
 - 検査結果を確認してください。

▼圧着はがき(表面)

▼圧着はがき(表面)

申間市にお住まいの女性の方へ

子宮頸がん検診のお知らせ



申間市 医療介護課 健康推進課

料金後納
郵便

転送不要

子宮頸がん検診ってどんな検査？

検査時間は15分程度、痛みはそれほどありません。

1. 医師による診察
2. 細胞診



大さの検査器で子宮の入り口を開くことで
細胞を採取。



採取した細胞は、顕微鏡で観察し、
異常の有無がわかります。



痛でもなる
可能性はあるんだ

子宮頸がんは「がん」ですが「がん」は必ずしも死に至る病気ばかりではありません。早期に発見すれば適切な治療により、多くの人が完治されています。早期発見は命を救う大切なチャンスです。必ず検診を受けてください。

子宮頸がん検診の流れ

Step 1 個別検診

☎ 実施医療機関に直接予約
お電話リストをご覧ください。
※ 子宮頸がん検診は、通常予約で実施して頂きます。

🚌 集団検診(バス検診)

🏠 健康増進課に直接予約
健康増進課の健康推進課へお問い合わせください。

Step 2 受診

医療機関で受診の場合は、
保険証と受診券を提示。
受診費用を支払い、受診。
検査時間は15分程度、
痛みはあまりありません。

1. 医師による診察
2. 細胞診 (子宮の入り口を開くことで細胞を採取) (検査した細胞は顕微鏡で観察します。)

※ 検診結果は検診結果通知書にてお知らせします。
※ 必ず検診日が実行される検診券をご持参ください。

受診曜日や時間、女性医師による検診の提供など、詳細は各医療機関にお問い合わせの上、ご希望にあった医療機関に直接ご予約下さい。

実施医療機関一覧		
申間市	申間市医療院	【要予約】 72-1234
日南市	産科婦人科 うちむら クリニック	【要予約】 32-1230
	医療法人社団 トータルライフ 産婦人科 たなかクリニック	月・火・木・金 9:00~11:00 14:30~16:00 直営検診

▼圧着はがき(中面)

申間市より検診受診料の助成^{※1}があります！

子宮頸がん検診は助成がない場合、約4千円程度かかる検査ですが、市の検診を受けると約3千円の助成があります。(自己負担金1千円)

今年度の助成対象の方

申間市在住の
20歳以上の女性の方

検査費用 約4,000円

一助成金 約3,000円

自己負担金 1,000円

※1 検診が実施される日限りです。

個別検診
今年度の受付期間は 平成30年3月31日まで

集団検診(バス検診)
日程に関しては健康推進課へお問い合わせください。

日南市 医療介護課 健康推進課
〒838-0201 日南市大字西力936番地5
TEL 0937-73-0333 FAX 0937-73-0310

子宮頸がんは、20代後半以降から増えるがんです。



子宮頸がん年齢別罹患率(10万人対)^{※1}

30代以降は
一気に
急増するんだ

子宮頸がんは、早期のうちほとんど自覚症状がありません。

「特に異常はないから大丈夫」そう思っていないですか？
早期には自覚症状がないため、「異常を感じたら」では手遅れになる場合があります。
早期に見つかるには、検診を受けるのが最善の方法です。

※1 出典：国立がん研究センターがん情報サービス
がん検診・予防検診部によるがん罹患率レポート(2017年～2018年)

子宮頸がんは、早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒します。^{※2}

子宮頸がんが進行すると、子宮摘出手術が必要となる場合もありますが、早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治療できるため、妊娠・出産も可能です。

5年相対生存率

早期発見した場合
(1/10)

92.3%

早期発見できなかった場合
(1/10)

21.8%

子宮頸がん検診は
2年に1度必ず
受診して下さい

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。ただし、中には発見が大きくなるものもあるため、もし異常を感じたら病院へ行きましょう。

※2 ここでは「がん(一検診)」とは、癌細胞が1cm以下に達している状態を指します。
※3 国立がん研究センターがん情報サービスによるがん罹患率レポート(2017年～2018年)
※4 出典：国立がん研究センターがん情報サービスによるがん罹患率レポート(2017年～2018年)

▼圧着はがき(中面)

**申請市より
検診受診料の助成*があります！**

*今年度の施設対象の方
申請市在住の40歳以上の女性の方

乳がん検診(マンモグラフィ)は助成がない場合、6,000円程度かかる検診ですが、市の検診を受けると4,800円の助成*です。(自己負担金1,200円)

検査費用	約6,000円
一助 成 金	約4,800円
自己負担金	1,200円

※4 検査が実施されているだけであります。

個別検診

今年度の受付期間は、平成30年3月31日まで
集団検診(バス検診)

※ 日程に準じては健康推進係へお問い合わせください。
※ 欠席・受診時期が合わずと不参加になります。お早めにご予約、ご受診ください。

申請市 医師介護課 健康推進係
〒888-0001 申請市大字南 方39365番地8
TEL:0987-724333 FAX:0987-724310

POSTCARD

近年、日本人女性の12人に1人が 乳がんにかかると言われています*。

乳がんは女性が一番のうで1番かかりやすいがんです。

癌がなつてもおれにくいです。



セルフチェックだと遅いかも...



**乳がんは40~50代女性の
がん死に原因ナンバーワン***

日本では、年間1万人以上の女性が乳がんになっていきます。

**自己検診では見つからない
ケースがたくさんある**

早期発見のためにはマンモグラフィによる検診を定期的に受けることが大切です。

※1 国 がん対策推進基本計画(4年計画)「がん対策推進基本計画」(平成27年)よりがん死に原因ナンバーワン(1位)に上昇

※2 国 がん対策推進基本計画(4年計画)「がん対策推進基本計画」(平成27年)よりがん死に原因ナンバーワン(1位)に上昇

乳がんは早期発見で95%以上が 治癒します*。

正しい知識を持って、専門の先生と一緒に定期的にチェックしていくことが大切です。

5年相対生存率

99.9%

乳がん1ステージ(1期)

5年相対生存率

32.6%

乳がん3ステージ(3期)

**乳がん検診は2年に1度
必ず受診して下さい**

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、もし異常を感じたら病院へ行きましょう。



※3 がん対策推進基本計画(4年計画)「がん対策推進基本計画」(平成27年)より乳がんの早期発見による生存率向上が期待されている。乳がんの早期発見による生存率向上が期待されている。

出典：がん対策推進基本計画(4年計画)「がん対策推進基本計画」(平成27年)より乳がんの早期発見による生存率向上が期待されている。

▼圧着はがき(表面)

料金を後納
郵便

郵送不要



40歳を過ぎたら
乳がん検診

申請市 健康推進係

マンモグラフィはこんな検査です。

マンモグラフィは、**いわゆるおっぱいのレントゲン**。ブラスチックの板と撮影台に乳房を挟み、そこからレントゲンを撮ります。

**1cm以下のがんも見つけられる
優れた画像検査法**

マンモグラフィは、乳がん検診方法として効果があることが確認されている検査法で、早期乳がんの検出に有効です。



※KVA-Checker 検査装置

乳がん検診の流れ

Step 1 **個別検診**

実地医療機関にて直接予約

以下リストをご覧ください

受診曜日や時間、女性医師による検診の有無など、詳細は各医療機関にお問い合わせください。

ご希望にあった医療機関に直接ご予約ください。

集団検診(バス検診)

申請市 健康推進係にて直接予約

※ 日程については健康推進係へお問い合わせください。

Step 2 **受 診**

+ 医師検診

医療機関で受診の場合は、検体送付と受診券を郵送、受診費用を支払います。

※必ず検体送付する受診券をご持参下さい。

+ 個別検診(バス検診)

乳がんのレントゲンを撮ります

実地医療機関一覧

申請市	申請市民病院(受予約)	72-1234
日南市	百瀬病院(受予約)	64-0305

がん検診受診勧奨推進事業
対象地区の皆様

えびの市健康保険課長
(公 印 省 略)



がん検診（大腸がん検診）受診勧奨推進事業のお知らせ



残暑の候、いかがお過ごしでしょうか。
このたび、えびの市では、市民の皆様の健康づくりを支援するため、下記のとおり、がん検診を受けていただくよう個別の案内をいたします。

記

1、対象者

加久藤地区及び上江地区の40～69歳（平成30年3月31日時点での年齢）の国民健康保険にご加入の方

ただし、下記の方は対象外となります。

- 1) 平成29年6月30日現在で、
 - ①平成29年6月1日以降に市が実施する大腸がん検診を既に受けた方
 - ②市に大腸がん検診の申込みをされている方
- 2) 要介護4及び5の方

2、方法

公益財団法人宮崎県健康づくり協会が、リーフレットの送付や電話による受診勧奨を行ないます。

*公益財団法人宮崎県健康づくり協会は、宮崎県の委託を受け、えびの市と連携してがん検診の受診勧奨等を担当いたします。ご理解の程、お願いいたします。

3、その他

今回は、対象人数が限定されることから、上記対象地区を選定してご案内いたします。



がん検診はがん予防・治療の第一歩！
40歳を過ぎたら、年1回必ず、大腸がん検診を受けましょう！

問い合わせ先 健康保険課

担当：市民健康係
電話：35-1116
FAX：35-0401

(表)

平成29年度えびの市大腸がん検診について

検診の申し込み先について

「検診を受けようかな」と思ったら・・・

えびの市役所 健康保険課 市民健康係
電話：0984-35-1116にお電話ください。

自己負担金について

◎通常500円の自己負担で受診することができますが、今年の4月2日から来年の4月1日までの期間に40歳、50歳、56歳、60歳、66歳になられる方には、5月下旬に、大腸がん検診無料クーポン券を送付しております。無料で受診できますので、ご活用ください。

【大腸がん検診を受けることができる個別検診実施医療機関】

	医療機関名	電話	医療機関名	電話
えびの市	いしざわ循環器内科	33-1438	園田病院	22-2221
	京町共立病院	37-1011	たなか循環器内科クリニック	23-1115
	京町温泉クリニック	37-2233	ひろた内科クリニック	25-0550
	若葉クリニック	33-3838	堀胃腸科外科医院	23-3988
	えびの第一クリニック	33-0148	前田内科医院	22-5802
	えびのセントロクリニック	33-5777	横内視鏡内科病院	22-2819
	前田医院	35-1151	宮崎医院	22-2841
	えびの市立病院	33-1023	山田内科・循環器科	25-0088
小林市	池井病院	23-4151	よしむら循環器内科クリニック	27-3339
	池田病院	23-3535	和田クリニック	23-5653
	西小林診療所	27-1034	小林市立病院	23-4711
	小林泌尿器科クリニック	25-0505	小林市立須木診療所	48-2025
	上田内科	23-3377	押川病院	44-1005
	桑原記念病院	22-4138	野尻中央病院	44-1141
	近藤内科クリニック	22-4367	川井田医院	42-2000
高原町	すわクリニック	22-6489	国民健康保険高原病院	42-1022

裏面もご覧ください。

検診日程等について

【集団検診日程表】

下記1・2の集団検診の申し込みをされた方には、混雑を避けるため、時間指定をさせていただきます。検診日7日から10日前に受付時間の記入された問診票及び案内、検便キット(大腸がん検診をご希望の方)を送付いたします。また、定員がございますので、早めにお申し込みください。

1 大腸がん検診と胃がん検診の集団検診

月日	受診場所	受付時間
平成29年11月30日(木)	保健センター	午前8時30分～

*大腸がん検診と胃がん検診は、どちらかひとつでも受診可能です。ただし、胃がん検診をご希望の方は、別途自己負担金 1,300円が必要です。

2 国保セット健診

国保に加入されている方限定の集団検診になります。国保の特定健診と合わせて、希望により、胃がん検診と大腸がん検診等を受診できるセット健診です。特定健診以外の検診は別途自己負担金が必要です。

また、胃がん検診をご希望の方は、1月19日(金)の保健センターのみの実施となりますので、ご了承ください。

月日	受診場所	受付時間
平成29年8月9日(水)	真幸地区体育館	午前8時30分～
8月10日(木)	飯野地区コミュニティセンター	
11月14日(火)	真幸地区体育館	
11月16日(木)	飯野地区コミュニティセンター	
平成30年1月19日(金)	保健センター	

*詳細につきましては、健康保険課 医療保険係(電話35-3742)へお問い合わせください。

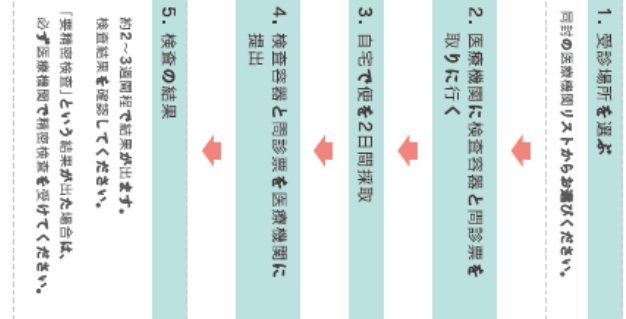
平成29年度
えびの市
大腸がん
検診の
お知らせ

大事な検診、
必ず受けて下さい



国立がん研究センター
社会と健康研究センター
検診開発部長 斎藤博先生

大腸がん検診の流れ



えびの市 健康保険課 市民健康係
〒889-4292 宮崎県えびの市大字栗下1292番地
TEL 0984-35-1116 FAX 0984-35-0401

えびの市より
約3,712円の助成が
あります。

大腸がん検診(便検査)は個人診療の場合、4千円程度かかる検査ですが、40歳以上の方(昭和53年4月1日までに生まれた方)が市の検診を受けると、市から約3,712円の助成を受けていることとなります。(自己負担500円)

検査費用
約4,212円
助成金
約3,712円
自己負担金
500円

*市立市民健康センターで実施されます。

今年度の受付期間は、
平成30年1月31日

併年、受付期間が切れると大変混雑いたします。
お早めにご予約・ご受診ください。

発川町健推第584号
平成29年9月26日

がん検診対象者 各位

川南町長 日高 昭彦
(公 印 省 略)

平成29年度がん検診受診勧奨推進事業のお知らせ

秋分の候 あなた様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、町の保健行政につきましては、日頃から深い御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、町では、町民の皆様にごがん検診を定期的に受診していただき、健康に過ごしていただくために、県より委託を受けた宮崎県健康づくり協会とともに、下記のとおり、対象者の皆様に、がん検診の御案内をさせていただきます。

記

- 1 期間 平成29年9月下旬から平成30年3月31日まで
- 2 対象者 20歳から69歳（平成29年度末年齢）の女性で、今年度、子宮がん検診及び乳がん検診を受診されていない方
- 3 事業内容
 - (1) がん検診に関するパンフレットの郵送（本通知）
 - (2) 宮崎県健康づくり協会から電話によるがん検診受診勧奨
- 4 注意事項
今回の事業は、対象者を限定して実施しています。

(文書取扱 町民健康課)

担当	健康推進係 高橋
電話	0983-27-8009
FAX	0983-21-3057

▼A4 サイズ（三巻折）（中面）



**齋藤医師に
大腸が
んについて、3つのポイント**

POINT 01 「早く見つけて、早く治す」
POINT 02 「自宅で簡単にできる」
POINT 03 「自覚症状がありません」

大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術で治療が可能です。入院は2-3日、または必要ない方もいらっしゃるやいます。大腸がんの発見と治療は、早ければ早いほど負担は少なくて済みます。しかし、進行してがんが筋などに浸潤転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。

POINT 01 「早く見つけて、早く治す」
大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術で治療が可能です。入院は2-3日、または必要ない方もいらっしゃるやいます。大腸がんの発見と治療は、早ければ早いほど負担は少なくて済みます。しかし、進行してがんが筋などに浸潤転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。

POINT 02 「自宅で簡単にできる」
大腸がん検診は自宅でする検査です。大腸がん検診は「内視鏡ではないですよ」と誤解している方が多いんです。最初の大腸がん検診は自宅で簡単にできる検査です。トイレで便を2日間採取して医療機関に提出するだけ、それで異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡の検査をするんですよ。

POINT 03 「自覚症状がありません」
ほとんどの大腸がんは「異常を感じたら」病院に行こうっておっしゃるんですが、大腸がんは、早期には自覚症状がありません。日本では毎年約12万5千人が大腸がんにかかり、4万8千人が命を落とされています。早期には自覚症状がありません。異常を感じたら「では、手遅れになる場合があります。健康だと思っても、毎年定期的に検査を受けなければ、早期発見はできませんよ。

POINT 01 「早く見つけて、早く治す」
大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術で治療が可能です。入院は2-3日、または必要ない方もいらっしゃるやいます。大腸がんの発見と治療は、早ければ早いほど負担は少なくて済みます。しかし、進行してがんが筋などに浸潤転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。

POINT 02 「自宅で簡単にできる」
大腸がん検診は自宅でする検査です。大腸がん検診は「内視鏡ではないですよ」と誤解している方が多いんです。最初の大腸がん検診は自宅で簡単にできる検査です。トイレで便を2日間採取して医療機関に提出するだけ、それで異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡の検査をするんですよ。

POINT 03 「自覚症状がありません」
ほとんどの大腸がんは「異常を感じたら」病院に行こうっておっしゃるんですが、大腸がんは、早期には自覚症状がありません。日本では毎年約12万5千人が大腸がんにかかり、4万8千人が命を落とされています。早期には自覚症状がありません。異常を感じたら「では、手遅れになる場合があります。健康だと思っても、毎年定期的に検査を受けなければ、早期発見はできませんよ。

POINT 01 「早く見つけて、早く治す」
5年相対生存率 99.0%
5年相対生存率 18.1%

POINT 02 「自宅で簡単にできる」
検査キット
検便のフタについた検便容器

POINT 03 「自覚症状がありません」
大腸がんは、女性の腸がん発生数第1位、男性で腸がん発生数第2位、女性で腸がん発生数第1位、男性で腸がん発生数第2位です。大腸がん検診を必ず受けたい。

▼A4 三巻折(表面)

川南町にお住まいの女性の方へ

子宮頸がん検診のお知らせ



川南町役場 町民健康課 健康推進係(保健センター)
〒889-1301 川南町大字川南 13680 番地 1
TEL:0983-27-8009 FAX:0983-21-3057

子宮頸がん検診の流れ

Step 1 実施医療機関に直接予約
右記リストをご覧下さい。
※) 子宮頸がん検診は、生後1日以外で受診して下さい。
受診の予約後、受診券を発行しますので、保健センターにお届けください。

Step 2 受診
受診費用を支払い、受診。
検査時間は15分程度、痛みはあまりありません。
1. 医師による診察
2. 細胞診(子宮の入り口を覗くことして細胞を取り、異常な細胞がないか調べる)

Step 3 結果を確認する

●個別検診をご希望の方

実施医療機関一覧		
高瀬町	高瀬公民 厚生堂 歯科内科	0983-22-3426
高瀬町	阿波徳科徳人科内科	0983-22-0341
日向市	高瀬公民 徳和 産科内科	0983-27-1611

●集団検診をご希望の方

保健センターで受診したい方は
平成30年2月26日(月)、27日(火)、28日(水)に
実施します。保健センター(27-8009)までお申込み
ください。

※受診曜日や時間帯、女性医師による検診の提供など、詳細は各医療機関にお問い合わせの上、ご都合にあった医療機関に直接ご予約下さい。

今年度は、川南町より5,100円の助成^{※3}があります!

川南町在住の20歳以上の女性には、1年に1度、5,100円の助成がため、自己負担金1,000円で子宮頸がん検診が受けられます。さらに、H29子宮頸がん検診無料クーポン券をお持ちの方は、無料です。

今年度の助成対象の方

20歳以上の女性

検査費用 約6,100円
— 助成金 約5,100円
—————
自己負担金 1,000円

子宮頸がん検診は助成がない場合、6,100円が自己負担金となります。ぜひこの機会に受診しましょう。

今年度の受診期間は

平成30年3月30日まで

※1、検診費用が返付と大変お得なものです。お早めにご予約・ご受診ください。

※2 産後が検診対象ではありません。

▼A4 三巻折(中面)

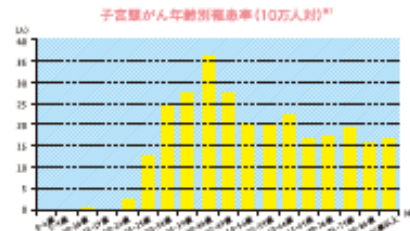
子宮頸がんは、20代後半以降から増えるがんです。



30代以降は
人一倍
気をつけたい!

早期のうちほとんど
自覚症状がありません。

「特に異常はないから大丈夫」そう思っていないですか?
子宮頸がんは産後から閉経まで、平均5-10年かかり、
早期には自覚症状がないため、「異常を感じたら」では
手遅れになる場合があります。



※1 出典：国立がん研究センターがん情報サービス
地域がん登録全国統計によるがん罹患率データ (1975～2014年)

子宮頸がん検診ってどんな検査?

検査時間は15分程度、痛みはそれほどありません。

1. 医師による診察
2. 細胞診



大きな細胞診などで
子宮の入り口を覗く
ことで細胞を採取。



採血した血液は、
専門の検査で検査し、
異常の有無が
ないかしっかりと
確認します。

誰でみる
可能性が
あるんだ



子宮頸がんはHPV(ヒューマンパピロマウイルス)への感染がきっかけとなります。
感染してもほとんどの場合は一過性ですが、ごく一部の人で感染が持続し、**長期間を経てがん**
にいたることがあります。
※1 HPVは、一部でも感染の疑いがあれば感染している可能性があります。

子宮頸がんは、早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒します。^{※2}

子宮頸がん検診は
2年に1度必ず
受診して下さい

子宮頸がんが進行すると、子宮摘出手術が必要となる場合もありますが、
早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治療できるため、妊娠・出産も可能です。

5年相対生存率



多くのがんは、2年に1度の
検診で早期発見できます。
ただし、中には急速に大きく
なるものもあるため、もし異常を
感じたら病院へ行きましょう。



※2 ここでいう「早期(=1期)」とは、診断からの5年相対生存率です。
相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた指標です。
出典：全がん登録全国統計の生存率(1991～2004年)国産がん

このウェブサイトは、国立がん研究センターがん情報サービスが作成しました。

近年、日本人女性の
12人に1人が乳がんにかかると言われています。^{※1}
もう他人事とは思えない！乳がんは女性が一生のうちで一番かかりやすいがんです。

乳がんは40～50代女性の
がん死亡原因ナンバーワン^{※2}
日本では、年間1万人以上の女性が乳がんにかかることで、40代と50代はとくに乳がんにかかりやすい年齢です。



自己検診では
見つからないケースがたたくさんある
乳がんは自己検診だけでは見つかることが難しく、早期発見のためにはマンモグラフィーによる検査を定期的に受けることが大切です。

※1 国がんセンターがん対策センター
※2 がん研究センターがん対策センター (1979-2011年)
※3 がん研究センターがん対策センター (2014年)

マンモグラフィーは
こんな検査です。
乳がん検診のマンモグラフィーっていったいなにをするのか、不安に思っていますよね。
実際にどんな検査なのかを知っておけば、検診に行きやすくなります！



マンモグラフィーは、
1cm以下のがんも見つけられる
優れた画像検査法



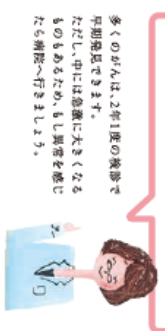
マンモグラフィーは、乳がん検診方法として効果があがることと期待されています。

乳がんは早期発見で
治癒します。^{※3}

乳がんは早期に発見して治療すれば95%以上が治癒します。正しい知識を持って、専門の先生と一緒に定期的にチェックしていくことが大切です。



乳がん検診は2年に1度
必ず受診して下さい



※3 2017年1月 1頁 (1-2) 上 11頁、国がんセンターがん対策センター
※4 がん研究センターがん対策センター (2014年) 1頁
※5 がん研究センターがん対策センター (2014年) 1頁

▼A4 サイズ (三巻折) (中面)

今年度は、川南町より
5,640円の助成^{※4}が
あります！

川南町在住の20歳以上の女性には、1年に1度、5,640円の助成があるため、自己負担金3,000円で乳がん検診が受けられます。さらに、H29乳がん検診無料クーポン券をお持ちの方は、無料で受けられます。

今年度の助成対象の方
20歳以上の女性

乳がん検診 (マンモグラフィー) は助成がない場合、8,640円かかる高価な検査です。ぜひこの機会に受診しましょう。

検査費用	8,640円
— 助成金	5,640円
自己負担金	3,000円

今年度の受診期限は
平成30年3月30日

例年、受診期限が延びると大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください。

▼A4 サイズ (三巻折) (表面)

乳がん検診の流れ

Step1. 実務医療機関に直接予約
以下リストをご覧下さい。

受診曜日や時間帯、女性医師による検診の有無など、詳細は各医療機関にお問い合わせの上、ご都合にあった医療機関に直接ご予約ください。受診の予約後、受診券を発行しますので、保険センターにお越しください。

Step2. 受診
受診費用を支払い受診。自費患者等についてお聞きします。乳房の超音波検査及びレントゲンを撮ります。

Step3. 結果を確認する

●個別検診をご希望の方
実務医療機関 一宮
高槻市 三ツ木のクリニック 0985-20-0811
高槻市 三ツ木のクリニック 0985-29-3850

●集団検診をご希望の方
保健センターで受診したい方は
平成30年2月26日(月)、27日(火)、28日(水)に実施します。保健センター(27-8009)までお申込みください。

40歳を過ぎたら
乳がん検診

マンモグラフィーなら自己検診では
みつからないがんも見つかる



川南町役場 町民健康課 健康推進係(保健センター)
〒839-1301 川南町大字川南 13680 番地 1
TEL:0983-27-8009 FAX:0983-21-3057